

岩手県教育年報

平成24年度版

岩手県教育委員会

序

本県教育委員会は、教育委員会制度発足以来、毎年、教育年報を
発刊し、本県教育の動向を把握して参りました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波の発災から2年10
か月が経過しましたが、未だに教育活動が制限されている学校も多
く、一刻も早い学び舎の正常化が求められております。

このため、県教育委員会は、「いわての復興教育」、幼児児童生
徒の心のサポートや児童生徒の安全で安心な教育環境の確保など学
びの場の復興に全力で取り組むとともに、「知・徳・体」を備え調
和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、「いわて県民
計画」及び「岩手の教育振興」をもとに、学校教育、社会教育、生
涯教育、文化芸術、スポーツの振興を図って参りました。

この教育年報は、平成24年度における教育施策の概要や実績等を
幅広く収録しております。

震災以来、本県の子どもたちに国内外の皆様方からいただきました
数多くの御支援や励ましに対し、心から感謝申し上げますととも
に、この年報が、教育に直接携わる方々はもとより、関係各位に広
く御活用いただければ幸いです。

平成26年1月

岩手県教育委員会

教育長 菅野 洋樹

平成24年度版 岩手県教育年報について

岩手県教育委員会では、「いわて県民計画」（平成21年12月策定：計画期間 平成21年度～平成30年度）に掲げる教育政策のうち、教育委員会が所管する分野の今後10年間の基本方向について、より理解を深めるためのガイドラインとして、平成22年3月に「岩手の教育振興」を策定しました。

平成24年度版岩手県教育年報は、この「岩手の教育振興」の施策の体系を基礎として作成しています。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波からの復興に向けた取組みについては、冒頭に第1章として取りまとめました。

※ 被害状況及び平成23年度までの取組みについては平成22・23年度版「岩手県教育年報」をご覧ください。

目 次

第 1 章 東日本大震災津波からの復興に向けた取組

第 1 県教育委員会の取組	1
---------------	---

第 2 章 教育行財政

第 1 節 教育行政

第 1 平成24年度 岩手県教育委員会経営計画	5
第 2 岩手県教育委員会	17
第 3 表彰及び栄典	18

第 2 節 教育財政

[参考] 管理部門	24
[参考] 市町村教育委員会	26

第 3 章 教育施策の推進状況

第 1 節 社会の変化に対応する教育の推進

第 1 目標達成型の学校教育の推進	29
第 2 社会人として自立できる能力の育成	31
第 3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進	39
第 4 教員の適正配置	40
第 5 教員研修の充実	41
第 6 教員研究等の充実	44

第 2 節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

第 1 学習指導要領改訂に伴う教育課程の編成	45
第 2 学習面における基礎・基本の定着	45
第 3 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進	47

第 3 節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第 1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進	49
第 2 生活面における基礎・基本の定着	52
第 3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実	52

第 4 節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第 1 体力向上や運動に親しむ態度の育成	56
第 2 健康教育の充実	57
第 3 指導者の資質・授業力向上	61

第 5 節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

第 1 「就学指導」から「就学支援」へ	63
第 2 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実	63
第 3 特別支援教育の理解促進	64
第 4 特別支援学校生徒の就労支援の充実	65

第 6 節 学校教育を支える教育環境の充実

第 1 県立高校の望ましい教育環境の整備	66
第 2 学校施設の耐震化の推進	71
第 3 修学資金の支援等	72

第4	教育環境の整備	77
第7節	教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進	
第1	学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり	84
第2	多様な体験学習の充実（学習機会の確保）	91
第3	地域の教育課題の解決・家庭教育の充実	94
第8節	広がりと深まりのある生涯学習の振興	
第1	多様な学習活動を支援する環境の整備充実	97
第2	生涯にわたる学習機会の充実	99
	（1 県立生涯学習推進センター）	106
	（2 県立図書館）	109
	（3 県立青少年の家）	113
	（4 県立博物館）	117
[参考]	県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）	124
第9節	地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興	
第1	文化振興基金を活用した支援等	127
第2	中学生・高校生に対する文化活動支援	137
第3	文化芸術による地域振興体制づくりへの支援	140
第10節	郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産と伝統文化の振興	
第1	世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用	141
第2	伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携	143
第11節	生涯スポーツの振興	
第1	運動・スポーツに親しむ人々の広がり	147
第2	運動・スポーツに親しめる場の広がり	148
第3	ネットワークの広がり	154
第12節	競技スポーツの強化	
第1	中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成	155
第2	競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援	156
第3	広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援	156
第4	スポーツ医・科学サポート体制の充実	157
[参考]	各県営施設で開催された主な競技会・イベント等	158

第4章 厚生福利

第1節 公立学校共済組合

第1	短期給付事業	159
第2	長期給付事業	159
第3	福利厚生事業	160
第4	貸付事業	161
第5	宿泊施設	161

第2節 教職員互助会

第1	短期給付事業	162
第2	長期給付事業	162
第3	厚生福利事業	162
第4	特別弔慰積立事業	164

第5 貸付事業	164
---------	-----

[参考資料]

1 県教育委員会機構図	165
2 県教育委員会が所管する附属機関の委員	166
3 県教育委員会会議	168
4 県教育委員会関係主要行事	170
5 私立学校	172
6 県教育委員会が所管する特例民法法人・公益信託	174
7 県教育関係諸団体	176

第1章 東日本大震災津波からの復興に向けた取組

第1 県教育委員会の取組

1 きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実

(1) 大震災津波体験を踏まえた「いわての復興教育」の推進

- ・「いわての復興教育」プログラムに基づく教育活動を推進するために、平成24年度の「復興教育推進校」（小学校26校、中学校20校、全ての県立学校）を指定し、特色ある復興教育の取組を支援するとともに、その事例を県教育研究発表会で普及し、実践事例集としてまとめ積極的に発信した。
- ・「いわての復興教育」が、県内全ての学校で理解され、より確かな考え方とカリキュラムに基づいて推進されるために、大学等の専門的な知識を持った有識者からなる「改訂版プログラム」検討委員会を設置し、平成25年2月に「いわての復興教育」プログラムを改訂した。
- ・実践的な防災教育を推進し、児童生徒が自然災害の危険に際して、自らの命を守り抜くための「主体的に行動する態度」の育成や児童生徒が安全で安心な社会づくりに貢献する意識の向上を図る取組に対して支援を行った。

(2) 臨床心理士の被災校への派遣による幼児児童生徒の心のサポート

ア 教員研修の実施

- ・12種類の研修パッケージを作成し、教育事務所、各市町村の研修会及び校内研修を実施した。

イ 人的支援等

- ・平成24年4月から、沿岸6市町（大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、宮古市、山田町）にそれぞれ1名ずつ臨床心理士を常駐させるほか、広域を巡回するカウンセラーとして、県北教育事務所に2名、沿岸南部教育事務所に1名の合計9名を被災地に臨床心理士を常駐させ、サポート体制を強化した。

ウ 心とからだの健康観察

- ・平成24年9月に、平成23年度と同様の内容による「心とからだの健康観察」を実施し、平成25年1月に県の集計結果を公表した。
- ・平成25年3月には地域別、市町村別のデータを取りまとめ、市町村教育委員会、各学校へフィードバックを行った。

(3) 学校施設の復旧整備

- ・平成24年度は、県立学校5校の災害復旧を完了したほか、高田高校の移転新築用地の造成工事及び校舎・産振棟、第一体育館等の設計を完了した。

(4) 被災児童生徒の学習支援等のための加配教員の配置

- ・平成24年度は平成23年度に引き続き、文部科学省に追加加配を申請し、当該追加加配（小中学校教員194人、県立学校33人）が認められ、加配教員を配置した。

(5) 「いわての学び希望基金」を活用した給付型奨学金制度

- ・東日本大震災津波により著しい被害を受けた幼児、児童、生徒、学生等の就学の支援、教育の充実等のための事業に要する経費の財源に充てるために設置した「いわての学び希望基金」を財源として、被災により親権者を失った児童生徒及び学生に対し、返還不要の奨学金を給付し、就学援助を行った。
- ・平成24年度における奨学給付金決定児童・生徒・学生数 527人（平成25年3月31日現在）

(6) 「いわての学び希望基金」を活用した教科書購入費等給付事業

- ・被災した高校生の高等学校における就学の支援を目的として、平成24年度に「いわての学び希望基金」を活用した教科書購入費等給付事業を創設し、教科用図書購入費、制服購入費及び修学旅行費の全部又は一部の給付を実施した。

(7) 被災高校生を対象とした奨学金制度

- ・(財)岩手育英奨学会を通じ、新たな奨学金制度「タイプC〈東日本大震災津波等特例採用〉」により、東日本大震災津波により被災し、経済的理由により修学が困難となった高校生を支援した。

【無利子であるほか、卒業後の奨学生本人の向こう1年間の収入見込み額が一定額に満たない場合、願出により返還義務を一括免除】

- 貸与月額 18,000円～35,000円
- 奨学金貸与生徒数 186人（平成25年3月末現在）

(8) 教職員の心と体のケア

- ・平成24年度も保健師2名、看護師1名による教職員に対する健康相談や面談を継続して実施した。

2 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承

(1) 被災市町村における文化施設の復旧支援

- ・公立社会教育施設災害復旧費補助金（国庫補助事業）を活用して復旧工事を実施する10施設のうち、7施設の工事が終了した。（平成25年 月末現在）

(2) 被災市町村における埋蔵文化財発掘調査支援

- ・平成24年度から、復興事業の進捗に伴う埋蔵文化財調査の増加に対応するため、埋蔵文化財担当職員を4名から9名に増員した。また、文化庁のあっせんにより他道府県からの派遣職員10名を受入れた。
- ・沿岸市町村支援として、7市町村で分布・試掘調査を実施するとともに、野場I遺跡（田野畑村）、堂の前貝塚（陸前高田市）、中平遺跡（野田村）、清水遺跡（大船渡市）の発掘調査を県教育委員会において実施した。

(3) 「いわての学び希望基金」を活用した被災地児童生徒文化活動支援事業の創設

- ・小学校、中学校及び高等学校の文化芸術活動の振興を図るとともに、被災した児童生徒を支援するため、平成24年度にいわての学び希望基金を活用した被災地児童生徒文化活動支援事業を創設し、各種大会等に参加するための旅費の補助を実施した。

(4) 被災地域の歴史資料や文化財等の修復・保存

・「文化財レスキュー」として、国の被災文化財等救援委員会や県文化振興事業団や市町村の協力を得ながら、被災した陸前高田市、釜石市、宮古市等の文化財の保全を実施した。

【岩手県立博物館における主な被災文化財等の救援状況】

市町村	機関・施設	資料	措置内容
陸前高田市	市立図書館	岩手県指定文化財吉田家文書及び関連資料等	救出、安定化处理
	海と貝のミュージアム 他	貝類標本 他	救出、安定化处理 他
大船渡市	教育委員会	絵図	安定化处理
釜石市	教育委員会	古文書、軸物	安定化处理
	教育委員会	民具	収蔵庫内及び収蔵資料洗浄
大槌町	教育委員会	絵図及び古文書	安定化处理
		土器	救出
山田町	山田町	海藻標本	安定化处理のための技術指導及び一部保管
	教育委員会	古文書及び書簡類	安定化处理
宮古市	市役所・市民文化会館	絵画	乾燥、くん蒸
	教育委員会	森合家調度品	乾燥、くん蒸

(5) 県立図書館による震災関連資料の収集及び公開

・岩手県立図書館において収集した震災関連資料を公開する「震災関連資料コーナー」を平成24年4月1日に設置した。

3 社会教育・生涯学習環境の整備

(1) 被災市町村における社会教育施設の復旧支援

・公立社会教育施設災害復旧費補助金（国庫補助事業）を活用して復旧工事を実施する60施設のうち、33施設の工事が完了した。（平成25年3月末現在）

(2) 「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」の推進

・東日本大震災津波により急務となった沿岸被災地の「地域コミュニティの再生」や、これまでの潜在的な地域課題に対して、4つの事業【①教育振興運動・家庭教育支援事業②放課後子ども教室推進事業③学校支援地域本部事業④中高生の学習支援事業】を国庫補助事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施した。

・教育振興運動としては18市町村504活動、家庭教育支援事業としては6市町村96講座を実施し、地域課題の解決を図った。

・放課後子ども教室推進事業では、21市町村が115教室を開設し、放課後の子どもの居場所づくりを推進した。

・学校支援地域本部事業では、18市町村で43本部を設置し、地域コーディネーター等が学校支援ボランティアの活動を推進した。

・中高生の学習支援は、大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、田野畑村、野田村の18箇所において、教育委員会やNPO等の団体が児童生徒の学習の場づくりを行った。848名の生徒が登録・参加し、大学生や地元塾講師、教員経験者等が講師として学習をサポートした。

4 スポーツ・レクリエーション環境の整備

(1) 被災者の健康づくりサポート

・平成24年度から、被災者の健康づくりサポートのため、アスレチックトレーナーを被災地に派遣し、健康相談、トレーニングやコンディショニングの指導を行うアスレチックトレーナー派遣事業を実施し、延べ18回開催した。

(2) 「いわての学び希望基金」を活用した被災地生徒運動部活動支援事業の創設

・中学生及び高校生の体育・スポーツの振興と競技力の向上を図るとともに、被災した生徒を支

第1章 東日本大震災津波からの復興に向けた取組

第1 県教育委員会の取組

援するため、平成24年度にいわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業を創設し、県大会及び東北大会等に出場するための旅費を補助した。

5 学校における放射線量の調査と低減措置等

(1) 放射線量低減に向けた取組等

- ・引き続き放射線の影響等を把握し生徒の安全を確保する必要があることから、教育事務所等に配置したサーベイメーター（7台）により、定期的に（月1回程度）各学校において教職員等が空間線量率の測定を行い、測定結果をHPで公表した。
- ・市町村立学校については、設置者である市町村において学校等における放射線量の測定及び除染を行い、事業に要する経費については、県（環境生活部）が市町村等への助成制度により支援を行った。

(2) 学校給食に対する取組

- ・学校給食のより一層の安全・安心を確保する観点から、学校給食を自校調理で実施している県立学校（特別支援学校8、夜間定時制高等学校3）において、平成24年5月から放射性濃度測定検査を開始した。
- ・提供後給食の学校給食における放射性物質の有無や量について調べるモニタリング検査を国の委託事業により県内5施設（市町村4、県立学校1）で実施した。
- ・県（教育委員会）が創設した、市町村が学校給食に係る放射性物質濃度測定検査機器を購入する際の費用に対する補助金制度により、平成24年度は7市町村が機器を整備した。
平成24年度補助額（繰越分） 7市町村 13,501,920円（機器台数：12台）

6 国への要望等

(1) 政府への要望等

年月日	内 容
平成24年 7月8日	平野復興担当大臣が来県した機会をとらえ、知事から「東日本大震災津波に関する要望」を実施。
7月14日	野田総理大臣が来県した機会をとらえ、知事から「東日本大震災津波に関する要望」を実施。
7月31日	知事から政府等に対し「東日本大震災津波に関する要望」を実施。
10月27日	野田総理大臣が来県した機会をとらえ、知事から「東日本大震災津波に関する要望」を実施。
平成25年 2月9日	安倍総理大臣が来県した機会をとらえ、知事から「東日本大震災津波に関する要望」を実施。

(2) 文部科学大臣への要望等

年月日	内 容
平成24年 6月11日	平野文部科学大臣が来県した機会をとらえ、委員長及び知事の連名で文部科学大臣への要望を実施。

第2章 教育行財政

第1節 教育行政

第1 平成24年度 岩手県教育委員会経営計画

東日本大震災津波による未曾有の被害を受けた本県の復旧・復興の担い手は子どもたちです。子どもたちが、岩手の未来を切り拓き、変容する社会の中を生き抜く力を身に付けるうえで、教育の果たす役割は極めて大きいものがあります。また、県民の教育に対する関心、期待はますます多様化、高度化しています。

このため、教育委員会は、「いわての復興教育」、幼児児童生徒への心のサポートや児童生徒の安全で安心な教育環境の確保など学びの場の復興に全力で取り組むとともに、「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成という教育目的の実現に向けて、「いわて県民計画」及び「岩手の教育振興」をもとに中長期的展望に立ち、学校教育の施策の重点化を図りながら、時代のニーズに的確に対応し、社会教育、生涯学習、文化芸術、スポーツの振興を図っていくものです。

いうまでもなく、教育行政を推進するに当たり県民の理解、協力が得られる前提となるのは「信頼」です。全ての教職員が原点に立ち返り、あらゆる機会をとらえてコンプライアンスの徹底を図り、教職員一人ひとりの自覚と行動によって不祥事の未然防止に向けて取り組むことにより、県民の信頼を確固たるものとするとともに、教育に対する期待に応えていかなければなりません。

◆震災からの教育の復興

I きめ細かな学校教育の実践と教育環境の整備・充実

〔重点事項〕 いわての復興教育の推進

幼児児童生徒の心のサポートの充実

児童生徒の安全で安心な教育環境の確保

今回の東日本大震災津波を乗り越え、未来を創造していくために、10年後、20年後の岩手の復興・発展を担い得る子どもたちを育成することが、今後の岩手の教育に課せられた使命であり、いわての復興教育を県下全体で取り組むことは、本県の教育推進において大きな意義をもつものと考えます。

また、被災した幼児児童生徒一人ひとりの心のサポートや、きめ細かな対応をするための体制の充実に継続的に取り組むとともに、東日本大震災津波等により被災した県立学校施設の復旧整備や耐震性を向上するための補強工事等を実施し、安全で安心な教育環境の充実に努めます。

さらに、被災によって親を失った児童等が安心して学業に専念できるよう、就学支援を行います。

1 いわての復興教育の推進

(1) 「いわての復興教育」プログラムの作成

- ・東日本大震災津波の体験を踏まえ、災害の知識や身の守り方、復興における自分自身の役割、地域との関わり方などを総合的に学ぶ「いわての復興教育」プログラム（初版、H24.2）について、大学等の専門的知識を有する有識者による検討を行い、第二版の作成につなげます。

(2) 「いわての復興教育」プログラムに基づく教育活動の推進

- ・復興教育の基本的な考え方に基づいた教育が全県共通理解のもとに行われるよう、市町村教育委員会と連携しながら、各学校の取組を進めます。
- ・実践事例等を収集し、事例の紹介や交流を通して教育内容の充実が図られるよう、市町村教育委員会と連携しながら、各学校への情報提供を進めます。

2 幼児児童生徒の心のサポートの充実

- ・東日本大震災津波による被害が大きかった地域の子どもたちの心のサポートに引き続き取り組みます。
- ・臨床心理士等の派遣や専門家で構成する県内大学チームによる支援を継続します。
- ・「心とからだの健康観察」結果を記録する「こころのファイル」の作成・活用等を行うことで、中長期にわたる支援につなげていきます。

3 児童生徒の安全で安心な教育環境の確保

(1) 被災した学校施設の復旧整備

- ・甚大な被害を受けた県立高田高等学校について、浸水区域外に用地を取得し、用地造成工事等に着手し、正常な教育環境の早期復旧に向け計画的に取り組みます。
- ・市町村立学校について、各市町村の復興計画等を踏まえ、学校施設の早期復旧整備が図られるよう支援します。

(2) 県立学校施設の耐震化

- ・岩手県耐震改修促進計画に基づき、平成27年度末までに耐震化率100%を目標とし、学校施設の耐震化に着実に取り組みます。

(3) 県立学校施設の整備

- ・教育環境の向上を図るため老朽化施設の改修を進めるとともに、平成24年度完成予定の県立盛岡商業高等学校の整備を着実に進めます。

(4) 学校における放射線対策

- ・県立学校に通学する児童生徒の被ばくに対する不安を軽減するため、放射線の空間線量率を定期的に測定し、低減措置が必要な箇所があった場合は、速やかに土壌等の除染作業を実施します。
- ・学校給食を実施する県立学校で食材の放射性物質濃度検査を実施するとともに、市町村が行う検査体制の整備への支援を引き続き行うなど、放射線検査体制の充実により、学校給食食材に対する安全安心の確保に努めます。

(5) 被災により親や生活基盤を失った児童生徒への支援

- ・「いわての学び希望基金」を活用し、被災により親を失った児童生徒に対して奨学金を給付する取組を継続します。
- ・「いわての学び希望基金」を活用し、新たに、生活基盤を失った生徒への教科書・制服・修学旅行経費の給付に取り組みます。

(6)被災児童生徒の学習支援等のための加配教職員の配置

・児童生徒の学習の遅れや心のサポート等に対応するため、教職員の加配が必要な小・中学校及び県立学校に対し、引き続き加配教職員を配置します。

(7)教職員の健康管理

・教職員の心と体のケアを支援するための取組を推進します。

(8)特別支援学校卒業生の就職支援

・東日本大震災津波被害の大きい沿岸部の特別支援学校における現場実習や就職支援を強化します。

(9)児童生徒の居場所づくりの推進

・被災地における生徒の学習支援等を行う居場所づくりを推進します。

II 文化芸術環境の整備や伝統文化等の保存と継承

〔重点事項〕 被災地における文化芸術活動の再興
復興に係る埋蔵文化財調査の推進及び市町村支援
被災文化財の救出及び保存・管理支援
被災児童生徒の文化活動の大会への参加支援

東日本大震災津波からの早期の復興を図るための開発事業に係る埋蔵文化財調査を推進するとともに、文化芸術活動の復興を図るため、文化芸術施設等の機能回復を支援します。

また、被災地の貴重な文化財の修復・復元や民俗芸能活動などの復興を支援します。

(1)被災地における文化芸術活動の再興

・被災した文化芸術施設の機能回復を支援します。
・被災地での優れた文化芸術鑑賞機会を確保するとともに、文化芸術活動の早期再興を支援します。

(2)復興に係る埋蔵文化財調査の推進及び市町村支援

・被災地の国・県復興関連開発事業に伴う埋蔵文化財調査を推進します。
・市町村の復興関連埋蔵文化財調査について支援します。

(3)被災文化財の救出及び保存・管理支援

・被災地から救出した文化財や美術品等が修復され、適切な保存・管理がなされるよう積極的に支援します。

(4)被災児童生徒の文化活動の大会への参加支援

・「いわての学び希望基金」を活用し、被災した児童生徒の文化活動の大会への参加支援に取り組みます。

Ⅲ 社会教育・生涯学習環境の整備

- 〔重点事項〕 社会教育施設の復旧支援
地域コミュニティの再生支援
教育振興運動の充実

社会教育及び生涯学習推進の拠点となる社会教育施設の機能回復の支援を行うとともに、地域人材の活用等により、子どもを中心とした地域活動及び地域住民の学習・交流機会を設け、地域コミュニティの再生を支援します。

(1) 被災市町村に対する支援

- ・被災した市町村の社会教育施設の復旧・再開を支援します。
- ・国事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を活用した市町村の社会教育事業の推進を支援します。

(2) 教育振興運動の充実といわて型コミュニティ・スクールとの連携

- ・東日本大震災津波を踏まえた復興教育等、各地域の教育課題に取り組みます。

Ⅳ スポーツ・レクリエーション環境の整備

- 〔重点事項〕 スポーツ・レクリエーション環境の整備
被災生徒の運動部活動の大会等への参加支援

スポーツ・レクリエーション活動の早期の復興を図るため、拠点となる施設の機能回復の支援や各地域のスポーツ活動、健康づくりの再生支援を行うとともに、各種競技大会等への参加機会を確保するための支援を行います。

(1) スポーツ・レクリエーション環境の整備

- ・被災市町村や団体等の実情とニーズに応じ、スポーツ・レクリエーション活動の推進体制の整備等を支援します。
- ・自校のグラウンド等で体育授業や運動部の活動が十分に行えない学校に対して、限られた状況でもできる運動プログラムや活動の場を提供するなどの支援を行います。

(2) 被災生徒の運動部活動の大会等への参加支援

- ・「いわての学び希望基金」を活用し、被災した生徒の運動部活動の県大会及び東北大会等への参加支援に取り組みます。

◆いわて県民計画「第2期アクションプラン」の着実な推進

I 学校教育の充実

〔重点事項〕 目標達成型学校経営の推進

児童生徒の学力向上、授業改善の推進と家庭学習の充実

中学校教育の充実強化

キャリア教育の実践

教育相談機能の充実

特別支援教育の充実

学校教育の根幹である学習面の基礎・基本を確実に定着させるとともに基本的な生活習慣や規範意識の確立を通して社会人になるということの意義を教えることは不易であり、最も大切なことです。

また、同時に、子ども一人ひとりの個性や特性等にきめ細かに対応し、小学校、中学校、高等学校の各段階を一連のものと捉えてその伸長を図ることが求められます。

さらに、平成23年度から順次行われている新学習指導要領の完全実施への適切な対応が求められています。

1 教育推進に関する諸計画の一体的な推進

「いわて県民計画」においては、「岩手の未来を担う子どもたちを育てるひとつづくりは、長期的な視点で取り組んでいくことが必要」と明記されていることも踏まえ、次に掲げる教育施策に関する諸計画を中心に、義務教育、高等学校教育、特別支援教育等の各プランの連携、整合をとりながら、一体的な推進を図っていくものです。

また、高校入試制度の改善方針について、説明会等を通じて周知を図っていきます。

* 教育推進に関する諸計画体系

- いわて県民計画 (H21.12 策定 H21～H30)
- いわて県民計画第2期アクションプラン (H23 策定予定 H23～H26)
- 岩手の教育振興 (H22.3 策定 H21～H30)
- これからの岩手の義務教育 (H21.3 策定 概ね10年間)
- 今後の高等学校育の基本的方向 (H22.3 策定 概ね10数年間)
- ・ 第二次県立高等学校整備計画(仮称) (時期未定)
- いわてキャリア教育指針 (H22.3 策定)
- いわて特別支援教育推進プラン (H21.12 策定 H21～H24)
- 岩手県子どもの読書活動推進計画(第2次) (H21.6 策定 H21～H25)
- 「いわての復興教育」プログラム (H23～H27)

2 家庭・地域との協働による学校経営の推進

(1) 目標達成型の学校経営の推進

・各学校が、全教職員の参加のもとにそれぞれの学校経営計画を策定し、設定した目標や具体的な取組等の達成状況や進め方などについて学校自らが評価する学校評価(自己評価)を行い、その結果と今後の改善方策等について保護者や地域等に対して広く公表、報告する取組を一層進めます。

(2) 学校と家庭・地域との協働の推進

- ・自己評価の結果について、保護者や学校評議員、地域住民等により構成された学校関係者が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて評価する学校評価（学校関係者評価）の実施率向上とその公表に取り組みます。
- ・各小・中学校は、地域の実情に応じながら、いわて型コミュニティ・スクールを見直し、充実を図っていくとともに、家庭学習の充実や読書活動の推進等について、「まなびフェスト」と教育振興運動の目標の共有化を図るなど、教育振興運動と連携した取組を一層進めます。

(3) 学校経営における組織力の向上

- ・各学校が、地域や子どもの実態に即した創意工夫ある教育活動を行えるよう、教員の多忙化解消の観点から仕事をしやすい環境整備、仕組みづくりに取り組みます。
- ・主幹教諭の配置校を拡大し、主幹教諭を活用した学校の諸課題の解決に向けた体制整備を推進します。

(4) 児童生徒の居場所づくりの推進

- ・地域の人材を活用した放課後の安全で安心な児童の居場所づくりを推進します。

3 児童生徒の学力向上

(1) 授業改善の推進と家庭学習の充実

- ・教員の授業力の向上や、諸調査の結果分析を生かした授業の展開など、より分かりやすい授業への改善を進めます。
- ・授業内容の理解を促進するための授業と連動した家庭学習に取り組むことや教育振興運動と連携して取り組むことなどにより、家庭学習の充実を図ります。

(2) 数学（算数）・英語の学力向上

- ・各学校が、それぞれの実態に応じた学力向上の目標を設定し、その目標を達成するための小・中・高等学校での指導の連続性の確保、効果的な改善策の策定や授業改善に係る指導・助言など、学校、市町村、県等の取組の連携を強化することにより、数学（算数）・英語の学力向上を図ります。

(3) 特色ある教育課程の編成

- ・学習指導要領の趣旨等の周知を図りながら、全ての学校がそれぞれの実態と特色に合わせた教育課程を編成し、充実した教育活動を展開できるよう支援します。
- ・岩手の歴史、文化等を学ぶ教育や情報教育、環境教育、放射線教育、国際理解教育等の特色ある教育課程を通じて、グローバル社会に適應できる力や、変化の激しい社会を生きる人間として必要な知識・技能を習得することにより、自ら学ぶ力の育成に取り組みます。
- ・小中一貫教育のモデル構築に関する調査研究（H22～H24）に取り組み、小学校高学年での教科担任制や小・中学校の教員双方向乗り入れによる教育展開の試行など、導入マニュアルの作成に向けて具体的な検討の支援を行います。
- ・併設型中高一貫教育校である一関第一高等学校附属中学校について、教育環境の整備を引き続き進めます。

(4) 少人数学級の推進

・地域や学校の実情に応じた学級編制に係る市町村裁量の拡大に適切に対応しながら、小学校1年生及び2年生での35人以下学級編制や、中学校1年生での35人学級を完全実施し、児童生徒一人ひとりに目の届く環境を整え、基礎学力の向上を図ります。

(5) 中学校における学校生活サポートの充実

・中学校において、生徒の学習定着上の課題や生徒指導上の諸課題に対応するため、引き続き、必要な学校に教員の日常の活動を支援する経験豊かな非常勤講師等を配置します。

4 キャリア教育の実践

・各学校において、「いわてキャリア教育指針」及び「いわてキャリア教育の手引き」に基づき「キャリア教育全体計画」を作成し、学校教育活動全体で小・中・高等学校の発達段階に応じた体系的・計画的なキャリア教育に取り組むことにより、児童生徒が将来、社会人、職業人として自立できるための「総合生活力」※1と「人生設計力」※2を育成します。

・生徒一人ひとりの多様な進路希望の達成と、将来の本県を支える人材育成に向けた各高等学校の取組を支援します。

※1 総合生活力：児童生徒が将来の社会人・職業人として自立して生きるために必要な能力

※2 人生設計力：児童生徒が主体的に人生計画を立て、進路選択をし、決定できる能力

5 豊かな心を育む教育の推進

(1) 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

・各学校の道徳教育全体計画の中に教職員の配置や役割を含めた推進体制を明確にして道徳教育の充実に取り組みます。

・学校教育の中にボランティア活動などの体験活動や自然体験活動、文化芸術体験活動、読書活動などを位置付けながら豊かな心を育む教育の充実を図ります

・教員の学級経営・ホームルーム経営の充実を図り、児童生徒の理解を進め、好ましい人間関係づくりや規範意識の醸成に取り組みます。

・特に高等学校においては、新たに作成した高等学校道徳副読本（H24.3）を活用した道徳教育の推進を図ります。

(2) 教育相談機能の充実

・学校不適應の未然防止、早期発見・早期対応のためにスクールカウンセラーを配置するなど児童生徒が相談しやすい環境づくりを推進するとともに、学校心理士の資格を有する教員を養成し、児童生徒の教育相談体制の充実を図ります。

(3) 情報モラル教育の推進

・情報機器利用における危険性や問題点を理解させる情報モラルに関する指導の充実と保護者への啓発活動を推進します。

6 健やかな体を育む教育の推進

(1) 体力向上や運動に親しむ環境づくり

- ・ 体力向上事例集等を活用して授業力向上に取り組みます。
- ・ 小学校体育実技アシスタントの派遣により体育授業の充実を図ります。
- ・ 中学・高校運動部の指導者として地域のスポーツ人材を活用し、運動部活動の活性化を図ります。

(2) 家庭と連携した健康教育の充実

- ・ 児童生徒の自律的な健康づくりに取り組む姿勢と能力を育成し、健康な生活を実現するように、関係機関・地域・家庭と連携して、教員・児童生徒に対する研修等を一層推進します。
- ・ 児童生徒の肥満傾向や運動習慣、体力低下の改善などに向けて、岩手県食育推進計画等をもとに関係部局との連携を図りながら、家庭における生活習慣の改善や食育の充実を図ります。

7 特別支援教育の充実

(1) 「いわて特別支援教育推進プラン」の推進

- ・ 「共に学び、共に育つ教育」を理念とした「いわて特別支援教育推進プラン」に基づく実践を進めます。
- ・ 推進にあたっては、保健、福祉、労働等関係する機関との連携を一層促進します。

(2) 就学前及び小・中・高等学校における特別支援教育の充実

- ・ 地域の幼稚園や保育所を継続的に訪問し、指導方法に関する相談や支援を行います。
- ・ 研修や相談等を通じて、通常の学級及び特別支援学級における「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」に基づく指導の充実を図ります。
- ・ 市町村教育委員会への支援体制の整備や高等学校への特別支援教育の体制づくりを進めます。

(3) 特別支援学校における教育の充実

- ・ 特別支援学校と小・中学校の児童生徒との交流及び共同学習を推進します。
- ・ 特別支援学校におけるキャリア教育を充実し、小学部から高等部まで継続性のある指導ができるよう研究、研修の充実に努めます。

(4) 県民と協働した特別支援教育体制づくり

- ・ 特別支援教育ボランティアの養成や活用などにより、県民への啓発活動に取り組みます。

(5) 特別支援学校卒業生の就職支援

- ・ 公的機関における現場実習の受入れの促進や、特別支援学校についての理解浸透を図るための企業関係者等との連携の場を設置し、職業教育の充実や職域の拡大に取り組みます。

II 社会教育の充実と生涯を通じた学びの環境づくり

〔重点事項〕 教育振興運動の充実

家庭教育の充実

中学生・高校生の読書活動の推進

学校、家庭、地域住民等の連携協力による社会教育の充実に取り組みます。
また、県民の学習意欲や学びの成果が地域で生かされる環境づくりを推進します。

(1) 教育振興運動の充実といわて型コミュニティ・スクールとの連携

・いわて型コミュニティ・スクールとの連携により、全県共通課題（「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」）に継続して取り組みます。（H24～H26）

(2) 家庭教育の充実

・家庭教育や子育てについての悩みを抱え、孤立しがちな保護者と地域とを結びつけ、地域全体で子育てを支援する体制づくりに取り組みます。
・学習情報の提供や相談体制の充実を図ります。

(3) 読書活動の推進

・「岩手県子どもの読書活動推進計画（第2次）」（いわて子ども読書プラン 2009）に基づき、子どもの読書活動を推進します。
・ブックリスト『いわての中高生のためのおすすめ図書 100 選』（H23.2）の活用を促し、中高生の読書活動を推進します。

(4) 学習活動を支援する環境の充実

・生涯学習情報の収集・提供、地域人材の研修機会の充実を図り、生涯を通じた学びの環境づくりに向けた取組を進めます。

(5) 社会教育施設におけるサービス向上

・県立社会教育施設（図書館、博物館、美術館及び青少年の家）における県民サービスの向上に努めます。
・市町村社会教育施設における社会教育事業の推進支援により、県民の多様なニーズに適切に対応した生涯学習の振興を図ります。

III 文化芸術の振興

〔重点事項〕 地域における文化芸術活動の支援

世界遺産登録の推進

文化財の保存と継承

文化芸術は、地域の「ゆたかさ」や「ひと」を育むものであり、県民が郷土に誇りや愛着を持ち、地域に伝わる歴史、文化等の理解を深めるとともに、地域の特色ある文化芸術が暮らしに根付くよう取組を進め、その継承と振興を図ります。

(1) 岩手県文化芸術振興指針の推進

- ・文化振興基金の効果的な活用を図りながら、地域の特色ある文化芸術をテーマとした住民参加型のまちづくりや新進・若手芸術家等を支援します。
- ・文化芸術情報の発信を推進します。

(2) 世界遺産登録の推進

- ・世界遺産に登録された「平泉の文化遺産」については、適切な保存管理と普及啓発を推進しつつ、「拡張」による追加登録に向けた取り組みを進めます。
- ・「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」及び「九州・山口の近代化産業遺産群」については、関係自治体と連携し、共同で世界遺産登録に向けた取組を推進します。

(3) 文化財の保存・管理

- ・文化財の保存・管理を進めるとともに、文化財指定を推進します。

IV 豊かなスポーツライフの振興

- 〔重点事項〕 競技力向上のための取組強化
スポーツ医・科学サポート体制の充実
生涯スポーツの振興

スポーツは、県民に大きな夢と感動を与えるものであり、県民の誰もがスポーツに親しみ、健康で活力ある豊かな地域づくりにつなげるための取組を支援します。

また、2 巡目岩手国体をはじめとして、各種全国大会で本県選手が上位入賞を果たせるよう、競技力向上に向けた取組を推進します。

(1) 2 巡目岩手国体に向けた競技力向上のための取組

- ・2 巡目岩手国体に向けた競技力向上のための取組については、(財)岩手県体育協会にスポーツ健康課の職員を駐在させ、体制を強化するとともに、選手強化事業を精選して再構築を図り、より効率的な競技力向上に取り組めます。
- ・トップアスリートの輩出を目指すスーパーキッズ発掘・育成事業を推進し、活躍がめざましいジュニア層のレベル向上に計画的に取り組めます。

(2) スポーツ医・科学サポート体制の充実

- ・スポーツ医・科学サポートを受けながら計画的・継続的なトレーニングを行うことが可能となるよう環境整備を推進し、被災市町村を含めた岩手県全体の競技スポーツの強化や県民の健康づくりに取り組めます。

(3) 生涯スポーツの振興

- ・総合型地域スポーツクラブの創設・育成支援など、県民の生涯スポーツへの取組を推進します。

V 業務推進の基本姿勢

(1) 行動規範の確保

- ・岩手県職員憲章及び岩手県教職員コンプライアンス・マニュアル（H22.10 改定）に則り、教育に携わる職員としての自信と誇りを持ち、質の高い教育活動を創出します。
- ・教職員による不祥事の未然防止のため、日常のチェックや個人の意識高揚はもちろんのこと、予兆を見逃さない、自浄作用が発揮できる組織風土づくりを強化します。
- ・主幹教諭の配置校を拡大し、主幹教諭を活用した学校の諸課題の解決に向けた体制整備を推進します。

(2) 学校現場でのOJTの推進

- ・学校現場の知（ノウハウ）を共有しながら学校内での日常業務を通じた人材育成を推進し、教職員の指導力向上を図るため、OJT（On the Job Training）による指導、啓発のための取組を推進します。

(3) 現場支援としての事務局体制の強化

- ・教育は学校現場、子どもが主役であることを基底として、事務局の価値は現場支援にあることを再認識し、現場の実態に即した解決が図られるよう、現場主義を一層徹底します。

(4) 組織横断的な業務推進

- ・教育に関わる分野は、自組織のみでは解決困難な業務課題が多くなりつつあり、また、他部門からの協力要請も多く、関係機関との緊密な連携が必要であり、特に、福祉・商工労働・地域振興部門やPTA等各種団体、市町村との連携と役割分担の明確化により課題解決に向けた取組を進めます。

(5) 業務の効率化及び質の向上

- ・各所属においては業務の改善・効率化に主体的、継続的に取り組むものとし、それぞれの顧客に対する満足度を高めていきます。
- ・教育現場においては、教員が子ども一人ひとりに向き合う時間が最大限確保されるよう、常に工夫・改善に努めます。

(6) PDCAサイクルを踏まえた経営計画の推進

- ・各所属における経営計画の推進に当たっては、常にPDCAサイクルを意識し、的確な現状分析を踏まえた目標を掲げ、その達成状況を確認しながら必要な改善策を講じ、施策への反映に向けた業務遂行に努めます。
- ・各教育施策の立案に当たっては、事務事業の点検・評価、サマーレビュー、政策評価等を通じて一体的、計画的に行います。

(7) 「いわて県民計画」アクションプランの着実な推進

- ・「いわて県民計画」第2期アクションプランに掲げる別記の各目標の実現に向けて、政策評価を的確に行い、着実に達成できるよう各事業に取り組みます。

(別記) いわて県民計画アクションプラン【政策編】に掲げる目標値(目指す姿指標)

◆ 家庭・地域との協働による学校経営の推進

① 学校評価(自己評価及び学校関係者評価)結果等を踏まえて学校運営の改善に具体的に取り組んでいる学校の割合

(現状: H20) 58% → (目標: H24) 65%

② 「いわての復興教育」を学校経営計画等に位置付けて取り組んでいる学校の割合

(現状: H22) — → (目標: H24) 80%

◆ 児童生徒の学力向上

学習定着度状況調査及び基礎力確認調査において、「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合

(現状: H22) 64% → (目標: H24) 65%

◆ 豊かな心を育む教育の推進

① 自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合

(現状: H22) 56% → (目標: H24) 58%

② 「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた児童生徒の割合

(現状: H22) 78% → (目標: H24) 80%

◆ 健やかな体を育む教育の推進

① 児童生徒の「体力・運動能力調査」の全国平均値以上の項目割合(小・中学校全学年)

(現状: H22) 73.6% → (目標: H24) 76.0%

② 児童の「定期健康診断」の肥満度が正常の範囲内と判定される児童の割合(小学校全学年)

(現状: H22) 87.4% → (目標: H24) 88.2%

◆ 特別支援教育の充実

① 作成が必要なすべての児童生徒について「個別の教育支援計画」を作成している学校の割合

(現状: H22) 38% → (目標: H24) 68%

② 特別支援学校高等部の就職希望者のうち、就職を達成した生徒の割合

(現状: H22) 92.0% → (目標: H24) 93.0%

◆ 生涯を通じた学びの環境づくり

生涯学習リーダー登録者数(累計)

(現状: H22) 614人 → (目標: H24) 660人

◆ 文化芸術の振興

① 県内の公立文化施設における催事数

(現状: H22) 912件 → (目標: H24) 821件

② 民俗芸能ネットワーク加盟団体数

(現状: H22) 343団体 → (目標: H24) 360団体

◆ 豊かなスポーツライフの振興

① スポーツ実施率(週1回以上のスポーツ実施率)

(現状: H22) 38.1% → (目標: H24) 46%

② 国民体育大会天皇杯得点順位

(現状: H22) 33位 → (目標: H24) 20位

第2 岩手県教育委員会

1 教育委員会委員及び教育長（平成25年3月31日現在）

職名	氏名	委員としての任期
委員長 (平成21年10月11日～)	八重樫 勝	平成23年10月11日～平成27年10月10日 (平成19年10月11日～平成23年10月10日)
委員長職務代理者[第1順位] (平成24年10月1日～)	坂本 ゆり	平成22年10月1日～平成26年9月30日 (平成14年10月1日～平成22年9月30日)
委員長職務代理者[第2順位] (平成24年10月1日～)	小平 忠孝	平成21年10月11日～平成25年10月10日
委員	村井 三郎	平成24年10月1日～平成28年9月30日 (平成20年10月1日～平成24年9月30日)
委員	芳沢 莖子	平成24年10月1日～平成28年9月30日
委員・教育長	菅野 洋樹	平成24年4月1日～平成28年3月31日 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

2 事務局及び学校以外の教育機関の職員の異動状況（平成24年度定期人事異動、単位：人）

職の区分	異動区分	異動区分						計
		退職	転出	昇任	配置換等	転入	採用	
指導主事、社会教育主事等の専門職員		0	37	33	40	62	0	172
教育長・事務職員	教育長	0	0	0	0	0	0	0
	次長級	1	3	2	0	2	0	8
	総括課長級	3	10	5	6	9	0	33
	担当課長級	1	8	5	5	4	1	24
	主任主査級	0	5	4	1	3	0	13
	主査級	0	8	3	12	13	0	36
	主事級	0	10	0	3	8	4	25
	小計	5	44	19	27	39	5	139
技能労務職員		1	0	0	0	0	0	1
計		6	81	52	67	101	5	312

3 教育委員会議開催状況（平成24年度）

区分	開催回数(回)
定例会	12
臨時会	2
委員協議会	7

第3 表彰及び栄典

1 平成24年度文部科学大臣表彰（本県関係）

(1) 教育者表彰

高橋 和雄（岩手県立盛岡第一高等学校長）
横沢 幹雄（盛岡市立仁王小学校長）
熊谷 雅英（盛岡市立下橋中学校長）

(2) 優秀教員表彰

田中 克徳（盛岡市立城北小学校）
佐伯 祝（盛岡市立下橋中学校）
和田 健利（岩手県立盛岡第一高等学校）
小原 謙一（岩手県立福岡高等学校）
小野 悟（岩手県立岩谷堂高等学校）
菅原 裕子（岩手県立盛岡視覚支援学校）
菊池 瑞民（岩手県立盛岡みたけ支援学校）

(3) 地方教育行政功労者表彰

藤井 達也（前大槌町教育委員会委員長）
道合 多喜夫（普代村教育委員会委員長）
佐々木 恵治（岩手町教育委員会教育長）

(4) 優良PTA表彰

洋野町立種市小学校PTA（洋野町）
盛岡市立土淵中学校PTA（一関市）
岩手県立福岡高等学校PTA（大船渡市）

(5) 社会教育功労者表彰

川村 サト（元 岩手県地域婦人団体協議会常任理事）
石川 亀一（元 岩手県地域婦人団体協議会常任理事）

(6) 優良公民館表彰

一関市立舞川公民館
釜石市立唐丹公民館

(7) 地域文化功労者表彰

佐藤 勝久（鋳物職人 岩手工芸美術協会顧問）
春田打保存会（北上市）

(8) 生涯スポーツ功労者表彰

新淵 久郎（岩手県レクリエーション協会副会長）
川村 幸男（岩手県ソフトテニス連盟副会長）

(9) 学校保健及び学校安全表彰

ア 学校保健関係

山浦 玄嗣（学校医）
守口 憲三（学校歯科医）
二戸市立金田一中学校

(10) 視聴覚教育功労者表彰

中屋 定基（宮古市）

(11) スポーツ推進委員功労者

佐藤 勝士（花巻市）

(12) 子どもの読書活動優秀実践表彰

- ア 団体（者）表彰
アインブーフ（花巻市）
- イ 図書館表彰
八幡平市立図書館
- ウ 学校表彰
滝沢村立滝沢東小学校
軽米町立笹渡小学校

2 平成24年度岩手県教育表彰

(1) 事績顕著者

本県教育文化の発展向上に尽力した功労者55名、7団体を表彰した。

ア 学校教育

遠野市立遠野小学校
岩手県立宮古工業高等学校
岩手県立水沢高等学校
岩手県立前沢明峰支援学校

イ 学校保健

高砂子 祐 平（学校医）
河 嶋 寛（学校医）
玉 田 康 房（学校医）
今 泉 利 雄（学校医）
齋 藤 達 雄（学校医）
小笠原 孝 祐（学校医）
照 井 良 彦（学校医）
飯 田 七 生（学校医）
千 葉 修 二（学校医）
藤 井 敏 司（学校医）
漆久保 潔（学校医）
松 井 美紀夫（学校医）
沼 田 與志晴（学校歯科医）
川 田 慶 勲（学校歯科医）
松 本 覚（学校歯科医）
佐 藤 晴 耕（学校歯科医）
佐々木 博（学校歯科医）
中 村 仁（学校歯科医）
根 本 昌 幸（学校歯科医）
菅 野 悦 哉（学校歯科医）
岩 渕 壯之助（学校歯科医）
富 山 道 彦（学校薬剤師）
武 政 文 彦（学校薬剤師）
小笠原 慈 夫（学校薬剤師）
岩 井 確 司（学校薬剤師）
金 野 良 子（学校薬剤師）
高 木 久 子（学校薬剤師）
伊 東 祐太郎（学校薬剤師）
三 瓶 麻里子（学校薬剤師）

ウ 社会教育

菅原 三千司（前藤沢町社会教育委員 前藤沢町公民館運営審議会委員）
青笹小学校PTA
有住中学校PTA
江釣子幼稚園PTA

第2章 教育行財政
 第1節 教育行政
 第3 表彰及び栄典

エ 社会体育

小笠原 義 文 (岩手県バレーボール協会会長)
 谷 上 淳 (岩手県アイスホッケー連盟会長)
 高 原 貞 夫 (花巻市ボクシング協会顧問)
 小 野 悟 (岩手県立岩泉高等学校)
 藤 野 遥 香 (ソフトボール競技)
 苫米地 賢 司 (カーリング競技)
 苫米地 美智子 (カーリング競技)
 遠 藤 克 也 ((社)日本フォークダンス連盟岩手県支部前支部長)
 佐々木 勲 (奥州市体育協会前会長)
 菅 野 勝 郎 (ソフトテニス競技)

オ 学術、文化

戸 塚 宏 (岩手県俳句連盟顧問)
 寺 崎 巖 (指揮者・ヴァイオリニスト)

カ 教育行政

菊 池 紀美子 (花巻市教育委員会委員)
 高 橋 北 英 (八幡平市教育委員会教育長)
 村 木 登 (葛巻町教育委員会教育長)
 松 尾 光 則 (矢巾町教育委員会教育長)
 及 川 宣 夫 (花巻市教育委員会教育長)
 及 川 紀美子 (金ヶ崎町教育委員会委員長)
 石 岡 三 郎 (田野畑村教育委員会教育長)
 佐々木 源 良 (田野畑村教育委員会委員長)
 大 沢 伸 子 (野田村教育委員会委員長)
 熊 坂 伸 子 (普代村教育委員会教育長)
 千 葉 利 夫 (九戸村教育委員会教育長)
 下 田 和 夫 (一戸町教育委員会委員長)
 遠 藤 裕 一 (一戸町教育委員会教育長)

(2) 永年勤続者 545人

3 平成24年度叙勲 (本県関係)

春秋の別	職 名 等	氏 名	年齢	勲 等
春	現岩手県ハンドボール協会会長	太 田 利 彦	78	瑞宝中綬章
春	元岩手県立黒沢南高等学校長	森 田 敬 一	79	瑞宝小綬章
春	元岩手県立盛岡農業高等学校長	千 田 敦	78	瑞宝小綬章
春	元岩手県立岩谷堂農林高等学校長	阿 部 和 司	77	瑞宝小綬章
春	元花巻市立桜台小学校長	中 村 久 男	75	瑞宝双光章
春	元宮守村立宮守小学校長	浅 沼 敬 治	80	瑞宝双光章
春	元盛岡市立北陵中学校長	沼 田 英 雄	70	瑞宝双光章
春	元盛岡市立下橋中学校長	及 川 三 治	72	瑞宝双光章
春	元金ヶ崎町立永岡小学校長	阿 部 信 一	72	瑞宝双光章
秋	元岩手県立盛岡北高等学校長	岩 渕 守	78	瑞宝小綬章
秋	元岩手県立前沢高等学校長	鈴 木 公 人	76	瑞宝小綬章
秋	元岩手県立不来方高等学校長	横 澤 一 男	78	瑞宝小綬章
秋	元北上市立黒沢尻東小学校長	菊 池 修	76	瑞宝双光章
秋	元盛岡市立見前南小学校長	井 畑 誠 八	75	瑞宝双光章
秋	元千厩町立千厩小学校長	菊 地 保	79	瑞宝双光章
秋	元日本フォークダンス連盟岩手県支部会長	藤 原 富 男	79	旭日単光章

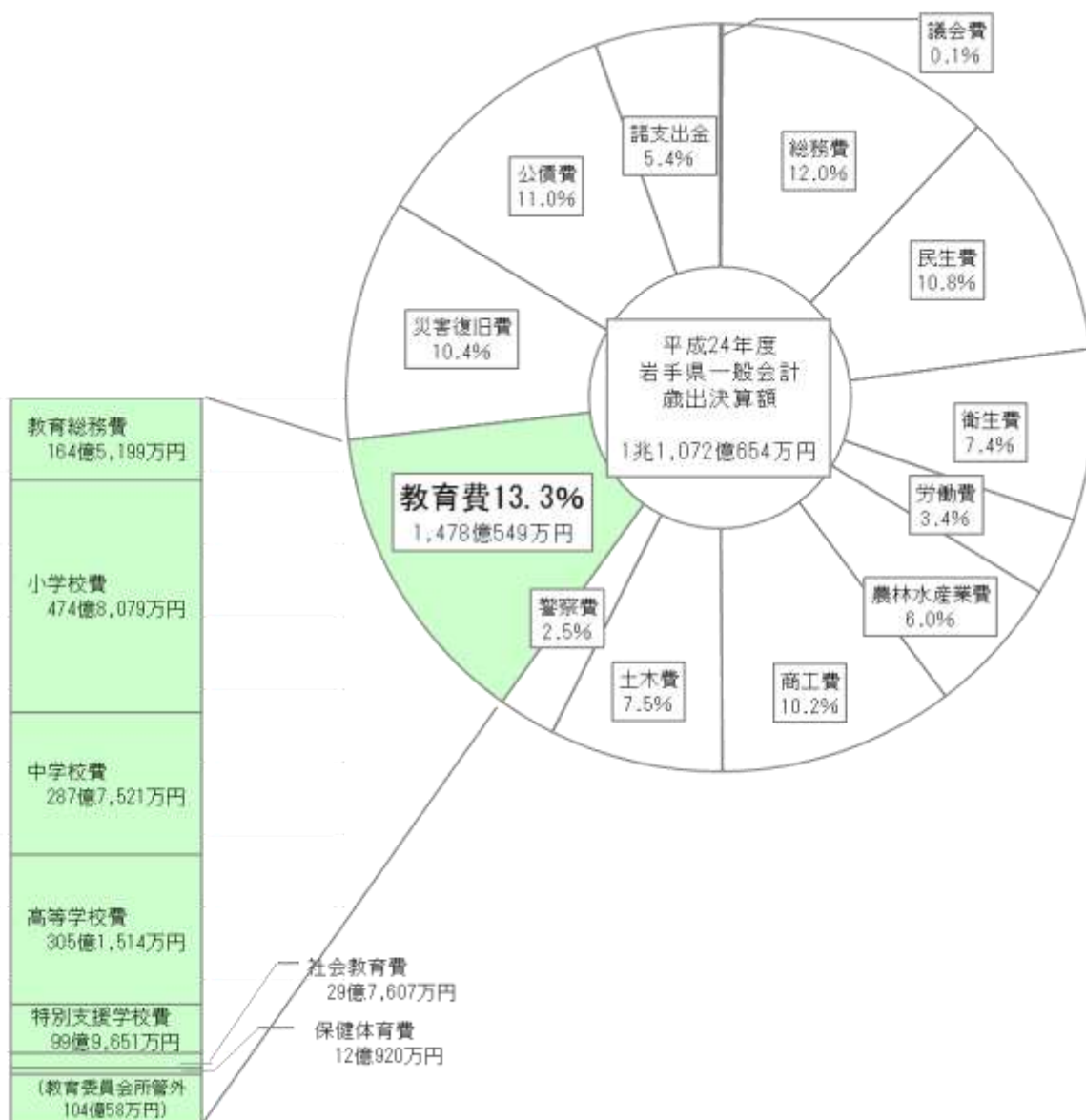
第2節 教育財政

○ 平成24年度岩手県一般会計決算と教育費決算の概要

平成24年度の岩手県一般会計歳入歳出決算額は、歳入1兆2,172億3,839万円、歳出1兆1,072億654万円であり、これを前年度決算額に比べると、歳入△9.8%、歳出△11.7%とそれぞれ減少した。

一般会計歳出決算額のうち教育委員会所管分は、教育費1,478億549万円のうち1,374億491万円及び災害復旧費1,149億9,023万円のうち4億8,066万円の計1,378億8,557万円であり、一般会計歳出決算額に占める割合は、12.5%となっている。

【平成24年度岩手県一般会計歳出決算額 目的別構成比】



【平成24年度 教育費 歳出予算・決算額】

区 分	最終予算額 (A)	決 算 額 (B)	翌年度繰越額 (C)	不 用 額 (A-B-C)
一般会計総額	1,438,050,815,390	1,107,206,541,231	239,058,363,948	91,785,910,211
教育費（教委所管分）	138,984,167,000	137,404,911,991	1,068,173,000	511,082,009
教育総務費	16,694,196,000	16,451,995,340	118,184,000	124,016,660
教育委員会費	16,422,000	16,069,661	0	352,339
事務局費	2,793,059,000	2,599,888,925	118,184,000	74,986,075
教職員人事費	12,318,148,000	12,293,812,667	0	24,335,333
教育指導費	1,007,002,000	986,558,912	0	20,443,088
教育センター費	415,038,000	413,444,278	0	1,593,722
恩給及び退職年金費	144,527,000	142,220,897	0	2,306,103
小学校費	47,514,195,000	47,480,794,854	0	33,400,146
教職員費	47,514,195,000	47,480,794,854	0	33,400,146
中学校費	28,809,165,000	28,775,205,741	0	33,959,259
教職員費	28,801,191,000	28,767,345,245	0	33,845,755
学校管理費	7,974,000	7,860,496	0	113,504
高等学校費	30,982,766,000	30,515,138,949	374,660,000	92,967,051
高等学校総務費	25,794,569,000	25,762,610,543	0	31,958,457
全日制高等学校管理費	1,514,818,000	1,502,595,193	0	12,222,807
定時制高等学校管理費	57,840,000	56,646,599	0	1,193,401
教育振興費	1,029,694,000	1,011,864,683	0	17,829,317
学校建設費	2,580,028,000	2,175,609,006	374,660,000	29,758,994
通信教育費	5,817,000	5,812,925	0	4,075
特別支援学校費	10,056,284,000	9,996,506,572	25,122,000	34,655,428
特別支援学校費	10,056,284,000	9,996,506,572	25,122,000	34,655,428
社会教育費	3,097,579,000	2,976,075,442	3,774,000	117,729,558
社会教育総務費	1,188,932,000	1,141,759,029	0	47,172,971
文化財保護費	722,807,000	660,685,419	624,000	61,497,581
芸術文化振興費	221,606,000	211,768,111	3,150,000	6,687,889
図書館費	194,068,000	193,067,903	0	1,000,097
博物館費	305,514,000	304,221,219	0	1,292,781
美術館費	464,652,000	464,573,761	0	78,239
保健体育費	1,829,982,000	1,209,195,093	546,433,000	74,353,907
保健体育総務費	559,924,000	522,996,554	0	36,927,446
体育振興費	404,157,000	376,527,082	0	27,629,918
体育施設費	865,901,000	309,671,457	546,433,000	9,796,543
災害復旧費（教委所管分）	543,171,000	480,661,490	36,856,500	25,653,010
教育施設災害復旧費	543,171,000	480,661,490	36,856,500	25,653,010
学校施設災害復旧費	530,951,000	479,054,990	26,249,500	25,646,510
社会教育施設災害復旧費	0	0	0	0
体育施設災害復旧費	12,220,000	1,606,500	10,607,000	6,500
（教育委員会所管分計）	139,527,338,000	137,885,573,481	1,105,029,500	536,735,019

[単位：円、%]

区 分	前年度最終予算額 (D)	対前年比(金額) E (A-D)	対前年比(増減率) E/D
一般会計総額	1,580,453,463,453	△142,402,648,063	△9.0
教育費(教委所管分)	145,148,138,087	△6,163,971,087	△4.2
教育総務費	14,867,524,941	1,826,671,059	12.3
教育委員会費	16,755,000	△333,000	△2.0
事務局費	3,032,842,928	△239,783,928	△7.9
教職員人事費	10,094,693,000	2,223,455,000	22.0
教育指導費	1,028,978,913	△21,976,913	△2.1
教育センター費	524,758,100	△109,720,100	△20.9
恩給及び退職年金費	169,497,000	△24,970,000	△14.7
小学校費	48,944,189,000	△1,429,994,000	△2.9
教職員費	48,944,189,000	△1,429,994,000	△2.9
中学校費	29,113,775,000	△304,610,000	△1.0
教職員費	29,105,029,000	△303,838,000	△1.0
学校管理費	8,746,000	△772,000	△8.8
高等学校費	37,134,084,607	△6,151,318,607	△16.6
高等学校総務費	26,350,902,000	△556,333,000	△2.1
全日制高等学校管理費	1,567,844,920	△53,026,920	△3.4
定時制高等学校管理費	85,343,996	△27,503,996	△32.2
教育振興費	7,630,760,367	△6,601,066,367	△86.5
学校建設費	1,491,954,883	1,088,073,117	72.9
通信教育費	7,278,441	△1,461,441	△20.1
特別支援学校費	10,804,725,061	△748,441,061	△6.9
特別支援学校費	10,804,725,061	△748,441,061	△6.9
社会教育費	2,463,482,618	634,096,382	25.7
社会教育総務費	944,911,775	244,020,225	25.8
文化財保護費	394,664,843	328,142,157	83.1
芸術文化振興費	240,793,000	△19,187,000	△8.0
図書館費	186,586,000	7,482,000	4.0
博物館費	302,237,000	3,277,000	1.1
美術館費	394,290,000	70,362,000	17.8
保健体育費	1,820,356,860	9,625,140	0.5
保健体育総務費	810,285,000	△250,361,000	△30.9
体育振興費	574,722,860	△170,565,860	△29.7
体育施設費	435,349,000	430,552,000	98.9
災害復旧費(教委所管分)	1,164,319,000	△621,148,000	△53.3
教育施設災害復旧費	1,164,319,000	△621,148,000	△53.3
学校施設災害復旧費	1,112,178,000	△581,227,000	△52.3
社会教育施設災害復旧費	17,381,000	△17,381,000	皆減
体育施設災害復旧費	34,760,000	△22,540,000	△64.8
(教育委員会所管分計)	146,312,457,087	△6,785,119,087	△4.6

[参考] 管理部門

1 市町村立学校

(1) 教職員の人事異動

平成24年度公立小中学校教職員定期人事異動は、全県の視野に立った教職員の適正配置及び人事の刷新を図り、本県教育の一層の活性化と充実向上を期するため、公立小中学校教職員定期人事異動方針及び人事異動要領に基づき、以下のとおり、全県の視野に立った交流を進めるとともに、教職員の構成等にも配慮する適正な配置を行った。

- ア 県内をA(盛岡・岩手)、B(花巻・遠野・北上・西和賀)、C(奥州・一関)、D(久慈・二戸)、E(宮古・宮古北)、F(釜石・大船渡)の6ブロック14地区とし、在任中に2ブロック3地区以上勤務することを原則とした。
- イ ABCブロックとDEFブロック間の異動を積極的に行い、交流をより一層活発にした。
- ウ へき地学校とその他の学校との交流を行い、3級以上のへき地学校に3年以上勤務した者の配置換えを行った。
- エ 小中学校併設校9校全校に副校長を置き(小中学校兼務を含む)、地域における学校運営体制の充実を図った。
- オ 管理職については、広く有為な人材の発掘に努め、若手、女性を積極的に登用した。
新たに49人の校長と54人の副校長を登用した。
- カ 新採用教員については、6教育事務所に配置した。
教諭の新規採用は110人であった。
- キ 退職者は186人であり、校長は56人、副校長は15人であった。

【平成24年度公立小中学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

	小学校			中学校			計		
	同一市町村内	同一市町村外	計	同一市町村内	同一市町村外	計	同一市町村内	同一市町村外	計
校長	25	104	129	19	53	72	44	157	201
副校長	42	104	146	19	69	88	61	173	234
主幹教諭	5	12	17	4	9	13	9	21	30
教諭(指導教諭含)	270	474	744	144	330	474	414	804	1,218
養護教諭	19	68	87	10	31	41	29	99	128
栄養教諭	2	8	10	2	1	3	4	9	13
学校栄養職員	0	3	3	0	2	2	0	5	5
事務職員	39	44	83	29	33	62	68	77	145
小計	402	817	1,219	227	528	755	629	1,345	1,974
市町村教委等転出者	17			20			37		
合計	1,236			775			2,011		

注：事務局及び県立学校への転出者(小学校18人、中学校17人、計35人)を含まない。

校種間異動者(中学校から小学校へ5人、小学校から中学校へ11人)を含んでいる。

【校長登用者】[単位：人]

	小学校	中学校	計
同一教育事務所管内	4	1	5
同一教育事務所管外	25	19	44
計	29	20	49

【副校長登用者】[単位：人]

	小学校	中学校	計
同一教育事務所管内	6	5	11
同一教育事務所管外	23	21	44
計	29	26	55

【新採用職員】[単位：人]

	小学校	中学校	計
教諭	43	67	110
養護教諭	2	4	6
栄養教諭	2	1	3
事務職員	5	7	12

【退職者】 [単位：人]

	小学校	中学校	計
校長	36	20	56
副校長	10	5	15
教諭	49	25	74
養護教諭	12	6	18
学校栄養職員	2	1	3
事務職員	18	2	20
計	127	59	186

(2) 教育相談員

教育相談員は、公立小中学校の教育に関する事項について教職員の相談に応じ助言を与え、教育効果の向上を図るため、各教育事務所に配置している。

各相談員とも、年度当初訪問に計画を立て、積極的に学校訪問をし、一人当たりの平均訪問学校数は68.5校であった。

相談内容は多岐にわたるが、特に新任校長、新任副校長や、へき地学校の教職員に対しては貴重な相談機会となっている。

2 県立学校

【平成24年度県立学校教職員定期人事異動集計表】

[単位：人]

	退 職	昇任、配置換、転出	転入、採用	計
高等学校教員	93	641	67	801
特別支援学校教員	26	175	43	244
実習助手	11	32	6	49
寄宿舍指導員	4	14	4	22
事務職員	21	79	36	136
栄養教諭・栄養士	0	0	0	0
技能労務・海事職員	10	7	0	17
計	165	948	156	1,269

このうち、校長は、退職が14人であり、任命換、昇任、転入及び採用が29人であった。

(1) 校長・副校長

学校・学科の別にとらわれることなく、適材を適所に配置する観点から、13人を校長に登用した。また、広く全県的視野に立って、14人の中堅教員を副校長に登用した。

(2) 一般職員

次の観点から交流を行い、組織の活性化を図った。

ア 東北新幹線沿線地域に勤務する教員と、それ以外の地域に勤務する教員との交流、特に、沿岸被災地の学校に勤務する教員、人事上のへき地及び県北地域に勤務する教員の異動に重点を置いた。

イ 全日制と定時制・通信制、また、普通高校と専門高校の間の教員の交流を図った。

なお、東日本大震災津波の影響で平成23年度定期人事異動を原則凍結としたため、平成24年度の人事異動は、その凍結分の異動に今年度の異動分が加わったため、大規模な異動となった。

[参考] 市町村教育委員会

1 市町村教育委員会委員長（平成25年3月31日現在）

市町村名	委員長		委員長の任期
盛岡市	星野勝利	(新)	平成24年10月1日～平成25年9月30日
八幡平市	小山田洋子	(再)	平成24年11月15日～平成25年11月14日
雫石町	上野宏	(再)	平成24年10月1日～平成25年9月30日
葛巻町	千葉洋一	(再)	平成24年10月1日～平成25年9月30日
岩手町	遠藤武光	(再)	平成24年7月21日～平成25年7月20日
滝沢村	内村宣夫	(再)	平成24年12月23日～平成25年12月22日
紫波町	高橋榮幸	(再)	平成24年10月1日～平成25年9月30日
矢巾町	(不在)		
花巻市	照井善耕	(再)	平成25年3月25日～平成26年3月24日
遠野市	似内宏和	(再)	平成24年11月26日～平成25年11月25日
北上市	小原広記	(新)	平成24年6月1日～平成25年5月31日
西和賀町	深澤武志	(再)	平成25年1月1日～平成25年12月31日
奥州市	高橋清融	(新)	平成25年3月31日～平成26年3月30日
金ヶ崎町	及川紀美子	(再)	平成24年10月1日～平成25年9月30日
一関市	鈴木功	(再)	平成24年10月29日～平成25年10月28日
平泉町	佐熊睦子	(再)	平成25年1月1日～平成25年9月30日
大船渡市	佐藤浩一	(再)	平成24年10月1日～平成25年9月30日
陸前高田市	横田佑侖	(再)	平成24年10月1日～平成25年9月30日
住田町	千葉英夫	(再)	平成24年10月1日～平成25年9月30日
釜石市	及川好	(再)	平成24年10月1日～平成25年9月30日
大槌町	植田俊郎	(再)	平成24年9月21日～平成25年9月20日
宮古市	坂下昭弘	(再)	平成24年8月30日～平成25年8月29日
山田町	山崎喜六	(再)	平成24年10月19日～平成25年10月18日
岩泉町	伊東勝幸	(再)	平成24年12月21日～平成25年12月20日
田野畑村	佐々木源良	(再)	平成24年11月1日～平成25年10月31日
久慈市	鹿糠敏文	(再)	平成24年5月9日～平成25年4月27日
洋野町	青澤侑子	(再)	平成25年2月14日～平成26年2月13日
野田村	大沢伸子	(再)	平成24年10月1日～平成25年9月30日
普代村	佐々木康雄	(新)	平成24年10月1日～平成25年9月30日
二戸市	清川泰	(再)	平成25年2月22日～平成26年2月21日
軽米町	戸草内勝夫	(再)	平成25年3月25日～平成26年3月24日
九戸村	千葉和彦	(再)	平成24年8月12日～平成25年8月11日
一戸町	春日川寛治	(新)	平成24年12月25日～平成25年12月24日

注：(新)、(再)はそれぞれ平成24年4月1日から平成25年3月31日までの間に新任、再任されたことを表す。

2 市町村教育委員会教育長（平成25年3月31日現在）

市町村名	教 育 長		教育長の任期
盛岡市	千葉仁一	(再)	平成24年10月1日～平成28年9月30日
八幡平市	遠藤健悦	(新)	平成24年7月1日～平成25年11月14日
雫石町	吉川健次		平成23年3月1日～平成25年12月25日
葛巻町	中田直雅	(新)	平成24年5月2日～平成25年12月24日
岩手町	平澤勝郎	(新)	平成24年11月1日～平成28年10月31日
滝沢村	盛川通正		平成21年4月2日～平成25年4月1日
紫波町	侘美淳	(新)	平成24年10月1日～平成28年9月30日
矢巾町	松尾光則	(再)	平成24年10月1日～平成28年9月30日
花巻市	及川宣夫		平成22年4月1日～平成26年3月31日
遠野市	藤澤俊明		平成21年11月26日～平成25年11月25日
北上市	小原善則		平成23年6月1日～平成27年5月31日
西和賀町	野中孝勇		平成21年12月25日～平成25年12月24日
奥州市	佐藤孝守		平成22年4月1日～平成26年3月31日
金ヶ崎町	新田章	(再)	平成24年10月1日～平成28年9月30日
一関市	藤堂隆則		平成21年10月29日～平成25年10月28日
平泉町	岩渕実	(新)	平成24年4月1日～平成26年12月31日
大船渡市	今野洋二		平成22年4月2日～平成25年9月30日
陸前高田市	山田市雄	(再)	平成24年10月1日～平成28年9月30日
住田町	多田茂	(新)	平成24年4月1日～平成26年1月1日
釜石市	川崎一弘	(再)	平成24年10月1日～平成28年9月30日
大槌町	伊藤正治		平成24年3月31日～平成28年3月30日
宮古市	佐々木敏夫		平成22年4月1日～平成25年8月29日
山田町	(不在)		
岩泉町	三上潤		平成23年4月1日～平成25年3月31日
田野畑村	石岡三郎		平成21年10月1日～平成25年9月30日
久慈市	亀田公明		平成22年4月28日～平成26年4月27日
洋野町	麦澤正剛	(再)	平成25年2月14日～平成29年2月13日
野田村	大崎英雄	(再)	平成25年1月1日～平成28年12月31日
普代村	熊坂伸子		平成22年4月1日～平成26年3月31日
二戸市	鳩岡矩雄		平成22年2月22日～平成26年2月21日
軽米町	菅波俊美	(新)	平成25年3月25日～平成28年10月23日
九戸村	千葉利夫	(再)	平成24年7月9日～平成28年7月8日
一戸町	遠藤裕一		平成22年4月1日～平成26年3月31日

注：(新)、(再)はそれぞれ平成24年4月1日から平成25年3月31日までの間に新任、再任されたことを表す。

3 市町村教育委員等研修

- 平成24年度市町村教育委員会研究協議会（第一ブロック）
 - 【平成24年10月25日、岩手県盛岡市 いわて県民情報交流センター「アイーナ」】
 - ・行政説明「初等中等教育をめぐる最近の動向について」
：文部科学省初等中等教育局長 布村 幸彦氏
 - ・講演「教育委員会制度改革の動向とゆくえ」
：放送大学教養学部教授、東京大学名誉教授 小川 正人氏
 - ・パネルディスカッション「学校・家庭・地域の連携による人づくりにおける教育委員会の役割について」
 - 【平成24年10月26日、いわて県民情報交流センター「アイーナ」】
 - ・分科会「震災時における学校の危機管理と子どもたちの心のサポートについて」
「震災時における地域間連携及びNPOとの協働について」
「復興教育の推進について」

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第1 目標達成型の学校経営の推進

各学校がそれぞれの学校の現状と地域の状況、東日本大震災からの復旧・復興状況などを踏まえながら、中長期的な目標のもと、毎年度の達成目標とその実現方策を明らかにした学校経営計画を定め、実行し、その成果と課題を検証していくというPDCAサイクルに基づく学校経営の取組を推進した。

1 目標達成型の学校経営の推進

校長のリーダーシップのもと、家庭・地域との協働の強化を図り、学校経営計画の方針策定や実行プロセスへの校内教職員の参画、学校内外の評価なども取り入れたPDCAサイクルに基づく学校経営を推進した。

- 重視する教育活動について、目指すべき成果やそれに向けた取組の具体的な目標を定めた「まなびフェスト」の公立小中学校における作成状況は100%であった。

2 家庭・地域社会との協働の促進

学校・家庭・地域社会が一体となって子どもたちの生きる力を育むため、学校では、家庭や地域と協働する「いわて型コミュニティ・スクール構想」の実現に向けて、家庭や地域との相互交流を積極的に促進するとともに、学校運営についても、家庭や地域の願い・意見等を把握しながら絶えず見直し、改善の努力をしていく「開かれた学校づくり」を推進した。

3 「開かれた学校づくり」の推進

(1) 地域連携の窓口となる教員の配置

地域や学校の実態に応じて、地域連携の窓口となる教員を配置し、積極的に地域社会と連携した開かれた学校づくりを推進した。

配置の状況は、小中学校 100%、高校96.8%、特別支援学校100%であった。

(2) 学校評議員の設置

児童生徒や保護者、地域住民の学校教育に対する意向を把握するとともに、学校運営などについて説明責任を果たすため、学校評議員の設置を推進した。全ての県立学校で設置され、小中学校においても75%で設置されている。

【目標】

児童・生徒や保護者、地域住民の意向を把握するとともに、学校運営などの説明責任を果たすため、全ての県立学校において学校評議員を設置することとする。

なお、小中学校に対しては、各学校の実情に応じた積極的な取組について指導する。

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第1 目標達成型の学校経営の推進

【進捗状況】			【今後の取組】 学校評議員の積極的な活用を図るため、各校に学校評議員の活用状況等に係る情報を提供するとともに、各市町村教育委員会に対して設置の働きかけを行う。
	H23岩手県	H23全国平均	
公立小学校	291校(78.0%)	83.7%	
公立中学校	131校(71.2%)	84.4%	
公立高等学校	65校(100%)	83.5%	
公立特別支援学校	13校(100%)	83.3%	

(3) 学校評価の実施

学校運営の改善や活性化を進め、教育活動に係る家庭や地域等への説明責任を果たすため、学校自己評価及び評価結果の公表を推進するとともに、自己評価結果に対する学校関係者評価を推奨している。ほとんどの学校が自己評価を行ったが、学校関係者評価については小中学校で全国平均を下回っているものの、8割を超える学校が実施している。

【目標】							
平成19年に改正された学校教育法及び施行規則等の規定に沿った学校評価の実施を推進する。							
(1) 学校は自ら評価を行い、その結果を公表する（義務規定）。							
(2) 学校は、学校関係者評価を行い、その結果を公表するよう務める（努力規定）。							
(3) 学校は、自己評価及び学校関係者評価を行った場合は、その結果を設置者に報告する。							
【実施状況】	自己評価の実施		自己評価結果の公表		学校関係者評価の実施		
	岩手県 (H23)	全国 (H23)	岩手県 (H23)	全国 (H23)	岩手県 (H23)	全国 (H23)	
	公立小学校	373校(100%)	100%	373校(100%)	98.8%	313校(83.9%)	96.0%
	公立中学校	181校(98.4%)	100%	181校(100%)		156校(85.2%)	95.7%
	公立高等学校	65校(100%)	100%	65校(100%)		55校(84.6%)	97.8%
公立特別支援学校	13校(100%)	100%	13校(100%)	13校(100%)		98.3%	

(4) ホームページの開設

学校からの情報発信力を強化するため、全ての県立学校においてホームページを開設しているが、小中学校における開設状況は5割を下回っている。

【目標】			
全学校でのホームページの開設及び学校情報の発信に取り組む。			
【進捗状況】	H24岩手県		【今後の取組】 学校運営等の積極的な情報発信の趣旨からもその充実を図るため、運用に際しての掲載すべき内容を指導するとともに、先進事例を紹介する。
	公立小学校	45.5%	
	公立中学校	44.9%	
	県立学校	100%	

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第1 目標達成型の学校経営の推進

第2 社会人として自立できる能力の育成

4 地域との交流の促進

地域におけるボランティア活動、伝統芸能等の継承、行事や祭事への積極的な参加、社会福祉施設との連携等、地域に開かれた学校づくりを実践的に推進した。

5 地域の人材の活用

地域の伝統文化・芸能の継承活動等において、保護者や地域の方々を指導者として招き、児童生徒が地域を理解する学習の推進を図った。

また、日常の各教科や総合的な学習の時間等においても、保護者や地域の専門的な知識・技能を有する方々をゲストティーチャーとして積極的に活用するなど、地域の人材の活用を積極的に推進した。

6 学校の開放

地域住民の交流や学習の拠点としての役割を担う観点から、学校の体育施設等や学校図書館、空き教室等の積極的な開放を行った。

第2 社会人として自立できる能力の育成

社会の仕組みや経済社会の構造、高度情報化社会の特性、持続可能な社会をつくる取組等について、国際理解教育、情報教育、環境教育等を推進することにより、高校卒業までに、社会を生きる人間として必要な知識・技能を習得させ、自ら学ぶ態度を養うよう努めた。

さらに、児童生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立する能力を育成するため、「いわてキャリア教育指針」に基づき、「いわてキャリア教育の手引き」を活用して、学校の取組促進に努めた。

1 児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実

各学校が児童生徒の実態等に応じて、わかる授業を基盤とした、習熟の程度に応じた指導などの少人数指導や繰り返し学習などきめ細かな指導ができるように、児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実に努めた。

2 社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造等

各学校が総合的な学習の時間などを中心に体験的な学習を積極的に取り入れ、児童生徒の関心・意欲や思考力、判断力、表現力を育成し、社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造に取り組むことができるよう、支援・指導の充実に努めた。

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第2 社会人として自立できる能力の育成

3 学校裁量を生かした創意工夫

(1) 平成24年度文部科学省・岩手県教育委員会研究指定校（高等学校を除く）

文部科学省指定

指 定 領 域	教育事務所	学校（地域）名	指定年度
学力向上実践研究推進事業（確かな学力育成のための実践研究事業）	県 北	洋野町（種市小）	H23・24
人権教育研究指定校事業	県 南	一関市立松川小学校	H24
問題を抱える子ども等の自立支援事業	県 南	奥州市	H23・24
	県 北	二戸市	H23・24
魅力ある学校づくり調査研究事業	盛 岡	見前南中学校区（見前南小・永井小）	H24・25
教育課程研究指定校事業（新学習指導要領の趣旨を具体化し深化充実するための教育課程編成、指導方法等の工夫改善に関する研究）	盛 岡	盛岡市立月が丘小学校（国語） 盛岡市立下橋中学校（教科横断） 盛岡市立乙部中学校（数学）	H23・24

岩手県教育委員会指定

指 定 領 域	教育事務所	学校（地域）名	指定年度
小中一貫教育推進モデル指定研究事業	県 北	普代村	H22・23・24
	県 南	奥州市前沢地区	
小学校高学年における教科担任制の導入モデル指定研究事業	盛 岡	滝沢村地区（滝沢第二小学校）	H23・24・25
読み物テキストを活用した指導プログラム実践モデル事業	盛 岡	紫波町立紫波第一中学校	H22・23・24

(2) 教科書関係

ア 採択の概要

平成22年度に小学校用教科書の採択替えを行い、平成23年度に中学校用教科書の採択替えを行った。

イ 教科用図書選定審議会

県教育委員会は、市町村教育委員会及び国立、私立学校の校長の行う教科書採択が円滑適正になされるよう指導、助言、又は援助をするために、平成24年度使用教科用図書選定審議会委員を委嘱した。

教科用図書選定審議会に対し、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第11条第1項の規定により、次の事項について諮問し、その答申を受けて各採択権者に対し、指導、助言、援助を行った。

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第2 社会人として自立できる能力の育成

(ア) 平成25年度において使用する義務教育諸学校の教科用図書を各採択権者が採択する場合における採択基準について

(イ) 教科用図書選定のための資料について

ウ 教科書展示会

教科書の発行に関する臨時措置法第5条第1項の規定により、平成24年度使用教科書展示会を、平成24年6月15日から14日間、次の18カ所の教科書センターにおいて開催した。

【教科書センター】岩手中央／盛岡／八幡平／葛巻／花巻／北上／奥州／金ヶ崎／県南／川崎／大船渡／住田／遠野／釜石／宮古／岩泉／久慈／二戸

(3) 高等学校教育全般

平成22年度3月に策定された「今後の高等学校教育の基本的方向」では、高校教育の目標について、「「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成」、言い換えれば「自立した社会人としての資質を有する人財（生徒）の育成」としている。

また、平成24年度の高等学校教育指導指針では、学校教育全般にわたる指導の要点を次の18項目とし、教育の本質に根ざした学力の向上と健全育成を目指す学校教育の充実推進に努めた。

【各校共通して取り組む内容の指導の要点】

学校経営改革／学力・授業力向上／キャリア教育／豊かな人間性の育成／特別支援教育／健康教育

【各学校の経営計画により取り組む内容の指導の要点】

特別活動／総合的な学習の時間／国際理解教育／環境教育／ボランティア教育／情報教育／読書指導／交流及び共同学習／定時制・通信制教育／研修・研究

【スポーツや伝統・文化に関わって各学校が取り組む内容の指導の要点】

競技スポーツの強化／伝統文化の教育

また、下表のとおり研究指定校を指定（いずれも文部科学省指定）するとともに、学習指導・授業研修等による訪問や生徒指導等による訪問を行い、指導した。

【平成24年度 岩手県公立高等学校等教育研究指定校】

研究主題	研究校	指定年度
スーパーサイエンスハイスクール（SSH）（理数系教育）	水沢	H24～28
	盛岡第三	H23～27
	釜石	H24～28

(4) 定時制・通信教育

平成24年度における定時制課程の学校数は、9校（独立校1校、併置校6校、分校2校）であり、通信制課程は、杜陵高校本校（宮古分室含む。）、奥州校の2校である。

昭和56年度から定時制高校と県立高等職業訓練校（1年課程）7校との間に技能連携教育

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第2 社会人として自立できる能力の育成

が始まり、さらに昭和57年度には雇用促進事業団立総合高等職業訓練校（2年課程）2校が加わった。この制度により高校を卒業した生徒は541人にのぼっており、平成24年度における技能連携教育は、杜陵高校通信制と岩手看護高等専修学校で行われている。

昭和63年4月には杜陵高校定時制に全国初の単位制を導入し、平成5年度からは3部制にして、働きながら学ぶ生徒を支援する教育に加え、多様な生徒の学習ニーズに対応している。

ア 定時制、通信制学科別入学及び在籍生徒数

(ア) 入学生徒数（平成24年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	衛生 看護科	工業科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	560	173	—	—	—	7	—	—	180	32.1
通信制	300	110	—	—	—	—	—	—	110	36.7
合計	860	283	—	—	—	7	—	—	290	33.7

[平成23年5月1日現在の生徒数計は、定時制195人、通信制144人、合計339人であり、それぞれ15人減、34人減、49人減]

(イ) 在籍生徒数（平成24年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	衛生 看護科	工業科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	2,240	637	—	—	—	24	—	—	661	29.5
通信制	—	1,262	—	—	2	—	—	—	1,264	—
合計	—	1,899	—	—	2	24	—	—	1,925	—

[平成23年5月1日現在の生徒数計は、定時制709人、通信制1,498人、合計2,207人であり、それぞれ48人減、234人増、282人減]

イ 就学奨励事業

就学促進のための施策の一環として「高等学校定時制課程及び通信制就学奨励費貸付事業」を実施し、関連事業として、教科書の無償給与、夜間定時制高校生徒夜食費補助等も実施した。

ウ 主な事業（主催及び共催）

(ア) 岩手県高等学校定時制通信制教育振興会理事会・総会

期日……………平成24年5月11日

会場……………杜陵高校

参加者……………50人

(イ) 第62回岩手県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会

期日……………平成24年9月30日

会場……………久慈市文化会館アンバーホール

参加者等……………100人（発表12人）

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第2 社会人として自立できる能力の育成

4 情報教育の充実

社会の情報化に対応した教育を行うため、「教育の情報化」を推進することとし、情報機器の整備促進及びその活用充実等のための研修や、IT活用能力及び指導力の向上のための各種研修を積極的に実施した。

(1) 情報関連機器の整備状況（平成25年3月現在） [単位：人、%]

学校種別	コンピュータ1台あたりの児童生徒数		普通教室における校内LAN整備率		超高速インターネット接続率	
	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均
小学校	5.9	7.5	59.2	82.5	54.5	74.8
中学校	4.7	6.5	62.3	81.8	52.7	76.2
高等学校	4.6	5.1	98.4	93.5	100.0	76.1
特別支援学校	3.4	3.6	95.0	90.2	100.0	79.1
合計	5.2	6.5	68.3	84.4	59.8	75.4

(参考) 平成18年度から平成22年度までの新基準（文部科学省）

コンピュータ1台あたりの児童生徒数	普通教室における校内LAN整備率	超高速インターネット接続率
3.6人	概ね100%	概ね100%

(小学校、中学校、高等学校、特別支援学校共通)

(2) 教員の指導力の向上

ア 教員のICT活用指導力の状況（平成25年3月現在）

「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合[単位:%]	岩手県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力	82.1	79.7
授業中にICTを活用して指導する能力	69.7	67.5
児童・生徒のICT活用を指導する能力	68.9	63.7
情報モラルなどを指導する能力	76.9	74.8
校務にICTを活用する能力	78.9	75.5

イ 教員情報活用能力向上のための研修

小中高等学校及び特別支援学校の教員を対象に、総合教育センターで各種研修を行った。

ウ 初任者研修

初任者研修において、情報モラル指導や教育の情報化のための研修を行った。

5 国際理解教育の充実

国際化の進展に対応し、語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）により外国青年を招聘し、県立学校等における外国語教育や国際理解教育の充実を図った。

(1) 外国青年招致事業

ア 招致人員 10人

イ 国籍

米国、英国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド

ウ 配置先

学校教育室 1人

総合教育センター 1人

県立高校 8人

【配置高校名】

盛岡第三、盛岡北、不来方、花巻北、花巻南、水沢、一関第一、釜石、杜陵、紫波総合

(2) 外国語教育推進事業

これまで活用してきた語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）における外国語指導助手に関する事業について、外国語指導の向上を目的として、より効率的かつ効果的な運用を図ることとし、平成20年度から一部の業務を民間業者に委託して、県内すべての高等学校に外国語指導助手を配置している。

（平成24年度 民間業者による外国語指導助手36名）

6 キャリア教育の推進

近年の社会構造や就業形態の複雑化を背景として、高校や大学を卒業した若者の早期離職傾向や勤労観・職業観の未熟さ、社会人・職業人としての資質や能力の不足等が社会的に大きな課題となっており、小・中・高の発達段階に応じたキャリア教育が重要であることから、「いわてキャリア教育指針」及び「いわてキャリア教育の手引き」を策定し、各学校におけるキャリア教育推進の支援に努めた。

(1) 「いわてキャリア教育指針」に基づく取組の推進

平成21年度に策定した「いわてキャリア教育指針」に基づき、「いわてキャリア教育の手引き」を活用するとともに、平成24年3月12日リーフレット「いわてが目指すキャリア教育」を作成、配付し、各学校におけるキャリア教育の取組を促進した。

(2) 小中高キャリア教育研究協議会の開催

キャリア教育を担当する教諭を対象に、小・中・高等学校におけるキャリア教育の在り方について研修し、各校のキャリア教育の改善・充実と担当者の資質の向上を図った。

地区名	期 日	会 場	担当教育事務所
盛岡北	平成24年8月10日(金)	盛岡市渋民公民館	盛岡教育事務所
一関	平成24年8月31日(金)	東山地域交流センター	県南教育事務所
久慈	平成24年11月13日(火)	久慈地区合同庁舎	県北教育事務所
二戸	平成24年11月12日(月)	二戸地区合同庁舎	県北教育事務所
宮古	平成24年7月2日(月)	宮古地区合同庁舎	宮古教育事務所

(3) キャリア教育指導者養成研修への派遣

キャリア教育を担当する指導主事や小・中・高等学校のキャリア教育担当者・進路指導主事等に対し、発達段階に応じたキャリア教育、キャリア・カウンセリング等について必要な知識を習得させることをねらいとした文部科学省主催の講座であり、小学校2人、中学校3人、高等学校1人が受講した。

(4) キャリアアップサポート事業の実施

岩手県産業教育振興会が行うキャリアアップサポート推進事業（各学校が実施する外部講師による講演会、生徒の企業見学等）を支援した。

7 職業教育の充実

(1) 職業教育の現状

本県における職業教育は、専門高校を中心に行われており、有為な職業人を育成するために、望ましい勤労観や職業観を培い、創造性を身に付けた総合的な人間育成の場としても大きな役割を果たしている。

また、近年、社会や産業構造、就労環境等も変化してきており、専門高校の教育内容等の一層の改善が求められているところである。

今後は、普通高校におけるキャリア教育の推進とともに、職業教育のさらなる充実が求められていくものと考えられる。

(2) 職業教育の活性化に向けて

ア 新しい教育課程の実施

高等学校における職業教育のスタート段階では、専門分野の基礎的・基本的な知識・技能を定着させることが重要であり、平成21年3月に告示された新学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、各教科・科目の基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図るとともに、「課題研究」等の実践をとおした問題解決能力や自発的・創造的な学習態度の育成を進め、職業教育の活性化に努めた。

また、地域の産業や社会を担う人材を育成するためには、さらに、産業界と連携しながら、体験的な学習を推進していく必要がある。

イ 学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業の実施

平成19年度から平成22年度まで実施した文部科学省と経済産業省、農林水産省、水産庁との連携による「地域産業の担い手育成プロジェクト」の成果を踏まえ、平成22年度から県単独事業として実施している「学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業」において、企業内実習や企業技術者による学校での実践的指導、日本版デュアルシステムなどを実施することにより生徒の実践力の向上が図られた。

分 野	対 象 校
ものづくり分野	盛岡工業高校、花北青雲高校、黒沢尻工業高校、水沢工業高校、一関工業高校、千厩高校
農 業 分 野	盛岡農業高校、花巻農業高校、水沢農業高校
水 産 分 野	宮古水産高校
商 業 分 野	盛岡商業高校、花北青雲高校、北上翔南高校、水沢商業高校、一関第二高校、大船渡東高校、宮古商業高校、久慈東高校

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進

第3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進

社会の変化の中で、児童生徒の健やかな成長を支援するため、教員の資質と能力の向上を図るとともに、少人数教育の充実に努めた。

1 特色ある学校づくり

各学校は、児童生徒一人ひとりが在り方生き方を自覚し、将来の目標の設定や自己実現を図ることができるような、魅力ある学校づくりを進める必要がある。

そこで、平成21年度から、家庭、地域と協働して岩手の特色ある産業、文化を支える人材を育成するなど、生徒一人一人の多様な進路実現に向けた学校の取組を支援する「いわて未来創造人サポート事業」を実施している。

2 小規模校の振興

本県のへき地指定校は、平成24年5月1日現在小学校87校、中学校41校となっており、全学校に占める割合は、小学校23.5%、中学校22.0%で、小中学校全体では23.0%となっている。

また、複式学級を有する学校は、小学校114校（30.8%）、中学校7校（3.8%）である。

(1) 複式指導資料の作成

へき地・小規模複式指導DVDを活用し、複式学級における学習指導の充実に努めた。

(2) 複式指導等改善巡回講座の実施

複式学級の特徴を生かした学習指導の充実に努めるため、複式学級の実態に即した研修を実施し、指導力の向上を図った。

教育事務所	学校名	期 日	研修内容
宮 古	宮古市立刈屋小学校	平成24年6月12日	出前授業、講義

第4 教員の適正配置

1 教員採用試験の改善等

教員としての資質・能力のみならず、多角的な視点から判断できるような面接試験、論文試験を行っている。

また、実践的、専門的な技術、技芸等を教えることができる人材を確保するため、スポーツ・社会人・理療科特別選考を実施し、学校活性化のための人材の確保に努めた。

2 人事管理の改善

義務教育諸学校においては第7次配置改善計画、高等学校においては第6次配置改善計画により、きめ細やかな指導と基礎学力の向上を図るため、少人数指導を可能にする加配措置がなされた。

また、学級編制については、平成18年度から小学校1年生に35人学級編制を導入し、平成19年度には小学校2年生まで拡大した。平成21年度には、中学校1年生における35人学級編制を導入し（市町村教育委員会の意向を踏まえ選択的に実施）、平成24年度から全面実施とした。

3 司書教諭の養成

平成15年4月1日から12学級以上の学校には司書教諭を配置することになったため、計画的な司書教諭の養成に努めた。

【平成24年度図書館司書教諭有資格者数】

小学校	488人
中学校	169人
高等学校	132人
特別支援学校	100人

4 教職員の養成・免許・検定

領域別免許状の保有状況等を勘案し、平成21年度は特別支援学校の教員を対象とした認定講習を開催するなど県として条件整備に努めた。

(1) 免許法認定講習

会場	盛岡市内3会場
期日	平成24年7月31日～8月9日
受講者	148人
単位授与者	148人
開設講座	3講座

(2) 教育職員の免許状授与状況

(右表のとおり)

【教育職員の免許状授与状況（単位：件）】

免許状の種類	平成24年度	平成23年度
授与・再交付・書換え		
普通免許状		
小学校教諭	299	334
中学校教諭	341	330
高等学校教諭	422	373
養護教諭	37	25
特別支援学校教諭	85	90
自立教科教諭(理療)	0	1
特別支援自立活動	0	0
幼稚園教諭	448	449
栄養教諭	11	15
計	1,643	1,617
臨時免許状		
小学校助教諭	15	14
中学校助教諭	7	12
高等学校助教諭	61	56
養護助教諭	0	2
特別支援学校助教諭	10	16
自立教科助教諭(理療)	1	1
幼稚園助教諭	3	0
計	97	101
特別免許状	0	0
再交付・書換え		
再交付	183	164
書換え	298	285
計	481	449
合計	2,221	2,167
免許状授与証明書	475	540

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第5 教員研修の充実

第5 教員研修の充実

本県における教育振興上の重要課題の解決のため、「授業力向上研修」を中心とする教員のキャリア・ライフステージに沿った新しい研修体系を平成21年度に策定し、研修を実施した。

特に、新学習指導要領の趣旨や内容の徹底を図るとともに、児童生徒の学力向上・健全育成を中心課題として、教員の指導力の向上を図った。

1 平成24年度研修実績

(1) 管理職研修

[単位：人]

講座名	受講対象	講座内容	日数等	研修者数
校長研修講座	小中学校長	人事・サービス上の諸問題、指導行政上の諸問題、復興教育・心のサポート、講演、講話（岩手の教育の目指すもの）、意見交換会、新学習指導要領・コンプライアンス、グループ協議	2	543
副校長研修講座	小中学校副校長	副校長に期待すること、人事管理上の諸問題、復興教育講話、講演、研究協議等	1	541
新任校長研修講座	小中学校新任校長	管理職としての心構え、先輩校長から学ぶ、指導行政の課題と学校経営、新任校長に望む、コンプライアンス、教職員のメンタルヘルス、経営ビジョンづくりと共有化（研究協議）	2	51
新任副校長研修講座	小中学校新任副校長	副校長の役割、人事管理上の諸課題、学校経営上の諸課題（研究協議）、コンプライアンス、教職員のメンタルヘルス、指導行政と学校教育、講話（岩手の教育の目指すもの）、先輩副校長から学ぶ、演習（学校教育/サービス・法規）	3	58
新任校長研修講座	県立学校新任校長	各学校の課題・取組状況、学校経営についての意見交換会、教育法規演習、教職員のメンタルヘルス、インクルーシブ教育、コンプライアンス、新任校長に期待する	3	13
新任副校長研修講座	県立学校新任副校長	各学校の課題・取組状況についての意見交換会、生徒指導、教育法規演習、教職員のメンタルヘルス、コンプライアンス、新任副校長に期待する	2	18

(2) 初任者研修（小学校・中学校、新採用教員対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等	研修者数	
初任者研修講座	総合教育センター研修	学習指導要領、年間指導計画の作成、教育相談、学級経営、教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の意義と進め方、情報モラル 等	I	4	104
			II	4	103
			III	3	104
			宿泊研修	3	104
	教育事務所研修	身分とサービス、教育課程の編成、授業実習と授業研究、課題研修の進め方、社会奉仕体験の心構え 等	8	104	
市町村教育委員会研修	各市町村の教育課題、教科・領域授業研究、各実践課題への取組 等	3	104		
校内研修	各種教育指導、学級経営、教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の指導、生徒指導の実際 等	300時間程度	104		

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第5 教員研修の充実

(3) 初任者研修（高等学校・特別支援学校、新採用教員対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等		研修者数	
初任者研修	本庁研修	学習指導要領解説、教科・教育の現状と課題、授業参観、授業研究、他校種授業参観	6		76 (高校50、特支26)	
	総合教育センター研修	任用・服務、勤務、学習指導、生徒指導、接遇、総合的な学習の時間、ボランティア活動、校務における情報活用、情報モラル、教育相談、授業改善の事例発表等	高等学校	I	4	58
				II	4	50
				III	4	49
				IV	3	50
				宿泊研修	3	49
			特別支援学校	I	4	34
				II	4	25
				III	4	24
				IV	4	24
				宿泊研修	3	24
	所属校研修	基礎的素養、ホームルーム経営、教科指導、特別活動、生徒指導等	300時間程度		76	

(4) 新任教務主任研修（小学校・中学校、新任教務主任対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修 (中央研修)	教務主任の役割、教育活動と教育法規、教育課程の編成、高校教育の現状と課題、文書事務等	2	82 (小48、中34)

(5) 新任教務主任研修（高等学校・特別支援学校、新任教務主任対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修	教務主任の役割、教育活動と教育法規、特色ある学校づくり、教務課運営の実際、文書事務等	3	24(高校21、特支3)

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第5 教員研修の充実

2 平成24年度研修事業受講者一覧（総合教育センター実施分、要請研修、随時研修は除く）

(1) 所属種別研修講座数、研修者数

[単位：人]

講座\所属	幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務職等	計
研修講座数	10	69	68	62	56	2	268 (延)
研修者数	98	2,093	1,563	1,567	555	49	5,925

(2) 所属種別研修講座別研修者数

[単位：人]

研修名	講座名	研修者数											計	
		単 独					合 併							
		幼・保	小学校	中学校	高校	特支	幼・保	小学校	中学校	高校	特支	事務職		
基本研修	初任者研修	85	164	251	256	131								887
	教職経験5年研修		37	34	31	16								118
	教職経験10年研修	11												11
	授業力向上研修		777	461	466	145		488	276	245	71			2,929
	小 計	96	978	746	753	292		488	276	245	71			3,945
特別研修	新任者				56			176	119	70	14			435
	教職専門		46	186	198	102		43	32	20				627
	事務職専門											39		39
	小 計		46	186	254	102		219	151	90	14	39		1,101
希望研修	教科研修		6	59	28				5	49	1			148
	領域等研修							44	35	24	19	9		131
	情報教育研修							19	20	39	10	1		89
	教育相談研修							48	19	35	5			107
	特別支援教育研修							41	23	7	11			82
	公開研修		88					2	108	33	41	29		301
	小 計		94	59	28		2	260	135	195	75	10	858	
	要請研修	1,160	2,904	1,074	1,144	553								6,835
	随時研修	74	167	78	35	3								357
	小 計	1,234	3,071	1,152	1,179	556								7,192
	派遣研修							8	10	2	1			21
	総 計	1,330	4,189	2,143	2,214	950	2	975	572	532	161	49		13,117

第6 教員研究等の充実

県立総合教育センターを中心に、本県教育における重要性・緊急性が高い諸課題について、以下の調査・研究を行った。

1 小・中学校の校内研究推進に対する効果的な支援の在り方に関する研究

－校内研究推進モデルプラン・校内研究支援モデルプランの作成を通して－

授業改善、ひいては児童生徒の学力向上を目指したとき、校内研究推進をどのように充実させていくかということが、大きな課題となっている。

この研究は、県内小・中学校の校内研究推進にかかわる成果・課題について、実施主体である学校と支援に当たる教育関係機関の二つの側面から整理し、効果的な校内研究推進のためのシステムを明らかにすることにより、県内小・中学校の校内研究推進の充実を図ろうとするものである。

2 学校におけるインターネットを活用した情報提供等の充実について

－「NetCommons®」を用いた学校情報共有サイトの活用－

学校からの情報発信や、開かれた学校づくりが求められる中、インターネットを活用した学校と保護者、児童生徒等を結ぶ情報交流基盤を充実させる必要がある。さらに東日本大震災・津波以来、緊急連絡用としての活用も課題となっている。

このような状況を踏まえ、この研究では、インターネットを活用した効果的な情報発信事例の収集や、「NetCommons®」を用いた学校共有サイトを構築して簡単に情報を発信・更新するための仕組みづくりに関する提案、そして、必要な情報を安定的に提供するためのインターネット活用手法の検討を行い、報告書にまとめ、学校での活用促進を図った。

3 小・中学校特別支援学級における個別の指導計画の改善に関する調査研究

－通知票等と連動した個別の指導計画の作成・活用の実践を通して－

この研究は小・中学校特別支援学級において、通知票等と連動した個別の指導計画を作成面・活用面から要件を探り、実践を通して個別の指導計画の改善につなげていくものである。研究成果物として、「個別の指導計画作成・活用パック」は、通知票と連動した個別の指導計画を作成する際に使う「デジタルデータ編」と、指導と評価の手順・留意事項や使用方法を盛り込んだ「資料編」で構成し、実践に活用しようというものである。

4 「いわてスタンダード」及び「Gアップシート」の改訂

本県中学生の学力向上に資することや、授業改善・家庭学習の充実を図ることを目的に、平成18年度に「いわてスタンダード」及び「Gアップシート」を作成した。

今回、この「いわてスタンダード」及び「Gアップシート」を中学校新学習指導要領に対応したものに改訂し、県内全ての中学校に配付した。

5 防災教育と関連付けた理科指導資料及び家庭科指導資料の作成

県政の重要な課題である復興教育において、防災教育と関連付けた教科の指導は、重要な役割を担っている。

特に理科や家庭科においては、自然災害の原因や災害発生時の危険回避等の指導内容が含まれており、正しい知識の習得が重要である。この指導資料を活用することにより、各学校における防災教育指導の充実を図ることを目的としたものである。

第2節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

第1 学習指導要領改訂に伴う教育課程の編成

学習指導要領の趣旨の確実な周知と理解を図り、効果的な教育課程の編成と実践に向けた指導の在り方を支援し、地域や児童生徒の実態に即した柔軟で特色ある教育を推進するよう努めた。

また、学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした、柔軟で適切な教育課程を編成するために、9年間の義務教育を効果的なものにしていく一つの方策として、小中連携・一貫教育に関する取組への支援を進める状況を整備した。

具体的には、次のとおりである。

- 1 児童生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することができたこと
- 2 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めることができたこと
- 3 教育課程を計画的・組織的に評価し、教育課程の見直しと改善を図ることができたこと

第2 学習面における基礎・基本の定着

基礎的・基本的な知識や技能、さらには、習得した知識や技能を活用し、自らの人生を切り拓いていくために必要な能力である思考力、判断力、表現力を身に付けさせるよう努めた。

このため、きめ細かな指導を通じて、児童生徒に自信と意欲をもたせるとともに、家庭と連携して学習習慣の確立を図った。

また、少人数教育による児童生徒の実態や状況に応じた柔軟な指導を推進するよう努めた。

1 児童生徒一人一人の学習面における基礎・基本の確実な定着

(1) 学習面における基礎・基本の確実な定着

各種調査により明らかになった課題を解決するための取組の推進

- ・ 授業力の向上・分析力の向上（学習定着度状況調査分析システムの活用）
- ・ 分析結果を活用した授業改善の推進（授業力向上ブラッシュアッププラン）
- ・ 基礎力の定着状況の把握（基礎力確認調査）

(2) 社会の状況や学校の実態を踏まえ、市町村教育委員会や関係機関などと連携した、少人数教育の推進

2 学力・授業力向上の取組

(1) 学校訪問の趣旨

学習定着度状況調査の分析及び学力向上のための学校訪問指導の結果等から、数学・英語の学力向上について取り組むべき課題が明らかになっている。この対策に取り組むため、学校教育室に学力・授業力向上を担当する指導主事を配置し、算数・数学、英語に携わる教員に対して授業力の向上につながる支援を行うとともに、教員一人ひとりが更なる授業改善に取り組み、授業力の向上を図ることによって、各教科の課題解決を目指すものである。

(2) 取組内容

授 業 力 向 上 セ ミ ナ ー
<ul style="list-style-type: none"> ● 県内各地区の優れた授業実践（数学・英語）や、岩手の教育課題の解決に基づいた授業を紹介するほか、児童、生徒の学力向上に向けた授業力向上のための講義や演習の実施 <p>⇒モデル授業＋付箋紙ワークショップ＋講義による参加型の半日の研修会が基本 ⇒小・中・高の教員が同一の授業を見て気付き合うことや情報交換できるような場を提供</p>
個 別 訪 問
<ul style="list-style-type: none"> ● 【目的】 諸調査から見える県全体の課題解決と、各校の課題に応じた授業改善に向けた個別支援 ● 【訪問対象校】 <ul style="list-style-type: none"> ⇒フォローアップ対象者の所属する学校（※1） ⇒県教委が指定する学校（※2） ⇒訪問を希望する学校（※3） ● 【訪問内容】 <ul style="list-style-type: none"> ⇒授業参観（1単位時間）の後、指導助言及び授業者と個別相談、教科部会についての協議 ⇒校長・副校長との生徒の学力向上に向けた情報交換 ⇒上記のほか、各校の実情や要望を考慮し、指導主事による模擬授業や録画した授業ビデオを使用した研修なども実施（※4） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ※1 前年度初任研、5年研を受講した教員の所属する学校 ※2 中学校は県学調や英語チャレンジテスト等の結果に基づいて指定 高等学校の数学は原則として全校指定、英語は平成24年度中高連携英語力向上事業の17校を指定 ※3 個人、学校、地教委として希望することも可能 ※4 日程調整が必要なため、予め連絡が必要 </div>

(3) 授業力向上セミナー・個別訪問実績

表-1 平成24年度 授業力向上セミナー・個別訪問 実績

	授業力向上セミナー							個別訪問		
	校種	年間実施計画 (校)	実施校 (校)	授業者 (人)	参加者(人)			年間実施計画 (校)	実施校 (校)	授業者 (人)
					小中学校	県立学校	合計			
数学	中学校	7	7	7	189	12	201	150	150	167
	高等学校	5	5	5	20	112	132	65	64	97
	小学校	7	7	7	227	0	227			
	特別支援学校								1	1
	計	12	12	13	211	128	339	213	196	222
英語	中学校	6	6	6	195	15	210	98	97	114
	高等学校	4	4	4	24	154	178	66	65	192
	計	12	12	12	243	185	428	115	119	165

第3 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進

すべての教科等を通じて児童生徒の言語活動を充実させ、論理的な思考や表現する力、人間関係を豊かにする力などをはぐくむよう努めた。

また、児童生徒が自ら将来を考え、希望する進路を実現するために、それぞれの学校において学力向上に取り組むとともに、自立した社会人となるための意識の醸成や、学習に主体的に取り組むための動機付けなどを積極的に推進した。

1 進路指導の充実

進路指導は生徒の「人間としての在り方生き方」についての指導、援助であるとともに、個々の生徒の職業的発達を促進し、主体的な進路の選択能力を育て、自己実現に最善の努力ができる人間の育成を図ることにある。このため、次のような点に留意して実施した。

- ① 校内進路指導体制の確立
- ② 年間指導計画の整備
- ③ 生徒理解の強化と生徒の自己理解の深化
- ④ 個人資料及び進路情報資料の収集と整備
- ⑤ 進路指導研修の充実と中・高連携の強化
- ⑥ 中高の望ましい接続のあり方についての研修

第3章 教育施策の推進状況

第2節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

第3 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進

2 魅力ある学校づくりの推進

各学校が自らの裁量で創意工夫を凝らした様々な活動を通じて、学校の活性化と個性化を推進する事業であり、大学講習など進学指導に関する事業を実施した。

【いわて進学支援ネットワーク事業（28校）】

生徒一人ひとりの進路希望の実現とともに、医師、弁護士、高度先端技術分野の研究者や技術者等の、将来の本県を支える人材を育成するために、生徒の医学部等のいわゆる難関大学・学部等への進学希望も実現できるよう、学校の取組を支援した。

3 中学生用公立高等学校案内「岩手の高校」Webページの公開

- ① 設置学科等
- ② 本校のめざす生徒像
- ③ 入学者選抜方法について
- ④ 特色ある教育活動
- ⑤ 学校長から一言

第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

人間としての在り方、生き方について考える力の育成と心の教育の充実を図り、他人を思いやり、良好な人間関係を築くことのできる力、自然や命あるものを大切にする心など、児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図った。

また、ボランティア活動など様々な体験活動や多様な読書活動に取り組み、物事に主体的にかかわり素直に感動できる豊かな情操を育てるよう努めた。

1 道徳教育の推進

学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進し、児童生徒の豊かな心の育成を図った。

教員の指導力向上のため、道徳教育の中核となる指導者養成研修に教員等を派遣し、指導力の向上を図るとともに、教育センターにおいて特別研修を実施し、道徳教育推進教師の資質向上を図った。

(1) 研修事業

- 平成24年度道徳教育指導者養成研修（中央指導者研修）（教員研修センター）
平成24年6月6日～10日（5日間）指導主事（高等学校を含む）4名
- 平成24年度道徳教育指導者養成研修（ブロック別指導者研修）（秋田県）
平成24年8月10日～12日（3日間）教諭（高等学校を含む）15名
- 総合教育センターでの特別研修「道徳の時間を『要』として進める道徳教育研修講座」
平成24年11月13日～14日（2日間）教諭等

(2) 研究推進事業

- 児童生徒の心を耕す教育推進事業
中央指導者研修、ブロック別指導者研修への派遣研修者を活用し、授業研究会、理論研究会、教材研究の場等への講師を派遣することにより、道徳教育の質の向上を図った。
- 道徳資料集作成事業（文部科学省「道徳教育総合支援事業」の活用）
岩手の先人を教材とした中学校用の岩手県版道徳資料集を作成し、道徳の時間の活用を図った。

2 体験活動・読書活動の推進

学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした豊かな体験活動や読書活動を推進した。

(1) 体験活動の状況

体験活動の教育活動への位置付けと多様な推進方策についての情報提供を図るとともに、各学校においては、地域や学校の特色を生かした体験活動への取組を進めた。

(2) ボランティア教育・環境教育の状況

福祉活動や環境保護などボランティア教育に対する理解と関心を高め、社会貢献の精神を育てるとともに、児童生徒の豊かな人間性を育み、自らの生き方を主体的に考える態度の育成を図る教育を推進した。

ア ボランティア教育

ほぼ全ての小・中学校でボランティア活動が実施されており、特に、地域における清掃活動や募金活動を実施する学校が増えてきた。老人施設・福祉施設・特別支援学校等での交流活動や介護体験、キャップハンディー体験等を、総合的な学習の時間をはじめ、各教科、道徳、特別活動に積極的に取り入れ、体験的な学習としてボランティア活動に取り組むことが広まっている。

- ・社会福祉協議会等関係機関との連携による、ボランティア教育の推進

イ 環境教育

かつてない広がりや複雑さをもって環境問題が顕在化している現状を踏まえ、将来を生きる児童生徒が、この問題に関する正しい理解を深め、環境保全に参加する態度及び問題解決能力などを身に付け、責任をもって環境を守るための行動ができるよう指導を行った。

(3) 読書活動の状況

読書活動については、学校図書館担当者研修を実施し、児童生徒の読書活動を支援し、より豊かなものとしていくための環境整備に努めた。

- ・全ての教育事務所において学校図書館担当者の研修を実施
- ・平成16年3月に策定された、子どもたちが主体的に読書活動に取り組むことのできる環境作りを進めるための「いわて子ども読書プラン」に基づく読書活動を推進

第3章 教育施策の推進状況

第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

3 幼児教育の推進

幼稚園教育要領に基づく教育の充実のために、幼稚園教育の内容、幼稚園の運営・管理、保育技術等に関する説明や研究協議、演習を行った。また、教員の資質の向上を図るため、幼稚園等新規採用教員研修、教職経験者10年研修を実施した。

(1) 園長等運営管理協議会（主催：岩手県教育委員会）

会場	実施期日	参加人数(人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
サンセール盛岡	平成24年 6月13日	42	38	41	22	143

(2) 保育技術協議会（主催：岩手県教育委員会）

会場	実施期日	参加人数(人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
生涯学習推進センター	平成24年 7月 4日	19	9	30	11	69

(3) 幼稚園教育研究協議会（主催：岩手県教育委員会）

会場	実施期日	参加人数(人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
生涯学習推進センター	平成24年 8月17日	55	25	20	21	121

(4) 親の教育力を高める子育て支援協議会（主催：岩手県教育委員会）

会場	実施期日	参加人数(人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
生涯学習推進センター	平成24年11月20日	10	5	14	3	32

(5) 幼稚園等新規採用教員研修（主催：岩手県教育委員会）

区分	会場	実施期日	参加人数(人)			
			公立	私立	保育所	合計
センター研修Ⅰ	総合教育センター	平成24年 6月 6日～ 6月 7日	10	19	1	30
センター研修Ⅱ	総合教育センター	平成24年 7月30日～ 8月 1日	10	21	1	32
センター研修Ⅲ	総合教育センター	平成24年10月16日～10月18日	11	15	1	27

(6) 幼稚園教職経験者10年研修（主催：岩手県教育委員会）

会場	実施期日	参加人数(人)		
		公立	私立	合計
総合教育センター	平成25年 1月15日～ 1月17日	4	8	12

第2 生活面における基礎・基本の充実

家庭や地域社会における教育力を生かし、学校、家庭、地域と連携・協働した教育を充実させ、児童生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせる取組を推進した。

○ 生活面における基礎・基本の充実

学習定着度状況調査等における児童生徒質問紙調査の生活習慣や家庭での生活に関する内容の結果を分析・検証し、各学校に情報提供するとともに、県PTA連合会との連携を図り、家庭や地域との一体となった取組に努めた。

第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

家庭教育、体験や経験を通して身につける社会生活を営むためのルールや規範意識、コミュニケーション能力の低下により、暴力行為、いじめなどの問題行動や不登校、中途退学などの学校不適応の問題が大きな教育問題となっている。

平成23年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題の調査（文部科学省）によると、暴力行為の発生件数は137件で前年度から7件増加した。一方、いじめの認知件数は331件であり、前年度に比べ147件減少した。不登校児童生徒の状況については、小学校133人、中学校734人、高等学校444人であり、中学校・高等学校では不登校の比率が低下し、小学校では横ばいの傾向を示している。また、中途退学者は、平成19年度から減少傾向にあり、平成23年度は314人と前年度から48人減少した。

本県の児童生徒は、全国と比較すると概ね落ち着いた状況にあるが、これらの問題の解決のためには、学級経営、学級集団づくりを充実させ、一人ひとりの児童生徒にしっかりと向き合い自己実現を支援することが必要である。また、不適応傾向をもつ児童生徒に対しては学校全体で情報を共有し、チームによる指導、援助を行っていくとともに、関係機関との日常的な連携の強化、就学後の福祉サイドからのサポートなどの親への支援、家庭を孤立させない地域コミュニティの確立を通して、学校不適応を解消する組織的、広域的な取組が必要である。

1 高等学校生徒指導連絡協議会（主催：岩手県教育委員会）

【期 日】平成24年5月11日～5月23日

【会 場】地区別8会場

【参加者】校長、教員、在学青少年指導員 160人（延べ）

2 児童生徒の表彰

県内各学校の児童生徒を対象に、他の模範となる行為や活動を表彰することにより、児童生徒の社会的行動や道徳的態度、実践力の向上など学校教育の一層の充実に資するため、昭和60年度から児童生徒の表彰を実施している。

平成23年度の表彰は次のとおりであり、計22個人・団体を表彰している。内訳は、善行表彰が0、奨励表彰が18、努力表彰が3であり、小学校が4（個人3、団体1）、中学校が3（個人1、団体2）、高校が15（個人6、団体9）である。

第3章 教育施策の推進状況

第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

平成24年度第1回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	校種	所属・氏名	内容
1	奨励 (文化活動)	小 個	盛岡市立月が丘小学校 6年 金 奈々実	日本朗読検定協会主催第3回青空文庫朗読の輪コンテスト個人の部において、金賞を受賞した。
2	奨励 (文化活動)	小 団	山田町立大沢小学校 児童会	毎日新聞社毎日小学生新聞教育研究協議会主催第61回全国小・中学校・PTA新聞コンクール小学校・学校新聞の部において、内閣総理大臣賞を受賞した。
3	奨励 (文化活動)	中 団	住田町立世田米中学校 特設木工部	日本木材青壮年団体連合会主催第36回全国児童・生徒木工工作コンクールにおいて、農林水産大臣賞を受賞した。
4	奨励 (文化活動)	高 個	盛岡第一高等学校 3年 小山田 友希	全国高等学校文化連盟主催第20回将棋新人大会女子個人戦及び日本将棋連盟主催第16回全国高等学校将棋女子選抜大会において、優勝した。
5	奨励 (文化活動)	高 団	盛岡第二高等学校 箏曲部	第36回全国高等学校総合文化祭日本音楽部門において、文化庁長官賞を受賞した。
6	奨励 (文化活動)	高 団	盛岡第三高等学校 視聴覚委員会	第36回全国高等学校総合文化祭放送部門オーディオピクチャー部門において、優秀賞を受賞した。
7	奨励 (文化活動)	高 団	北上翔南高等学校 鬼剣舞部	第36回全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門において、最優秀賞及び文部科学大臣賞を受賞した。
8	奨励 (文化活動)	高 団	岩手高等学校 囲碁将棋部	第36回全国高等学校総合文化祭及び第48回全国高等学校将棋選手権大会男子団体戦において優勝し、文部科学大臣賞を受賞した。
9	奨励 (スポーツ)	高 個	盛岡女子高等学校 2年 土橋 智花	平成24年度全国高等学校総合体育大会陸上競技女子200mにおいて、第2位に入賞した。
10	奨励 (スポーツ)	高 個	一関第二高等学校 3年 山岸 顕志朗	平成24年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技男子個人対抗サーブルにおいて、第2位に入賞した。
11	奨励 (スポーツ)	高 団	剣道女子岩手県Aチーム 杜陵高等学校 剣道部	平成24年度全国高等学校定時制通信制剣道大会団体戦において、第2位に入賞した。
12	努力 (文化活動)	小 個	盛岡となん支援学校 小学部4年 藤澤 来未	全国特別支援学校文化連盟主催第18回全国特別支援学校文化祭作品展造形・美術部門において、りそな銀行賞を受賞し、生徒の模範となり、周囲に夢と希望を与えた。

平成24年度第2回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	校種	所属・氏名	内容
1	善行 (福祉活動)	高 団	宮古工業高等学校 津波模型班	8年間にわたり、津波が想定される地域や学校を訪問し、模型で津波発生の様子を実演するなど地域の防災意識の高揚に努めた。
2	奨励 (文化活動)	小 個	一戸町立一戸小学校 1年 桂 優花	平成24年度明るい選挙啓発ポスターコンクール小学校の部において、文部科学大臣・総務大臣賞を受賞した。
3	奨励 (文化活動)	高 個	大槌高等学校 3年 佐々木 茜	第27回全国高等学校文芸コンクール詩部門において、最優秀賞を受賞した。
4	奨励 (文化活動)	高 団	不来方高等学校 音楽部	第65回全日本合唱コンクール全国大会高等学校部門Aグループにおいて、金賞を受賞した。
5	奨励 (文化活動)	高 団	宮古水産高等学校 水産物有効利用研究班	第21回全国水産・海洋系高等学校生徒研究発表大会において、優秀賞を受賞した。

第3章 教育施策の推進状況

第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

6	奨励 (スポーツ)	中 団	滝沢村立滝沢南中学校 新体操部	第30回全日本ジュニア新体操選手権大会男子団体競技において、第2位に入賞した。
7	奨励 (スポーツ)	高 個	岩谷堂高等学校 3年 菊池 崇人	第67回国民体育大会ウエイトリフティング競技少年男子105kg級スナッチにおいて、第2位に入賞した。
8	奨励 (スポーツ)	高 団	不来方高等学校 男子ハンドボール部	第35回全国高等学校ハンドボール選抜大会において、準優勝した。
9	努力 (文化活動)	中 個	盛岡視覚支援学校 中学部3年 櫻田 智宏	平成24年度全国盲学校弁論大会において、第3位に入賞するなど、障がいになげずに進路を切り拓こうとする姿が多くの人々に夢と感動を与えた。
10	努力 (スポーツ)	高 個	盛岡聴覚支援学校 高等部3年 関口 秀伸	第12回全国障害者スポーツ大会陸上競技100mにおいて、第3位に入賞するなど、陸上競技に対して真摯に取り組む姿が多くの人々に夢と感動を与えた。

第3章 教育施策の推進状況

第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための適応指導の充実

3 教育相談

平成24年度の相談受理件数は412件、延べ相談件数は1,905件であった。うち、電話相談が1,204件、面接による相談が701件（来所相談404件、訪問相談297件）である。

相談受理件数を内容別に見ると、小・中・高いずれの校種も「性格・行動に関すること」が最も多く、全体で223件と54.1%を占めた。次いで、「知能・学業に関すること」が76件（18.4%）となっている。主訴別の相談件数では「学業」が76件と多く、「学習がわからない」「授業についていけない」子どもたちの姿が浮かび上がってくる。

不登校の校種別の相談件数は、高校が19件（50.0%）で最も多くなっている。さらに学年別に見ると高校は1年生が最も多く、中学校は2年生、小学校は6年生の相談が多かった。また、不登校の性別の相談件数は、小・中学校ではほぼ同数で、高校は男子が多い。

平成24年度の「いじめ相談電話・メール」での相談受理件数は、電話は245件、メールは103件である。いじめの被害を訴える相談件数は、電話相談では156件（63.7%）、メール相談では43件（41.7%）である。

(1) 内容別・校種別相談件数

[単位：件、()内は%]

内容	校種	就学前	小学校	中学校	高等学校	その他	計(割合)
知能・学業に関すること		0	40	13	23	0	76(18.4)
性格・行動に関すること		1	74	56	84	8	223(54.1)
性に関すること		0	1	1	0	3	5(1.2)
進路・適性に関すること		0	3	13	20	3	39(9.5)
精神衛生に関すること		0	0	1	8	3	12(2.9)
家庭教育一般に関すること		2	10	9	9	0	30(7.3)
その他		0	9	7	7	4	27(6.6)
計(割合)		3(0.7)	137(33.3)	100(24.3)	151(36.6)	21(5.1)	412(100.0)

(2) 主訴別相談件数

[単位：件、()内は%]

主訴	件数(割合)
不登校	38(9.2)
集団不適応	60(14.6)
精神衛生(情緒障がい 神経症・同疑い)	12(2.9)
進路相談	39(9.5)
学業	76(18.4)
いじめ	19(4.6)
家庭教育(家庭内暴力等)	30(7.3)
生活指導	30(7.3)
対人関係(交友関係等)	65(15.7)
非行	11(2.7)
性	5(1.2)
その他	27(6.6)
計	412(100.0)

(3) 校種別・性別不登校相談件数

[単位：件]

校種	性別		計
	男	女	
就学前	0	0	0
小学校	5	3	8
中学校	4	5	9
高校	14	5	19
その他	1	1	2
計	24	14	38

(4) 学年別不登校相談件数

[単位：件]

学年	件数	
小1	0	8
小2	0	
小3	0	
小4	2	
小5	0	
小6	6	
中1	3	9
中2	4	
中3	2	
高1	12	19
高2	5	
高3	2	
その他	2	2
計	38	38

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第1 体力向上や運動に親しむ態度の育成

体力・運動能力調査を適切に実施し、各学校の現状と課題を的確に捉えた支援や運動部活動の活性化を図るために、地域スポーツ人材の活用や指導主事の学校訪問指導等に取り組むとともに、児童生徒の体力・運動能力の向上に努めた。また、家庭や地域との連携により、運動に親しむ態度を育成し、運動の習慣化が図られるように努めた。

1 岩手っ子体力アップ運動

(1) 学校経営計画における健やかな体の育成に係る目標設定校及び実施割合

[単位：校、%]

	対象校数	実施校数	実施割合
小学校	369	369	100.0
中学校	184	184	100.0
合計	553	553	100.0

(2) 指導主事兼保健体育主事等の学校訪問指導

実施回数……小学校211回、中学校173回、合計384回

(3) 地域スポーツ人材を活用した運動部活動等推進事業

ア 公立小学校体育実技アシスタント派遣事業

(ア) 派遣期間……平成24年6月～平成25年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……53人

(ウ) 派遣校数……83校

イ 中学校・高等学校運動部活動地域スポーツ人材派遣事業

(ア) 派遣期間……平成24年6月～平成25年2月（県内全域）

(イ) 登録者数……26人

(ウ) 派遣校数……25校

(4) 小学校体育ステップアップ講習会

ア 期 日……平成24年7月

イ 会 場……一関市

ウ 参加者……小学校教員22人

第2 健康教育の充実

生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培うため、学校保健・学校安全活動や食育などを充実させるとともに、家庭や地域と連携し望ましい生活習慣の確立に努めた。

1 学校保健

(1) 保健教育の充実及び保健管理の徹底

ア 学校保健計画の立案、実施の徹底

学校保健においては、保健教育と保健管理の活動を適切に行うことによって、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育目標の達成に寄与することとし、児童生徒自らの意思決定により健康な生活が実践できるよう健康教育を推進した。

また、学校保健を組織的に推進するために、教職員の協力体制を確立し、家庭や地域の関係機関との連携を図った。

イ 関係機関団体等との連携及び学校保健組織活動の充実

(ア) 学校内の組織の設置促進と活動の充実

- ・学校保健委員会の活動
- ・児童生徒保健委員会の活動促進

(イ) 関係機関団体との連携

- ・(社)岩手県医師会学校医部会
- ・(社)岩手県歯科医師会
- ・(社)岩手県薬剤師会岩手県学校薬剤師会
- ・岩手県学校保健会
- ・岩手県学校保健会養護教諭部会
- ・岩手県学校保健会高等学校部会
- ・岩手県高等学校教育研究会学校保健部会

(2) 岩手県学校保健功労者表彰

	氏名	職名	現所属等
1	南 吉 昇	学校医	矢巾町立德田小学校ほか
2	柴 田 理	学校歯科医	盛岡市立本宮小学校
3	白 井 康 雄	学校医	盛岡市立松園中学校
4	畑 澤 昌 美	学校薬剤師	盛岡市立山王小学校ほか
5	三 浦 幹 也	学校歯科医	滝沢村立滝沢第二小学校
6	平 井 和 夫	学校歯科医	元紫波町立星山小学校ほか
7	飯 田 七 生	学校医	花巻市立湯口小学校
8	小野寺 清 哉	学校医	奥州市立南都田小学校
9	長 澤 茂	学校医	一関市立一関中学校
10	堀 美知子	学校医	釜石市立釜石小学校ほか
11	中 居 英 司	学校歯科医	宮古市立崎山小学校ほか
12	菊 地 豊	学校薬剤師	山田町立船越小学校ほか
13	日 向 利 明	学校薬剤師	久慈市立久喜小学校ほか
14	梅 田 恵 子	学校薬剤師	二戸市立石切所小学校
15	高 橋 光 彦	元岩手県学校保健会副会長	元岩手県立花巻北高等学校
16	細 川 直 子	養護教諭	紫波町立長岡小学校

(3) 健康教育指定校の実践 (H23~H24)

一関市立摺沢幼稚園（歯・口の健康づくり推進事業〔日本学校歯科医会〕）

2 学校安全

学校管理下における児童生徒の災害は、毎年約1万件も発生し、これらの学校災害の防止と後を絶たない交通事故の防止に加え、学校への不審者侵入や通学路での連れ去り、声がけといった犯罪に対する安全確保を図るため、安全指導、安全管理の推進、充実が重要な課題となっている。

独立行政法人日本スポーツ振興センター仙台支所が調査した平成24年度の学校管理下における児童生徒の災害発生件数は下表のとおりとなっており、以下の事業を通して児童生徒の事故、災害の防止を図り、学校における安全教育の充実に取り組んだ。

(1) 災害発生件数 [単位：件、%]

区 分	発生件数	発生率
幼稚園・保育所	457	1.25
小 学 校	3,018	4.45
中 学 校	3,887	10.51
高 等 学 校	2,507	6.41
高等専門学校	26	3.06
計	9,895	5.45

(2) 学校安全関係職員研修

[単位：人]

研修の名称	期 日	場 所	参加者数[内訳]
学校安全指導者養成研修	平成24年10月9日~12日	茨城県つくば市	4 [小1、中1、高1、指導主事1]
交通安全教育指導者講習会	平成24年9月18日	盛岡市	86 [小2、中1、高78、特5]
防犯教室講習会	平成24年7月12日	盛岡市	84 [小15、中11、高29、特8、他21]

3 食育・学校給食

小中学校においては、食育担当者を中心とした食育推進のための校内体制が整備され、「食に関する指導の全体計画」及び「年間指導計画」により、計画的な推進が図られている。また、小中学校、高校の管理職、教諭を対象とした食育推進研修会において、学校における食育の推進が図られるよう、小学校、高等学校における実践例発表の機会を設けた。

学校給食施設のドライシステムの導入（ドライシステムを導入していない場合はドライ運用）及び学校給食施設の区分に従い汚染作業区域・非汚染作業区域に区分するよう整備促進に努め、学校給食衛生管理の基準に基づいた衛生管理の徹底を図った。さらに、関係職員の資質向上を図るため、各種研修会、講習会を開催し、食に関する指導の充実、食事内容の充実及び安全、衛生管理の充実に努めた。

第3章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第2 健康教育の充実

(1) 学校給食の実施状況（平成24年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区分	完全給食		その他の方式		補食給食		ミルク給食		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	350 (94.9)	65,224 (97.1)	— (—)	— (—)	11 (3.0)	1,191 (1.8)	8 (2.1)	769 (1.1)	369 (100)	67,184 (100)
中学校	162 (88.0)	29,027 (79.8)	— (—)	— (—)	5 (2.8)	763 (2.1)	17 (9.2)	6,583 (18.1)	184 (100)	36,373 (100)
夜間定時制高等学校	3 (100)	60 (100)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	3 (100)	60 (100)
特別支援学校	10 (76.9)	1,171 (86.4)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	3 (23.1)	185 (13.6)	13 (100)	1,356 (100)

注：小学校は市町村立学校分、中学校は市町村立学校と県立学校分、夜間定時制高等学校及び特別支援学校は県立学校分

(2) 調理方法別の完全給食の実施状況（平成24年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区分	単独調理方式		共同調理方式 (69か所)		その他の調理方式		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	56 (16.0)	17,240 (26.4)	294 (84.0)	47,984 (73.6)	— (—)	— (—)	350 (100)	65,224 (100)
中学校	6 (3.7)	1,161 (4.0)	156 (96.3)	27,866 (96.0)	— (—)	— (—)	162 (100)	29,027 (100)

注：小学校及び中学校は市町村立学校

(3) 米飯給食の実施状況（平成24年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区分	自校（共同調理場）炊飯		委託炊飯		自校・委託併用		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	164 (46.9)	27,904 (42.8)	175 (50.0)	33,495 (51.4)	11 (3.1)	3,825 (5.8)	350 (100)	65,224 (100)
中学校	70 (43.2)	11,305 (38.9)	92 (56.8)	17,722 (61.1)	— (—)	— (—)	162 (100)	29,027 (100)

注：小学校及び中学校は市町村立学校

第3章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第2 健康教育の充実

(4) 栄養教諭、学校栄養職員及び学校給食調理員配置状況（平成24年5月1日現在） [単位：人]

区 分	(給与負担)	職員数			
		単独調理方式	共同調理方式	教育委員会	計
栄養教諭	(県 費)	20	53	1	74
学校栄養職員	(県 費)	14	31	—	45
	(市町村費)	20	7	4	31
(計)		(51)	(54)	(91)	(5)
調理員	(市町村費)	142	205	—	347

注：調理員は常勤職員のみ

(5) 学校給食費の状況（保護者負担額、平成24年5月1日現在） [単位：円、回]

区 分	1食あたり平均単価	平均月額	年間実施予定回数
小学校	257	4,082	175
中学校	294	4,626	173

注：小学校は中学年（3・4年）分

(6) 学校給食優良学校等表彰

盛岡市立緑が丘小学校

盛岡市立東松園小学校

(7) 学校給食功労者表彰

洋野町大野学校給食センター 主任学校栄養職員 砂子志美子

第3章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第3 指導者の資質・授業力向上

第3 指導者の資質・授業力向上

学校の教育活動全体を通じて「生きる力」の基礎となる健やかな体をはぐくむため、中核となる体育、食育、健康教育などを担当する指導者の資質や授業力向上を図った。

1 学校体育関係職員の研修

[単位：人]

No.	研修会名 [内容]	期 日	会 場	参加者数
1	小学校体育実技指導者講習会 [体づくり運動、水泳系、表現運動]	平成24年6月12日～13日	盛岡市	小学校教員 36
2	中・高等学校体育実技指導者講習会 [体づくり運動、器械運動、柔道、サッカー、バレーボール]	平成24年6月28日～29日	盛岡市	中学校教員 53 高校教員 67
3	地区別小学校体育実技講習会	平成24年6月～8月	各教育事務所管内	小学校教員 延べ 634
4	運動部活動指導者研修会 [剣道、陸上競技]	平成24年10月30日～31日	盛岡市	中学校教員 49 高校教員 6
5	子どもの体力向上指導者養成研修 ・小学校 [体づくり運動] ・中学校・高校 [体づくり運動]	平成24年5月22日～25日	東京都	小学校教員 2 中学校教員 3 高校教員 1 指導主事 2
6	第50回全国学校体育研究大会北海道大会	平成24年10月25日～26日	札幌市	小学校教員 5 中学校教員 1 高校教員 1 指導主事 3
7	国立教育政策研究所教育課程研究センター 関係指定事業研究協議会	平成25年2月4日～7日	東京都	小学校教員 5 高校教員 1 指導主事 2

2 学校保健関係職員の研修

(1) 県 内

No.	研修名	期 日	場 所	参加者数[内訳]
1	薬物乱用防止教育研修会	平成24年6月7日	盛岡市	41[小11、中18、高10、私立2]
2	学校保健講習会兼エイズ教育指導者講習会	平成24年9月13日	盛岡市	48[小17、中12、高15、特3、 私立1]
3	養護教諭研修会	平成24年7月25日～27日	盛岡市	42[小21、中14、高6、特1]
4	第48回岩手県学校健康教育研究大会	平成25年1月9日	盛岡市	326
5	学校におけるアレルギー疾患に対する普及啓発講習会	平成24年6月21日	盛岡市	312

第3章 教育施策の推進状況

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第3 指導者の資質・授業力向上

(2) 県外

No.	研修名	期 日	場 所	参加者数
1	全国養護教諭研究大会	平成24年8月9日～10日	山形県山形市	7[小5、中1、高1]
2	全国学校保健研究大会	平成24年11月8日～9日	熊本県熊本市	3[小1、中1、高1]
3	健康教育指導者養成研修（健康コース）	平成24年11月7日～11日	茨城県つくば市	5[小3、中1、高1]
4	学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	平成24年7月27日～28日	北海道札幌市	3[小2、高1]
5	東北学校保健研究大会	平成24年8月9日～10日	青森県八戸市	7[小4、中1、高2]
6	全国学校歯科保健研究大会	平成24年10月25日～26日	群馬県高崎市	5[小3、中1、高1]

3 学校安全関係職員研修

本節第2の2(2)を参照。(p.58)

4 食育・学校給食関係職員の研修

[単位：人]

No.	主 催	研修会名	期 日	会 場	参加者数
1	文部科学省	全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	平成24年8月7日 ～8月8日	東京都	3
2		全国学校給食研究協議大会	平成24年11月15日 ～11月16日	大分県	2
3	独立行政法人教員研修センター・文部科学省[共催]	食育指導者養成研修（推進コース）	平成24年7月17日 ～7月20日	茨城県	2
4		食育指導者養成研修（専門コース）	平成24年10月16日 ～10月19日	茨城県	4
5	日本スポーツ振興センター	食の安全に関する講習会	平成24年6月25日 ～6月26日	東京都	3
6		食の安全に関する実技講習会	平成24年10月10日 ～10月12日	東京都	1
7	岩手県	衛生管理推進等研修会	平成24年6月8日	盛岡市	90
8		食育推進研修会	平成24年9月11日	北上市	78
9		栄養教諭等研修会	平成24年8月29日	盛岡市	38
10	(公社)全国学校栄養士協議会岩手県支部・岩手県[共催]	岩手県栄養教諭・学校栄養職員研修会	平成24年6月29日	盛岡市	115
11		岩手県栄養教諭・学校栄養職員研究大会	平成24年12月7日	盛岡市	126
12	(公財)岩手県学校給食会・岩手県[共催]	学校給食調理講習会	平成24年7月26日 ～7月27日	盛岡市	延べ44
13		学校給食調理員研修会	平成24年8月3日	盛岡市	209
14		学校給食調理コンクール	平成25年1月10日	盛岡市	(7チーム) 21

第5節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

第1 「就学指導」から「就学支援」へ

国においては、障がい者制度改革推進会議において、インクルーシブ教育の推進を基本的な理念とした制度改革にかかわる検討が行われ、その結果を受け、文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」より、現在の就学指導の在り方を改善する方向性を含んだ「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成24年7月）が公表された。こうした動向に合わせ、現在の県就学指導委員会の機能を向上させるよう以下の取組を行った。

1 市町村教育委員会を対象とした就学指導にかかわる支援体制の整備

就学指導にかかわって各市町村就学指導委員会の抱える課題やニーズ、市町村就学指導委員会が抱える就学指導にかかわる困難なケース等の相談、支援への助言を行うために、特別支援教育エリアコーディネーターを県就学指導委員会調査員（就学支援アドバイザー）に任命し、市町村における就学指導委員会を支援する体制を整えた。

就学支援アドバイザーの活動状況（平成24年4月～平成25年1月）は、計63回であった。

2 県就学指導委員会委員の在り方の検討

上記報告を受けて県就学指導委員会の名称及び在り方についても、今後検討していく予定である。

第2 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実

1 特別支援教育エリアコーディネーターの指名及び配置

特別支援教育にかかわる研修や相談にかかわる業務を効果的に推進するため、各教育事務所単位に特別支援教育エリアコーディネーター（教諭兼指導主事）を1名配置した。特別支援教育エリアコーディネーターは、学校教育室及び教育事務所と連携しながら管内の特別支援教育に課題に対応するとともに、全県的な課題にも同一歩調で対応するなど効果的な業務の推進を図った。

2 特別支援学校による相談、研修等の支援

各特別支援学校のセンター的機能により地域の幼稚園、保育所、小、中学校、高等学校等への相談や研修等への支援が進められた。また、幼稚園、小、中学校特別支援学級等95校を対象に、年数回訪問しての継続型訪問支援を実施した。

3 特別支援教育研修資料の作成

平成21年度に小学校向け研修資料を作成し、平成22年度には中学校及び高等学校向けの特別支援教育研修資料を作成し各学校に配付した。平成24年度は各種研修会等においてそれら研修資料の活用を図った。

4 いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業の継続実施

県単独事業により県立高等学校27校へ特別支援教育支援員28名を配置し、障がい等によって個別の指導及び支援の必要な生徒への支援の充実を図った。

(特別支援教育支援員配置校)

盛岡第一高等学校、盛岡農業高等学校、葛巻高等学校、平舘高等学校、雫石高等学校、紫波総合高等学校、大迫高等学校、花北青雲高等学校、西和賀高等学校、水沢農業高等学校、前沢高等学校、岩谷堂高等学校、花泉高等学校、大東高等学校、住田高等学校、大船渡東高等学校、釜石商工高等学校、遠野高等学校、遠野緑峰高等学校、山田高等学校、宮古北高等学校、宮古水産高等学校、久慈高等学校長内校、種市高等学校、福岡高等学校及び定時制、一戸高等学校

第3 特別支援教育の理解促進

1 小・中学校 PTA 学習会の実施

障がいを有しない児童生徒の保護者を対象とした特別支援教育や発達障がいに関わる理解を図るためのPTA学習会を実施した。平成24年度は46校において実施した。

2 幼稚園及び保育所を対象とした研修会の実施

幼稚園、保育所、療育関係者等を対象として幼児期の障がいの基本的理解や対応について、また園内の特別支援教育の推進を図るための研修会を盛岡市と宮古市の2か所で実施した。盛岡会場では75名が参加し、宮古会場では36名の参加を得た。

3 特別支援教育ボランティアの育成と活用

平成24年度は、盛岡青松支援学校、花巻清風支援学校、前沢明峰支援学校において、特別支援教育ボランティア養成講座を開催した。さらに修了者が登録するボランティアバンクについて周知と活用を図り、小・中学校及び特別支援学校における活用を図った。

平成24年度のボランティア活動実績は、小学校と特別支援学校において延べ34件、52名が活用された。

第4 特別支援学校生徒の就労支援の充実

1 公的機関における職場実習の受け入れ

県庁の各部においては、教育委員会（2名）、商工労働観光部（1名）、保健福祉部と商工労働観光部（交互に2名）、総務部、環境生活部、盛岡広域振興局、労働委員会事務局（3名）との連携した事業により、県庁内で特別支援学校高等部生徒8名の現場実習を受け入れた。各機関において、4日～2週間に渡って実習を実施した。

2 関係機関との連携

労働局、障がい者職業センターと共催で「就労支援セミナー」を3校（盛岡峰南高等支援学校、宮古恵風支援学校、岩手大学教育学部附属特別支援学校）で開催するなど、関係機関と連携を図った。

3 啓発リーフレットの作成

特別支援学校卒業生の雇用及び職場実習先の開拓のため、企業事業所向けの啓発リーフレットを作成し、学校の進路指導において活用できるようにした。

4 企業との連携協議会の設置

平成24年度は、花巻地区、前沢地区、気仙地区、釜石地区、宮古地区、久慈地区において44企業・事業所の参加を得て企業との連携協議会を立ち上げ、各地区で2回実施した。特別支援学校の指導や高等部生徒の学習の様子について企業の理解を深め、また、参加企業から指導内容等についての助言を受けることができた。

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

1 県立高等学校新整備計画

(1) 概要

国際化、情報化、少子高齢化等著しい社会の変化に主体的に対応できる人材の育成が求められていることから、県立高等学校長期構想検討委員会（船越昭治委員長）の報告をもとに、生徒が活力ある環境の中で、一人一人の個性・能力を最大限に伸ばせるような学習環境を構築する観点から、平成12年度以降10年間を見通した学校・学科の適正な配置等について慎重に検討を進め、平成12年1月に「県立高等学校新整備計画」として、平成12年度から16年度（前期）の学校別の計画並びに平成17年度から21年度（後期）の計画の大まかな見通しを示した。

平成17年度から21年度の後期計画の策定では、平成16年1月に「県立高等学校新整備計画後期マスタープラン」として基本的な方針を示した後、8月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）案」、平成17年1月に調整案、6月に再調整案を公表し、各段階において、パブリックコメントを実施したほか、各地で意見を聴く会や出前説明会などを重ね、7月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）」を策定・公表した。

後期計画では、学科改編を含む学級数の取扱いは、中学校卒業予定者数の状況、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案して毎年度調整するものとし、小規模校等の統合は、一定の基準を設けて実施することとした。

平成20年度においては、

- ・花巻北高校と東和高校を統合して花巻北高校とし（東和高校は平成21年度末まで存続）、
- ・水沢高校と胆沢高校を統合して水沢高校とし（胆沢高校は平成21年度末まで存続）、
- ・高田高校と広田水産高校を統合して高田高校とし、
- ・大船渡農業高校と大船渡工業高校を統合して大船渡東高校とし、
- ・釜石南高校と釜石北高校を統合して釜石高校とするとともに、
- ・遠野高校情報ビジネス校、宮古高校川井校、久慈高校山形校の3分校を本校に統合し（3分校とも平成21年度末まで存続）、
- ・久慈高校長内校を昼間部と夜間部の多部制高校とし、
- ・浄法寺高校を福岡高校の分校とした。

平成21年度においては、黒沢尻工業高校定時制課程と水沢商業高校定時制課程を募集停止するとともに、杜陵高校奥州校を多部制単位制高校として設置した（両課程とも平成23年度末まで存続）。

なお、後期計画終了後において、教育環境を整える観点から、平成22年度に岩泉高校田野畑校を本校に統合した（岩泉高校田野畑校は平成23年度末まで存続）。

(2) 全体計画（平成12年1月24日公表、平成17年7月19日後期計画により変更）

年度	中学校卒業 予定者数（人）	高等学校設置学級数 （学級）			高等学校数 （校）	
		うち普通科	専門学科	総合学科		
11	18,440	368	229	134	5	83
17	14,857	301	177	91	33	77
21	13,797	266	159	75	32	61～68

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

(3) 後期計画の総括表（平成17年7月19日公表）

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総合的な専門高校				<input type="checkbox"/> 高田(商業科)・広田水産(家政科)・大船渡農・大船渡工[統合]	<input type="checkbox"/> 釜石工・釜石商[統合]
普通科と専門学科併設高校		<input type="checkbox"/> 大東・大原商[統合]	<input type="checkbox"/> 藤沢・千厩[統合]	<input type="checkbox"/> 高田(普通科)・広田水産(水産科)・住田(※)[統合]	
総合学科高校	<input type="checkbox"/> 一戸[改編]				<input type="checkbox"/> 岩谷堂・岩谷堂農林[統合]
普通高校				<input type="checkbox"/> 釜石南・釜石北[統合] <input type="checkbox"/> 花巻北・東和[統合] <input type="checkbox"/> 水沢・胆沢[統合] <input type="checkbox"/> 遠野・情報ビジネス[統合] <input type="checkbox"/> 宮古・川井[統合] <input type="checkbox"/> 岩泉・田野畑[統合] <input type="checkbox"/> 久慈・山形[統合]	<input type="checkbox"/> 伊保内・福岡・浄法寺[統合]
定時制(多部制・単位制)				久慈ブロック <input type="checkbox"/> 胆江ブロックにおいてもできるだけ後期計画中に整備に努める。	
中高一貫教育校 コミュニティ・ スクール	<input type="checkbox"/> 新しいタイプの学校である、中等教育学校・併設型中高一貫教育校やコミュニティ・スクールについては、継続して検討する。				

※ 住田高校については、県の中高一貫教育に関する検討委員会の検討結果等を踏まえ、別途検討する。

【学級数の取扱いについて】

学級数(学科改編を含む)の取扱いは、中学校卒業予定者数、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案しながら毎年度調整する。

【1学年2学級校の取扱い】

- (1) 1学年2学級の募集定員に対し、1学級定員の半数を超える欠員が2年続いた場合には、原則として翌年度に学級減を行う。なお、通学困難な地域は、高校教育を受ける機会を確保するという観点から学級減を行わないことも検討する。
- (2) 募集定員に対して1学級相当程度の欠員が生じている場合には、原則として翌年度に学級減を行う。ただし、中学校卒業予定者数に回復の見通しがあれば、学級減を行わないことも検討する。
- (3) 各学年とも2学級を維持できない場合には統合を基本とするが、広大な県土を有する本県の通学事情等に鑑み、地域の実情に応じて分校(1学級規模)の設置も検討する。

【分校の取扱い】

入学者が募集定員の半数を下回る状況又は当該分校に進学した者のうち分校所在地の中学校からの進学者の割合が半数以下となる状況が、2年続いた場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合する。

2 第二次県立高等学校整備計画（仮称）

今後の少子化によるさらなる生徒減少や社会情勢の変化に対応するため、教育の原点に立ち返り、高校教育として子供たちの確かな成長を支える仕組みや取組みを強固にすることが重要であることから、「第二次県立高等学校長期構想検討委員会」を設置し、委員会において教育環境の整備や将来の岩手県を担う人財育成について検討の上、平成21年5月に「今後の県立高等学校の在り方」〔中間まとめ〕を取りまとめ、県内9ブロックにおいて地域懇談会を開催し、県民からのご意見、ご提言等をいただき、9月17日に県教育委員会に成案が報告された。

これを基に、県教育委員会において平成21年12月24日に、概ね10年先を展望し、今後の人口減少と超高齢社会の到来や厳しい国際競争などに対応し、明日の日本や岩手の未来を担う人財の育成に向けた今後の県立高校における教育の基本的考え方と方向性を示した「今後の高等学校教育の基本的方向」（案）を作成、公表し、パブリックコメント、地域説明会、意見を聴く会を通じ、ご意見等をいただき、平成22年3月17日に成案を策定した。

これを指針として、平成23年上半期の策定を目途に「第二次県立高等学校整備計画（仮称）」を策定することとし、その検討のため、平成22年度において、市町村長、市町村教育委員会教育長、PTA関係者、産業関係者、中学校長代表者で構成される「今後の県立高校に関する地域検討会議」を県内9ブロックにおいて3回ずつ、また、一般県民を対象とした「今後の県立高校に関する地域別懇談会」を県内9ブロックにおいて2回ずつ、併せて、地域等の要望に応じて出前懇談会を実施し（計11回）、「今後の高等学校教育の基本的方向」への理解を図るとともに、各ブロックにおける高校のあるべき姿や地域実情に応じた高校配置等について意見交換を行った。

しかし、東日本大震災津波の発生に伴い、甚大な被害及びその影響を踏まえ計画の策定は見送ることとし、策定の時期については、県内各ブロックにおける、震災後の児童・生徒数の動向・推移等を見据えつつ、被災地における公共交通機関の復旧による通学事情の改善など、教育に関わる環境整備の状況も考慮しながら、改めて調整・検討することとした。

また、学級数調整については、東日本大震災津波による被害等を考慮し、平成24年度は実施しなかったが、中学校卒業生数の減少は続いていることから、平成25年度から再開した。

3 中高一貫教育の導入について

中高一貫教育の在り方については、文部省からの研究の委嘱を受け、平成10年9月に「岩手県中高一貫教育研究会議」（船越昭治委員長）を設置して検討を重ねるとともに、実践研究を行う研究推進校（高校2校、中学校6校）を指定し、「岩手県中高一貫教育実践研究委員会」においても検討を進め、平成12年3月に中高一貫教育研究会議より報告書が提出された。

この報告を受け、軽米・葛巻地域は、連携型中高一貫教育の研究を行い、平成13年度には軽米地域が、平成14年度には葛巻地域が連携型中高一貫教育を導入した。

平成15年7月に「岩手県中高一貫教育検討委員会」を設置し、中等教育学校及び併設型中高一貫教育校の導入や連携型中高一貫教育校の推進について検討を進めた。平成17年9月には、この検討委員会を継承・発展した「岩手県新しいタイプの学校に関する検討委員会」を設置し、中高一貫教育を中心としたコミュニティ・スクールを含めた新しいタイプの学校の在り方について検討を行い、平成18年3月に報告書が提出された。

この報告を受け、併設型中高一貫教育校の導入について検討し、平成19年2月に、平成21年度から一関第一高等学校に導入する方針を決定した。

平成19年5月に「岩手県立一関第一高等学校中高一貫教育検討委員会」を設置し、併設型中高一貫教育校の教育内容や県立中学校の入学選抜方針などについて検討を行い、同年11月に報告書が提出された。この報告を受け、一関第一高等学校に設置する併設型中高一貫教育校の目指す教育などについて検討し、平成20年1月には一関第一高等学校に併設する県立中学校の方針を決定した。平成20年4月から、県教育委員会事務局学校教育室の高校改革担当内に併設型の県立中学校準備担当（3人）を配置し、具体的な準備を開始した。7月には「岩手県立学校設置条例の一部を改正する条例」が6月県議会定例会で議決され、平成21年4月に「岩手県立一関第一高等学校附属中学校」を設置した。

平成23年度末には、第1回入学生が卒業し、全員一関第一高等学校に入学することとなった。

平成24年度の岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学選抜検査は、223人（男子108人、女子115人）が受検し、80人（男子40、女子40人）が入学することとなった。

4 公立高等学校入学選抜について

- (1) 県教育委員会は、平成13年8月29日に「岩手県立高等学校入学選抜方策検討委員会」（委員長：沼田俊昭 岩手県立大学教授）から「報告」が提出されたことを受け、平成13年11月12日の教育委員会議において県立高等学校入学選抜の方針を決定した。

県教育委員会は、この方針をもとに、受検生の意欲や個性をより適切に評価できるよう、平成16年度入学選抜から選抜方法や通学区域等を改善した。

ア 選抜方法の変更

校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）による合否判定をする。

イ 通学区域（学区）の変更

普通科の通学区域（学区）について、平成6年度から県内19学区としてきたが、地域の意見を勘案して、8学区に改めた。

ウ 学区外許容率の変更

学区（通学区域）の拡大に伴って、学区外許容率を15%から10%に引き下げた。

今回の変更は、昭和53年に20%から15%に引き下げて以来の変更となる。

エ 再募集の要件の変更

平成15年度まで「再募集人員が定員の30%より少ない場合は、再募集を行わないことができる」とした、ただし書きを平成16年度入学選抜から撤廃した。

- (2) 平成16～18年度入学選抜まで3年間実施後、入試制度の問題点・改善点を検討することを目的に、平成17年9月20日に「県立高等学校入試改善検討委員会」を設置し（委員長：沼田俊昭 岩手県立大学副学長）、平成18年6月1日に提言を受けた。

それをもとに平成18年7月18日の教育委員会議において、県立高等学校入学選抜の方針を決定した。

ア 全日制課程及び定時制課程

一般入学選抜及び推薦入学選抜を行う。

一般入学選抜においては、調査書、学力検査、面接の結果（学校によっては小論文・作文または適性検査）を資料とし、校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）により選抜する。

推薦入学選抜においては、校長が推薦基準を決定し、志願理由書、調査書及び面接（学校によっては、小論文・作文または適性検査）の結果により選抜する。

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

イ 通信制課程

調査書その他必要な書類、面接の結果及び作文の評価に基づいて選抜する。

(3) 県教育委員会では、この方針に基づき平成19年度入学者選抜から、次のように改善した。

ア 推薦入学者選抜の実施

高等学校全学科を対象とし、各高等学校は推薦基準を公表する。

応募資格は、スポーツ、文化・芸術等において顕著な成績を収めた者とする。

イ 一般入学者選抜日程の変更

2日間の日程を改め、1日とした。

ウ 一般入学者選抜学力検査内容の変更

英語応答試験を廃止した。

エ 募集の要件の改善

平成18年度までの「合格者が募集定員に達しなかった学校は、その課程及び学科別に再募集を行う」を改め、「欠員が、募集定員の概ね10%より多い高等学校は、その学科別に再募集を行うことができる」とした。

オ 普通科と理数科の一括募集

すべての理数科を対象として、普通科と理数科を一括募集することとした。

(4) 平成20年度入学者選抜では、推薦入学者選抜において「志願先高等学校に二つ以上の学科（学系、コース）がある場合には、第2、第3志望まで出願できる」と変更した。

(5) 平成21年度入学者選抜では、体育科、体育コース、体育学系、スポーツ健康科学学系、芸術学系の推薦入学者選抜の募集定員を、定員の20%以内から50%以内に変更した。

(6) 入試制度の問題点及び改善点を検討することを目的に、平成22年6月25日に「県立高校入試改善検討委員会」（委員長：望月善次盛岡大学学長）を設置し、計6回の会議を経て、平成23年12月に「平成27年度以降の県立高校入試の改善について（提言）」が提出された。県教育委員会では、提言をもとに素案を作成し、パブリックコメント等で寄せられた意見等も踏まえながら、「平成28年度以降の岩手県立高等学校入学者選抜の実施方法」をまとめた。（平成24年3月23日）

主な改善点は以下のとおり

ア 推薦入試合格（内定）者に対して、学力検査問題を活用した学力調査を実施する。

イ 現行では、2、3年生が対象となっている調査書の評定換算点に1年生も加える。

ウ ABC選考で学校裁量を広げる。（A選考のみ、AB選考のみ、AC選考のみも設定可能とした。）

エ 「再募集」を「二次募集」と名称変更し、「定員の概ね10%より多い欠員」としていた実施基準を「定員の10%以上の欠員」と明確にした。

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第2 学校施設の耐震化の推進

第2 学校施設の耐震化の推進

(文部科学省公立学校施設の耐震改修状況調査、平成25年4月1日現在)

1 県立学校施設の耐震化状況

(1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		比較	
	H24.4.1 現在	H25.4.1 現在	H24.4.1 現在	H25.4.1 現在	岩手県	全国平均
(小)中学校	100.0%	100.0%	84.8%	88.9%	±0.0%	+4.1%
高等学校	79.5%	81.2%	82.4%	86.2%	+1.7%	+3.8%
特別支援学校	100.0%	100.0%	92.9%	94.6%	±0.0%	+1.7%
幼稚園	—	—	75.1%	79.4%	—	+4.3%
計(平均)	83.3%	84.7%	84.4%	88.3%	+1.4%	+3.6%

※1 (小)中学校の岩手県欄については、一関第一高等学校附属中学校に係る数値。(以下、同様)

2 「耐震化率」とは、全建物のうち、耐震性がある建物(昭和57年以降建築の棟数及び昭和56年以前建築で耐震性がある棟と耐震補強済みの棟)の割合のこと。(以下、同様)

(2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		比較	
	H24.4.1 現在	H25.4.1 現在	H24.4.1 現在	H25.4.1 現在	岩手県	全国平均
(小)中学校	—	—	78.8%	82.3%	—	+3.5%
高等学校	95.5%	95.5%	66.4%	70.4%	±0.0%	+4.0%
特別支援学校	—	—	93.1%	94.8%	—	+1.7%
幼稚園	—	—	83.5%	85.0%	—	+1.5%
計(平均)	95.5%	95.5%	78.9%	82.1%	±0.0%	+3.2%

2 市町村立学校施設の耐震化状況

(1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H24.4.1 現在	H25.4.1 現在	H24.4.1 現在	H25.4.1 現在	岩手県	全国平均
小中学校	84.4%	86.8%	84.8%	88.9%	+2.4%	+4.1%
高等学校	81.8%	63.6%	82.4%	86.2%	-18.2%	+3.8%
特別支援学校	—	—	92.9%	94.6%	—	+1.7%
幼稚園	82.1%	82.8%	75.1%	79.4%	+0.7%	+4.3%
計(平均)	84.3%	86.6%	84.4%	88.3%	+2.3%	+3.6%

(2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H24.4.1 現在	H25.4.1 現在	H24.4.1 現在	H25.4.1 現在	岩手県	全国平均
小中学校	87.8%	86.1%	78.8%	82.3%	-1.7%	+3.5%
高等学校	—	—	66.4%	70.4%	—	+4.0%
特別支援学校	—	—	93.1%	94.8%	—	+1.7%
幼稚園	81.8%	100.0%	83.5%	85.0%	+18.2%	+1.5%
計(平均)	87.2%	87.8%	78.9%	82.1%	+0.6%	+3.2%

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金の支援等

第3 修学資金の支援等

1 特別支援教育就学奨励費補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額			
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計	
学校給食費	564	265	829	12,134,708	5,785,801	17,920,509	
交通費（通学費）	104	21	125	2,784,167	2,196,222	4,980,389	
職場実習交通費		3	3		2,600	2,600	
交流学习交通費	16	11	27	6,220	22,456	28,676	
修学旅行費	96	87	183	935,244	2,382,715	3,317,959	
校外活動費	宿泊を伴わないもの	388	145	533	240,361	116,671	357,032
	宿泊を伴うもの	78	93	171	67,480	127,502	194,982
学用品等購入費	564	266	830	2,975,675	2,723,545	5,699,220	
新入学児童・生徒学用品費等	82	96	178	813,700	1,094,832	1,908,532	
体育実技用具費	柔道		8	8		15,200	15,200
	剣道			0			0
	スキー	23	6	29	228,886	99,992	328,878
	スケート			0			0
拡大教材費			0			0	
合計	650	274	924	20,186,441	14,567,536	34,753,977	

※給与人員の合計の欄は、実給与人員であること。

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

市町村名	国庫補助金額
盛岡市	3,086
八幡平市	211
雫石町	109
葛巻町	36
岩手町	140
滝沢村	531
紫波町	228
矢巾町	366
花巻市	1,463
遠野市	186
北上市	1,205
西和賀町	33

市町村名	国庫補助金額
奥州市	817
金ケ崎町	265
一関市	1,474
平泉町	75
大船渡市	200
陸前高田市	84
住田町	41
釜石市	117
大槌町	32
宮古市	410
山田町	31
岩泉町	81

市町村名	国庫補助金額
田野畑村	0
久慈市	231
洋野町	183
野田村	33
普代村	53
二戸市	249
軽米町	74
九戸村	21
一戸町	132
合計	12,197

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金の支援等

2 要保護児童生徒援助費補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額 [単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学用品費、通学用品費、 校外活動費（宿泊を伴わないもの）			0			0
校外活動費（宿泊を伴うもの）			0			0
新入学児童・生徒用学用品費等			0			0
修学旅行費	104	139	243	2,047,423	8,844,311	10,891,734
通学費			0			0
体育 実技 用具 費			0			0
柔道			0			0
剣道			0			0
スキー			0			0
スケート			0			0
医療費	184	76	260	4,017,582	2,108,990	6,126,572
学校給食費			0			0
合 計	—	—	—	6,065,005	10,953,301	17,018,306

※平成17年度から準要保護児童生徒援助費補助金が廃止され、市町村へ財政措置されていること。

(2) 市町村別補助金交付額 [単位：円]

市町村名	学用品費等	医療費	計
盛岡市	2,322,000	1,299,563	3,621,563
八幡平市	47,000	78,000	125,000
雫石町	59,000	7,300	66,300
葛巻町	0	0	0
岩手町	32,000	108,000	140,000
滝沢村	177,000	174,245	351,245
紫波町	34,000	18,000	52,000
矢巾町	76,000	20,000	96,000
花巻市	391,000	162,000	553,000
遠野市	164,000	60,000	224,000
北上市	237,000	252,000	489,000
西和賀町	0	0	0
奥州市	295,000	42,000	337,000
金ヶ崎町	8,000	10,000	18,000
一関市	451,000	79,178	530,178
平泉町	0	0	0
大船渡市	0	25,020	25,020
陸前高田市	90,000	0	90,000
住田町	0	6,000	6,000
釜石市	136,000	107,000	243,000
大槌町	42,000	0	42,000
宮古市	260,000	30,830	290,830
山田町	112,000	67,205	179,205
岩泉町	137,000	138,000	275,000
田野畑村	0	0	0
久慈市	96,000	54,000	150,000
洋野町	76,000	48,000	124,000
野田村	0	0	0
普代村	0	0	0
二戸市	118,000	0	118,000
軽米町	10,000	0	10,000
九戸村	0	26,000	26,000
一戸町	62,000	36,000	98,000
合 計	5,432,000	2,848,341	8,280,341

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金の支援等

3 被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金（被災児童生徒就学援助事業）

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額 [単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学用品費	2,382	1,615	3,997	28,526,240	37,773,935	66,300,175
体育実技用具費	15	20	35	282,687	75,840	358,527
新入学用品費	337	492	829	6,714,300	11,275,800	17,990,100
通学用品費	1,842	1,067	2,909	3,808,835	2,032,564	5,841,399
通学費	766	569	1,335	85,082,748	50,744,675	135,827,423
修学旅行費	372	530	902	7,030,735	32,362,868	39,393,603
校外活動費（宿泊無し）	390	98	488	349,267	155,385	504,652
校外活動費（宿泊有り）	80	211	291	79,580	594,118	673,698
クラブ活動費	2	638	640	945	14,734,110	14,735,055
生徒会費	67	572	639	239,283	1,107,891	1,347,174
P T A会費	590	540	1,130	1,370,194	1,492,350	2,862,544
医療費	80	30	110	551,954	238,621	790,575
学校給食費	2,382	1,612	3,994	102,648,967	75,803,957	178,452,924
合 計	—	—	—	236,685,735	228,392,114	465,077,849

(2) 市町村別補助金交付額 [単位：円]

市町村名	学用品費等	医療費	学校給食費	計
盛岡市	2,909,000	7,000	2,452,000	5,368,000
八幡平市	205,000	0	163,000	368,000
雫石町	189,000	0	247,000	436,000
葛巻町	100,000	0	100,000	200,000
岩手町	142,000	0	89,000	231,000
滝沢村	630,000	8,000	853,000	1,491,000
紫波町	471,000	0	524,000	995,000
矢巾町	81,000	0	182,000	263,000
花巻市	945,000	5,000	1,178,000	2,128,000
遠野市	289,000	0	606,000	895,000
北上市	500,000	7,000	591,000	1,098,000
西和賀町	0	0	0	0
奥州市	292,000	0	441,000	733,000
金ヶ崎町	14,000	1,000	40,000	55,000
一関市	2,354,000	45,000	2,250,000	4,649,000
平泉町	0	0	0	0
大船渡市	42,678,000	209,000	36,038,000	78,925,000
陸前高田市	66,132,000	0	31,231,000	97,363,000
住田町	121,000	0	350,000	471,000
釜石市	58,963,000	131,000	30,467,000	89,561,000
大槌町	12,567,000	0	19,320,000	31,887,000
宮古市	77,549,000	266,000	38,058,000	115,873,000
山田町	9,580,000	91,000	2,718,000	12,389,000
岩泉町	961,000	0	1,389,000	2,350,000
田野畑村	1,972,000	0	2,131,000	4,103,000
久慈市	2,158,000	13,000	2,811,000	4,982,000
洋野町	104,000	0	183,000	287,000
野田村	1,907,000	0	2,217,000	4,124,000
普代村	1,937,000	0	1,674,000	3,611,000
二戸市	72,000	4,000	141,000	217,000
軽米町	0	0	0	0
九戸村	0	0	0	0
一戸町	0	0	0	0
合 計	285,822,000	787,000	178,444,000	465,053,000

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金の支援等

4 へき地児童生徒援助費等補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：台、人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
スクールバス購入費(台)	12	16	28	28,410,000	30,340,000	58,750,000
寄宿舎居住費(人)						
高度へき地修学旅行費(人)	3	1	4	34,289	33,711	68,000
遠距離通学費(人)	20	12	32	933,750	584,250	1,518,000

※スクールバスについて、小学校・中学校で共用している場合は、小学校に計上している。()内が共用している台数・金額(内数)

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

市町村名	スクールバス購入費	寄宿舎居住費	高度へき地修学旅行費	遠距離通学費	保健管理費	計
盛岡市						
八幡平市					58	58
雫石町						
葛巻町					476	476
岩手町					183	183
滝沢村						
紫波町						
矢巾町						
花巻市						
遠野市	27,840				41	27,881
北上市	4,050					4,050
西和賀町					191	191
奥州市	5,000				21	5,021
金ケ崎町						
一関市	19,450					19,450
平泉町						
大船渡市						
陸前高田市				1,494		1,494
住田町					21	21
釜石市						
大槌町						
宮古市	2,410				69	2,479
山田町						
岩泉町			68	24	67	159
田野畑村					194	194
久慈市					274	274
洋野町					95	95
野田村						
普代村						
二戸市						
軽米町					45	45
九戸村						
一戸町						
合計	58,750		68	1,518	1,735	62,071

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金の支援等

5 育英・奨学（財団法人岩手育英奨学会）

県内に住所を有する者の子弟で、有能な素質を有しながら経済的理由により高等学校等への就学が困難なものに対し、学資の貸与その他育英奨学上必要な事業を行った。

また、東日本大震災津波に被災した世帯の高校生を対象とした奨学金の貸付事業（タイプC：震災特例）を新設し、事業を行った。

(1) 奨学金の種類と額

ア タイプA（予約・在学・緊急採用共通）

区 分		貸与月額
国公立	自宅通学	18,000円
	自宅外通学	23,000円
私 立	自宅通学	30,000円
	自宅外通学	35,000円

イ タイプB（予約採用）

（ア） 貸与月額（選択制）

15,000円、20,000円、25,000円、30,000円

（イ） 入学一時金

公立50,000円、私立100,000円

ウ タイプC（震災特例）

区 分		貸与月額
国公立	自宅通学	18,000円
	自宅外通学	23,000円
私 立	自宅通学	30,000円
	自宅外通学	35,000円

(2) 奨学生の採用

ア タイプA（平成24年度採用）

[単位：人]

採用人数		内 訳			
		国公立・自宅	国公立・自宅外	私立・自宅	私立・自宅外
予 約	172	134	13	17	8
在 学	340	161	12	148	19
緊 急	6	2	0	4	0
合 計	518	297	25	169	27

イ タイプB（平成24年度採用、予約採用のみ）

[単位：人]

採用人数	貸与月額				区 分	
	15,000円	20,000円	25,000円	30,000円	母子・父子家庭	経済困難
24	2	3	5	14	7	17

ウ タイプC（平成24年度採用）

[単位：人]

採用人数		内 訳			
		国公立・自宅	国公立・自宅外	私立・自宅	私立・自宅外
91		74	4	2	11

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第3 修学資金の支援等 第4 教育環境の整備

(3) 奨学金の貸与状況

ア タイプA (平成24年度) [単位：人、千円]

区 分		貸与人数	奨学金
国公立	自宅通学	872	187,728
	自宅外通学	74	20,072
私 立	自宅通学	406	144,888
	自宅外通学	98	40,746
合 計		1,450	393,434

イ タイプB (平成24年度) [単位：人、千円]

区 分		貸与人数	年 額
奨学金	15,000円	12	2,160
	20,000円	11	2,640
	25,000円	18	5,400
	30,000円	53	19,080
入学一時金	50,000円	(17)	850
	100,000円	(2)	200
合 計		94	30,330

ウ タイプC (平成24年度) [単位：人、千円]

区 分		貸与人数	奨学金
国公立	自宅通学	137	29,592
	自宅外通学	20	5,520
私 立	自宅通学	4	1,440
	自宅外通学	25	10,500
合 計		186	47,052

第4 教育環境の整備

1 県立学校の教育環境整備

(1) 平成24年度高等学校及び特別支援学校校舎等施設整備状況 [単位：㎡、千円]

補助・ 単独の別	事業内容	学校名	構造	事業実施面積		工事費	工期等
					うち国庫補助 対象面積		
国庫補助	校舎改築	盛岡商業	鉄筋	9,363	1,688	1,562,218	H23～24
		宮古商業	鉄筋	3,531	3,531	78,811	H24
	校舎大規模改造等	水沢商業	鉄筋	1,215	1,215	10,021	H24
		体育館耐震補強等	平舘	鉄骨	736	736	3,698
県 単 独	部室改築	盛岡商業	鉄骨	305		43,077	H24

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

(2) 産業教育施設整備の状況 (平成24年4月1日現在)

基準面積(A)	現有面積(B)	現有率(B/A)
305,977 m ²	153,126 m ²	50.0%

(3) 平成24年度特殊教育設備事業 [単位：千円]

区 分	金 額
特殊教育設備	-
一般教育設備	9,972
情報処理教育設備	2,089
校舎等増改築設備	-
計	12,061

(4) 高等学校産業教育設備の整備状況 (平成24年4月1日現在)

基準金額(A)	現有金額(B)	現有率(B/A)
25,699,921,000 円	5,667,181,864 円	22.1 %

(5) 理科教育等設備

ア 平成24年度補助金受領状況

(ア) 高等学校 [単位：千円]

学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額	学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額
沼宮内	277	277	宮古商業	745	745
金ヶ崎	165	165	岩泉	318	318
一関第一	567	567			
花泉	421	421			
千厩	873	873			
宮古	341	341			
計				3,707	3,707

(イ) 中学校 [単位：千円]

学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額
一関一高付属中	-	-

(ウ) 特別支援学校 [単位：千円]

学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額
-	-	-

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

イ 学校種別現有状況（平成23年度末）

[単位：校、千円、%]

区分	学校種別	学校数	基準総額[A]	現有の状況		平成23年度補助金 交付校数	
				現有金額[B]	現有率[B/A]		
1項第1号に基づく補助	理科教育振興法第9条第1号に基づく補助	中学校	1	27,445	1,798	6.5	1
		高等学校	66	5,390,484	704,940	13.1	8
		特別支援学校	14	851,225	40,438	4.8	0
		計	81	6,269,154	747,176	11.9	9
	算数数学特別設備	中学校	1	4,037	0	0	0
		高等学校	66	901,626	21,767	2.4	0
		特別支援学校	14	94,308	7,793	8.3	0
		計	81	999,971	29,560	2.9	0

(注) 1 県立学校分を記載（被災により高田高校除く）

2 一関一高付属中学校は、平成21年4月開校

(6) 平成24年度情報処理教育設備

整備学校名	整備金額
【高等学校】 23 校 盛岡第一、盛岡第二、盛岡第三、盛岡商業、杜陵、不来方、葛巻、花北青雲、西和賀、水沢、水沢商業、前沢、岩谷堂、一関第二、一関工業、千厩、住田、釜石、釜石商工、宮古水産、種市、伊保内、一戸 【特別支援学校】 1 校 盛岡青松	92,098千円

2 市町村立学校の教育環境整備への支援

(1) 市町村立小中学校の施設及び校地の保有状況

【公立学校施設の保有状況】

[単位：㎡]

区分	必要面積 [a]	保有面積				整備資格面積 (注2) [c]	c/a	危険面積 (注3) [d]	d/b	
		鉄筋コンクリート造	鉄骨その他造	木造	計 [b]					
小学校	校舎	1,138,276	(90.3%) 954,966	(2.0%) 21,455	(7.7%) 80,701	1,057,122	154,209	13.5%	14,550	1.4%
	屋体	354,662	(16.9%) 47,926	(79.3%) 224,656	(3.8%) 10,675	283,257	77,793	21.9%	3,384	1.2%
	計	1,492,938	(74.8%) 1,002,892	(18.4%) 246,111	(6.8%) 91,376	1,340,379	232,002	15.5%	17,934	1.3%
中学校	校舎	638,906	(92.8%) 597,182	(2.7%) 17,455	(4.5%) 28,703	643,340	45,523	7.1%	23,180	3.6%
	屋体	213,225	(18.3%) 33,998	(79.3%) 147,361	(2.4%) 4,563	185,922	37,331	17.5%	3,325	1.8%
	計	852,131	(76.1%) 631,180	(19.9%) 164,816	(4.0%) 33,266	829,262	82,854	9.7%	26,505	3.2%
合計	校舎	1,777,182	(91.3%) 1,552,148	(2.3%) 38,910	(6.4%) 109,404	1,700,462	199,732	11.2%	37,730	2.2%
	屋体	567,887	(17.5%) 81,924	(79.3%) 372,017	(3.2%) 15,238	469,179	115,124	20.3%	6,709	1.4%
	計	2,345,069	(75.3%) 1,634,072	(18.9%) 410,927	(5.8%) 124,642	2,169,641	314,856	13.4%	44,439	2.0%

注1：平成24年度の公立学校施設台帳を集計したもの。保有面積欄の上段の数値は、構成比。

※東日本大震災津波の影響により調査対象外の学校を除く。

2：整備資格面積とは、各学校ごとに必要面積から保有面積を差し引いた面積（負数となる場合は、ゼロとする）。

3：危険面積とは、耐力度点数が、鉄筋造及び鉄骨造にあっては4,500点以下、木造にあっては5,500点以下の建物の面積。ただし、平成19年度までに実施した耐力度調査の結果が5,000点以下のものも含む。

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

【公立学校校地の保有状況】

[単位：㎡]

区分	保有校地面積				借用校地面積
	建物敷地	運動場	実験実習地その他	小計	
小学校	2,349,103	3,007,608	1,131,750	6,488,461	105,311
中学校	1,571,256	2,598,792	796,420	4,966,468	111,012
計	3,920,359	5,606,400	1,928,170	11,454,929	216,323

注：数値は平成24年度のもの（東日本大震災津波の影響により調査対象外の学校を除く）

(2) 市町村立幼稚園及び市町村立小中学校の整備状況

【事業別の状況】

[単位：㎡、千円]

区分	単年度事業			国債事業			計		
	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額	事業数	補助対象面積	負担(交付)金額
小学校・校舎	1	181	19,423	1	1,033	48,950	2	1,214	68,373
中学校・校舎	1	299	29,987				1	299	29,987
小学校・屋体	1	192	20,031	1	439	27,358	2	631	47,389
中学校・屋体									
統合	2	1,391	182,744	1	4,106	381,882	3	5,497	564,626
危険築	8	10,033	904,388				8	10,033	904,388
不適格(地震)改築	11	7,734	354,205				11	7,734	354,205
大規模改築	32	26,652	348,955				32	26,652	348,955
地震補強	12	16,617	184,718				12	16,617	184,718
その他	19	38,741	371,084				19	38,741	371,084
合計	87	101,840	2,415,535	3	5,578	458,190	90	107,418	2,873,725

注：「屋体」は屋内体育館、「その他」は学校水泳プール、調理場、グラウンド、太陽光発電等の整備

【市町村別の状況（単年度事業分）】

[単位：㎡、千円]

市町村名	学校名	補助対象面積												負担(交付)金額				備考
		小校	中校	小屋	中屋	統合		危険改築		不適格(地震)改築		合計		大規模改築	地震補強	その他	計	
						校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体					
盛岡市	土淵小	181															19,423	
	厨川中								5,009			5,009		21,083	61,210		82,293	
	城西中								838			838			87,966		87,966	
岩手町	岩瀬張小													6,470			6,470	
葛巻町	葛巻小														53,866		53,866	プール
八幡平市	西根中													17,083	28,047		45,130	
	西根一中													17,907	10,306		28,213	
滝沢村	滝沢二小													7,796			7,796	
	鵜飼小													11,310			11,310	
	滝沢二中													23,110			23,110	武道場
紫波町	水分小														2,155		2,155	
	紫波一中													44,981			44,981	
矢巾町	矢巾中														23,866		23,866	グラウンド
花巻市	花巻小														10,799		10,799	グラウンド
	南城小													4,134			4,134	
	矢沢小													3,581			3,581	
	湯本小													4,390			4,390	
	湯口小													3,393			3,393	
	太田小													3,091			3,091	
	湯本中													3,439			3,439	

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

市町村名	学校名	補助対象面積												負担(交付)金額				備考
		小校	中校	小屋	中屋	統合		危険改築		不適格(地震)改築		合計		大規模改造	地震補強	その他	計	
						校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体	校舎	屋体					
北上市	上野中		299														29,987	
西和賀町	沢内中													56,165			56,165	
奥州市	田原小															15,240	15,240	プール
	伊手小															15,241	15,241	プール
	岩谷堂小															18,759	18,759	プール
	常磐小													2,164		2,164		
	佐倉河小													1,543		1,543		
一関市	大東小						1,091									153,148	153,148	
	巖美小												27,438			27,438		
	薄衣小												6,196			6,196		
	萩荘中												2,738			2,738		
	室根中												21,587			21,587		
	藤沢こども園															34,033	34,033	幼稚園
	千厩給食センター															100,524	100,524	共同調理場
平泉町	平泉中													6,888	17,586	24,454	プール	
陸前高田市	横田小												1,884			1,884		
釜石市	白山小												17,009			17,009		
	釜石小												86,185	4,936		91,121		
遠野市	遠野小			192					840		68					141,992	141,992	
	青笹中					300							21,882		29,596	51,478		
	遠野中							2,303		1,491					446,380	446,380		
岩泉町	岩泉中												34,524			34,524		
	中沢小							490		40					4,993	4,993		
久慈市	久慈小							5,234		288			12,291		407,529	419,820	太陽光	
	来内小														3,933	3,933	防災広場	
	久慈中												26,205			26,205		
	小袖小												5,472			5,472		
	三崎中												9,420			9,420		
洋野町	宿戸中														5,110	5,110	屋外照明	
	大野中														28,312	28,312	クラブ他	
軽米町	軽米町							896	270						149,259	149,259		
計		181	299	192	0	300	1,091	8,923	1,110	7,666	68	5,847	0	372,065	184,718	1,809,342	2,415,535	

※ 交付決定単位で事業が完了したものの交付決定額を計上。(概算払いのみで繰越した事業は含まない)

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

【市町村別の状況（国債事業分）】

[単位：㎡、千円]

市町村名	学校名	補助対象面積								負担金交付決定額		備考
		小校	中校	小屋	中屋	統合		合計		左のうち 当該年度分		
						校舎	屋体	校舎	屋体			
軽米町	軽米小					1,033		1,033		163,713	48,950	
	軽米小						439		439	91,497	27,358	
一関市	大東小					4,106		4,106		471,458	381,882	繰越分含む
計						5,139	439	5,139	439	726,668	458,190	

(3) 理科教育等設備

(ア) 平成24年補助金交付状況

[単位：千円]

市町村	理科設備	算数・数学設備	計
盛岡市	2,206	0	2,206
岩手町	500	0	500
葛巻町	402	98	500
八幡平市	696	0	696
滝沢村	545	80	625
紫波町	503	0	503
矢巾町	450	50	500
花巻市	846	0	846
遠野市	691	0	691
北上市	807	65	872
奥州市	1,610	462	2,072
一関市	2,895	0	2,895
陸前高田市	826	67	893
釜石市	704	48	752
宮古市	753	0	753
山田町	970	0	970
岩泉町	638	53	691
久慈市	1,460	0	1,460
洋野町	522	37	559
軽米町	704	0	704
九戸村	404	96	500
一戸町	256	244	500
計	19,388	1,300	20,688

第3章 教育施策の推進状況

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第4 教育環境の整備

(イ) 学校種別現有状況（平成23年度末）

[単位：校、千円、%]

区分	学校種別	学校数 (24.5.1現在)	基準総額[A]	現有の状況		平成24年度補助金交付校数	
				現有金額[B]	現有率[B/A]		
理科教育振興法第9条第1項第1号に基づく補助	理科設備	小学校	370	3,882,927	1,329,016	34.2	137
		中学校	185	5,254,557	1,072,998	20.4	64
		高等学校	1	81,674	12,851	15.7	0
		計	556	9,219,158	2,414,865	26.2	201
	算数数学特別設備	小学校	370	797,387	142,583	17.9	32
		中学校	185	772,357	70,164	9.1	7
		高等学校	1	13,661	0	0.0	0
		計	556	1,583,405	212,747	13.4	39

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

目標達成型の学校経営の取組と教育振興運動が軌を一にして展開することにより、学校、家庭、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを推進した。

1 「いわて教育の日」推進事業

(1) 趣旨

県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して、次代を担う豊かな人間性を備えた子どもを育成するため、県民一人一人が教育の重要性を認識し、本県における教育のあり方を考える契機として、いわて教育の日を設け、本県における教育の充実と発展に資することを目的に、平成17年3月に県議会で「いわて教育の日に関する条例」が制定され、平成17年4月から施行された。

この条例の目的の実現を図るため、教育に関する活動の奨励、広報その他の取組を行うとともに、市町村や関係団体の取組もあわせて実施状況を取りまとめた。

- いわて教育の日 11月1日
- 教育週間 11月1日～7日

(2) 「いわて教育の日」県教育委員会主催事業

「いわて教育の日」記念行事

テーマ 『みんなで育む学びの場いわて』

期日 平成24年11月5日（月）

会場 岩手県民会館 中ホール

参加者 県内教育関係者及び一般県民約550人

内容

第1部 記念式典

- 教育表彰 7団体、55個人（⇒19～20ページ「平成24年度岩手県教育表彰」（1）事績顕著者を参照）

第2部 児童生徒による発表

- 陸前高田市立気仙中学校

郷土芸能 「けんか七夕太鼓」

- 岩手県立盛岡第四高等学校音楽部

合唱 「So much in love」 「いのちの歌」 「つながり」 「Bridge Over Troubled Water（明日に架ける橋）」

第3部 記念講演

演題 生涯学び続ける子どもたちを育てるには
～コミュニケーション能力の育成を目指して～

講師 太田 光春 氏（文部科学省初等中等教育局 視学官）

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

(3) 「いわて教育の日」関連事業

「いわて教育の日」前後の10月と11月の2箇月間に実施される、県・市町村・学校・民間団体などによる教育・文化・スポーツ・青少年健全育成等の教育関連事業（行事）を、「いわて教育の日」関連事業として県教育委員会のホームページで周知し、広く参加を求めることにより、教育振興の機運の醸成を図った。

登録事業数：738事業

参加者数：延べ403,597人

2 地域の教育力向上支援事業

学校教育と社会教育の連携をコーディネートする「地域教育推進員配置事業」の成果を踏まえ、地域連携窓口教員に対する研修の機会の充実を通して地域全体の教育力向上を支援した。

公立小中学校の校内体制としての「地域教育担当（地域連携担当）」系の位置付けを推進し、公立小中学校では全校で位置付けられた（平成24年6月調査）。

3 子どもの読書活動の推進

平成21年6月に策定した「いわて子ども読書プラン2009」により、子どもの読書活動推進事業として次の事業を実施した。

(1) 読書ボランティアのための研修会

ア 読書ボランティア研修会（中央研修）

平成24年6月26日 岩手県立生涯学習推進センター（参加：289名）

イ 読書ボランティア研修会（各地区研修）

- ① 平成24年 8月 8日 盛岡教育事務所（参加：50名）
- ② 平成24年 9月10日 中部教育事務所（参加：28名）
平成24年10月25日 中部教育事務所（参加：28名）
平成24年11月21日 中部教育事務所（参加：37名）
平成25年 2月16日 中部教育事務所（参加：50名）
- ③ 平成24年 9月29日 県南教育事務所（参加：64名）
- ④ 平成24年12月 7日 沿岸南部教育事務所（参加：40名）
- ⑤ 平成24年 7月25日 宮古教育事務所（参加：38名）
- ⑥ 平成24年 7月 6日 県北教育事務所（参加：70名）

(2) 学校図書館担当者研修会

- ア 平成24年 8月 9日 盛岡教育事務所（参加：100名）
- イ 平成24年 7月 3日 中部教育事務所（参加：40名）
- ウ 平成24年 9月 3日 県南教育事務所（参加：73名）
- エ 平成24年 9月21日 沿岸南部教育事務所（参加：50名）
- オ 平成24年 8月 6日 宮古教育事務所（参加：27名）
- カ 平成24年 8月22日 県北教育事務所（参加：61名）

(3) 読書活動の普及・啓発

ア 「いわて子ども読書プラン2009」の周知

啓発リーフレットを配布するとともに、HP等を通じた周知を行った。

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

- イ 「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」の再配付・増刷
東日本大震災津波等により紛失した生徒数を調査し、再配付にあたった。
平成24年度新中1年生分を増刷し、配付した。(H25年3月)

(4) 読書活動の推進体制の整備

ア 岩手県子どもの読書活動推進委員会

- ① 第1回委員会 平成24年8月21日
- ② 第2回委員会 平成25年1月31日

イ 各地区推進体制の整備

- ① 平成25年 2月11日 盛岡教育事務所 (参加:19名)
- ② 平成24年 7月10日 中部教育事務所 (参加:12名)
- ③ 平成25年 3月 5日 県南教育事務所 (参加:18名)
- ④ 平成24年 5月30日 沿岸南部教育事務所(参加:16名)
- ⑤ 平成25年 2月 4日 宮古教育事務所 (参加:11名)
- ⑥ 平成24年 6月22日 県北教育事務所 (参加:22名)

4 教育振興運動

平成24年度は、「みんなで教振！10か年プロジェクト」の第3ステージ「定着と検証の2年」の最終年度であったため、県集約大会を開催し、8年間の取組の成果と課題の共有化を図るとともに、最終ステージ「飛躍の2年」における取組の方向性を示した。

また、東日本大震災津波の影響により生じた新たな地域課題への対応を始めとした市町村の課題に対応した支援にあたった。

(1) 県段階における推進活動

ア 幹事会

- ① 期 日 平成24年7月20日 平成25年3月1日
- ② 会 場 盛岡地区合同庁舎8階C
- ③ 内 容
 - ・「みんなで教振！10か年プロジェクト」について
 - ・運動の方針、事業実施計画について
 - ・教育振興運動推進研修会について
 - ・イメージソングによる啓発活動について
 - ・教育振興運動推進研修会について

イ 市町村担当者研修会

- ① 趣 旨 教育振興運動の基本理念の理解を図るとともに、全県共通課題の実践事例や課題解決に向けての協議・情報交換により、市町村において教育振興運動を推進する担当者としての役割を確認する。
- ② 期 日 平成24年5月11日(金)
- ③ 場 所 県立美術館
- ④ 内 容 講演「教育振興運動の理念」 松尾弘一 氏
実践事例発表
運動推進上の課題に向けた協議
県立美術館の業務説明と館内見学

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

ウ 教育振興運動推進研修会

① 趣 旨 市町村や地区の推進組織や実践組織のリーダー等及び地域連携窓口教員を対象に教育振興運動の基本理念の理解を図るとともに、全県共通課題に対する5者の役割と具体的な取組及びその評価の方法についての研修を行う。

② 概 要

教育事務所	期 日	会 場	参加者	内 容
盛岡地区	6月5日	くずまき高原もくもくドーム	140名	・説明 ・講演
中部地区	6月8日	県立生涯学習推進センター	156名	・説明 ・講演 ・実践発表 ・意見交換会
県南地区	6月12日	一関市川崎公民館	156名	・説明 ・講演
	6月22日	江刺総合支所	148名	・説明 ・講演
沿岸南部地区	6月11日	住田町農林会館	141名	・説明 ・講話
宮古地区	6月25日	宮古市総合福祉センター	116名	・説明 ・講演
県北地区	6月14日	久慈区合同庁舎	87名	・説明 ・講演 ・ワークショップ

エ 市町村・地域活性化研修会

① 趣 旨 市町村の悩みや課題を解決するために、より多くの関係者に対して教育振興運動の理念の理解を図るとともに、5者の役割による課題解決の方法についての研修を行う。

② 期 間 6月～3月

教育事務所	開催市町村	内 容
盛岡地区	盛岡市 (49名) 八幡平市 (86名) 紫波町 (24名) 矢巾町 (40名)	・説明 ・講演 ・演習 ・熟議
中部地区	花巻市 (52名) 遠野市 (28名) 北上市 西和賀町	・説明 ・講演 ・講話 ・熟議 ・実践事例 ・意見交流
県南地区	奥州市 (32名) 金ヶ崎町 (23名) 一関市 (49名) 平泉町 (66名)	・説明 ・講演 ・演習 ・実技 ・グループ討議 ・情報交流
沿岸南部地区	大船渡市 (50名) 陸前高田市 (43名) 釜石市 (43名) 大槌町 (17名)	・説明 ・事例発表 ・熟議 ・講義 ・協議
宮古地区	山田町 (13名)	・説明 ・熟議
県北地区	久慈市 (30名) 洋野町 (49名) 普代村 (60名) 野田村 (35名)	・説明 ・講演 ・講話 ・ワークショップ ・体験活動

オ 教育振興運動集約県大会

① 趣 旨 「みんなで教振！10か年プロジェクト」の第3ステージ「定着と検証の2年」最終年度として成果と課題を共有する集約県大会を開催する。

② 期 日 平成25年1月18日 (金)

③ 会 場 花巻市文化会館

④ 参加者 実践区リーダー、市町村担当者、地域連携窓口教員 等 500人

⑤ 内 容

- ・イメージソング斉唱
- ・「みんなで教振！10か年プロジェクト」の経過報告
- ・講演「地域コミュニティ再生への歩み」
NPO法人遠野まごころネット 理事 齋藤正宏 氏
- ・活動紹介：大船渡市立第一中学校生徒会

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

(2) 市町村段階における推進活動

※震災の影響により、陸前高田市は未回答、また、大槌町及び山田町については部分回答。

ア 推進組織の状況 [陸前高田市・釜石市を除く]

単独の組織で教育振興運動を推進	27市町村
他の運動体や組織と合わせて推進	12市町村
その他（他団体が運動を推進）	7市町村

※旧市町村単位の組織も1市町村として計上

イ 実践組織の状況 [陸前高田市を除く]

(ア) 実践組織の数

区分	数(割合)
小学校区	229(50.8%)
中学校区	80(17.7%)
公民館区	34(7.5%)
町内会区	73(16.3%)
その他	35(7.1%)
計	451

(イ) 実践組織が取り組む主題の数（のべ数） [陸前高田市を除く]

区分	主題の数
学習活動	716
社会参加	648
自然体験	161
郷土芸能	201
文化芸能	146
生活健康	560
世代間交流	335
勤労体験	146
国際理解	38
スポーツ・レクリエーション	206
その他	136
計	3,293

5 学校支援地域本部事業

学校と地域の連携体制を構築し、ボランティアによる多様な形態の教員支援を行い、地域全体で学校教育を支援するとともに、地域の教育力を向上させるため、学校支援地域本部事業を実施した。

（国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施）

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

(1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

ア 委員会の開催

(平成24年8月22日、平成25年2月20日)

イ 合同研修会の開催

(平成24年6月1日 78人)

ウ 実地調査

(陸前高田市、奥州市)

(2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	本部数
盛岡市	15
八幡平市	—
雫石町	—
葛巻町	—
岩手町	—
滝沢村	—
紫波町	—
矢巾町	1
花巻市	—
遠野市	2
北上市	—
西和賀町	1
奥州市	5
金ケ崎町	—
一関市	3
平泉町	1
大船渡市	1
陸前高田市	11
住田町	—
釜石市	2
大槌町	—
宮古市	3
山田町	—
岩泉町	—
田野畑村	1
久慈市	1
洋野町	4
野田村	1
普代村	1
二戸市	—

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

軽米町	2
九戸村	1
一戸町	2
計	58本部

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

放課後子ども教室推進、青少年団体の支援等を通じ、多様な体験活動の充実を図った。
また、社会教育施設における体験活動の内容の充実を図り、成果の普及に努めた。

1 放課後子ども教室

地域に根ざした多様な活動の機会を提供するため、放課後子ども教室事業を実施した。子どもたちの放課後における安全・安心な居場所づくりを進めた。

（国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施）

(1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

ア 促進委員会の開催

（平成24年8月22日、平成25年2月20日）

イ 指導者合同研修会の開催

（平成24年6月29日 180人、9月11日 149人、10月13日 86人）

ウ 実地調査

（陸前高田市、奥州市）

(2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	運営委員会	子ども教室数
盛岡市	○	6
八幡平市	—	—
雫石町	—	—
葛巻町	○	4
岩手町	—	—
滝沢村	○	2
紫波町	○	4
矢巾町	○	4
花巻市	○	3
遠野市	○	11
北上市	○	3
西和賀町	—	—
奥州市	○	14
金ヶ崎町	○	1
一関市	○	20
平泉町	○	2
大船渡市	—	—

陸前高田市	—	—
住田町	○	2
釜石市	○	4
大槌町	—	—
宮古市	○	9
山田町	—	5
岩泉町	—	—
田野畑村	○	1
久慈市	○	8
洋野町	○	5
野田村	—	1
普代村	○	1
二戸市	○	6
軽米町	○	4
九戸村	○	4
一戸町	○	5
計	25市町村	115教室

2 少年団活動の支援

(1) 子ども会等少年団体の組織状況

（平成24年5月1日現在）

団体名	団体数	会員人数
ボーイスカウト	18	514
ガールスカウト	12	234
地域子ども会	13	32,772

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

(2) 少年団体の活動状況

団体名	主な事業
日本ボーイスカウト岩手連盟	指導者育成事業／プログラム事業
ガールスカウト日本連盟岩手県支部	リーダー養成講習会／ガールスカウト支部ギャザリング
岩手県子ども会育成連合会	子ども会活動活性化事業／指導者世話人研修会

3 青年団体活動の支援

(1) 組織状況 (平成24年5月25日現在)

団体名	構成団体数	会員人数
岩手県青年団体協議会	13	570

(2) 事業内容

ア 第59次青年問題研究集会

期 日……平成25年1月26日～27日

場 所……岩手県青少年会館

イ 第61回岩手県青年大会

(ア) 体育部門

期 日……平成24年8月4日～5日

場 所……遠野市

種 目……バスケットボール、軟式野球、柔道、フットサル

(イ) 文化部門

期 日……平成24年9月2日

場 所……岩手県青少年会館

種 目……郷土芸能、人形劇、写真、生活文化

ウ 第61回全国青年大会

期 日……平成24年11月9日～12日

場 所……日本青年館及び東京周辺各会場

種 目……バレーボール、バスケットボール、バドミントン、軟式野球、卓球、柔道、剣道、ボウリング、フットサル、演劇、人形劇、合唱、郷土芸能、写真展、生活文化展、意見発表

4 青年教室・講座

項 目	開設数	参加者数	内 容
30人以上で20時間以上	0教室(0市町村)	0人	1 人間関係に関すること
上記以外(自立開設)	28教室(9市町村)	2,253人	2 市民性、社会性に関すること
			3 職業、家庭に関すること
合 計	28教室(9市町村)	2,253人	4 郷土理解に関すること

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

5 青少年教育施設の利用状況

(1) 運営の基本方向

次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境の中で規律ある共同生活を体験させ、友情・協同・奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与し得る自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。

（生活方針）「規律」「友情」「協同」「奉仕」

陸中海岸青少年の家は、東日本大震災津波後の平成23年5月以降、2小学校の仮校舎として活用され、青少年施設としての機能を停止させてきたが、平成24年4月からは、山田町立船越小学校の仮校舎を継続しつつ、3名の社会教育主事を配置して、青少年教育施設としての事業を再開した。

(2) 青少年の家の利用者数 [単位：団体、人]

	利用団体数	実利用者数	延利用者数
県南青少年の家	511	25,457	41,389
陸中海岸青少年の家	421	15,062	20,508
県北青少年の家	400	20,750	28,675
計	1,332	61,269	90,572

(3) 県北青少年の家スケート場利用者数 [単位：人]

	研修利用者数	普通利用者数	計
幼児	225	781	1,006
小学生・中学生	3,408	5,855	9,263
高校生・大学生	198	141	339
一般	797	8,644	9,441
計	4,628	15,421	20,049

(4) 類型別実利用者数 [単位：人]

		県南青少年の家	陸中海岸青少年の家	県北青少年の家
事業参加	施設主催事業	3,729	3,302	3,706
	県主催事業	622	34	364
学校利用	大学・短大	601	1,250	137
	各種学校	866	0	197
	高等学校	5,197	656	1,055
	中学校	6,035	2,312	2,117
	小学校	10,269	3,674	6,241
地域団体利用	サークル(勤労青年)	53	120	99
	サークル(一般)	1,509	0	533
	子ども会	2,390	748	810
	スポ少団体	4,286	3,200	3,071
	児童館・公民館	1,039	163	594
	幼稚園・保育園	239	1,256	922
企業体		2,155	247	603
その他		2,399	3,546	301
合計		41,389	20,508	20,750

第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、幼児期からの家庭での取組を支援するとともに、子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力をしつつ、家庭教育支援を推進した。

1 学習機会の提供

親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供した。

(1) 子育て・親育ち講座

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

ア 目的……家庭教育や子育てに関する広域的な現状と課題を踏まえ、家庭教育の充実を図る。

イ 期 日……	盛岡教育事務所	平成24年11月27日	60人	
	中部教育事務所	平成24年11月 9日	73人	
	県南教育事務所	平成24年 9月 1日	39人	
	沿岸南部教育事務所	平成24年 7月 8日	91人	
	宮古教育事務所	平成24年 8月 1日	36人	9月 4日 29人
	県北教育事務所	平成24年11月 9日	54人	

ウ 内 容……子育て支援を促進する学習機会の提供

(2) 子育て・親育ち講座 (国庫補助事業 市町村への補助事業)

ア 目的……親等が多数集まる機会を利用して、子どもの心理や親子の関係について学習する。

イ 期 日……平成24年5月～平成25年3月

ウ 内 容……遠野市、金ヶ崎町、平泉町、久慈市、洋野町、軽米町の6市町において、次の機会を利用して各種講座を実施した。

- ① 幼児期講座
- ② 小学校入学時講座 (就学時健診等の機会を活用)
- ③ 中学校入学時講座 (入学説明会等の機会を活用)
- ④ 父親の家庭教育参加促進事業

エ 受講者数…9,466人

2 子育て支援体制の充実

地域との関わりの中で家庭教育や子育てを行うことが出来る支援体制の整備を図る。

(1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

- ① 国庫委託事業の基本的方針等について 平成24年8月22日
- ② 国庫委託事業の成果・課題等について 平成25年2月20日

(2) 広域家庭教育支援体制整備(教育事務所ごと)

(3) 家庭教育支援推進事業

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

金ヶ崎町、久慈市、軽米町、遠野市、平泉町において実施した。

(4) 子育てサポーター養成講座

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

ア 目的……子育てに関する専門的な知識や技能を有し、地域における子育てサークルの育成や子育てネットワークの構築に指導的な立場で携わる子育てサポーターを養成する。

イ 期日及び内容……次の4つのテーマについて、それぞれ1泊2日の日程で講座を実施した。

[生涯学習推進センター]

(延べ人数)

①	平成24年 6月21日～22日	子育て支援の重要性	51人
②	平成24年 7月26日～27日	子どもの発達とカウンセリング	51人
③	平成24年 8月30日～31日	子育て支援の実際	43人
④	平成24年10月 4日～ 5日	これからの子育て支援	49人

[沿岸南部教育事務所]

①	平成24年 8月23日～24日	子育て支援の重要性	45人
②	平成24年 9月20日～21日	子どもの発達とカウンセリング	43人
③	平成24年10月25日～26日	子育て支援の実際	39人
④	平成24年11月21日～22日	これからの子育て支援	45人

ウ 修了生 センター40人、沿岸南部20人

エ 岩手県子育てサポーターの認定

本講座修了者を「岩手県子育てサポーター」として認定、登録した。

岩手県子育てサポーター認定者数：415人、登録者数：241人（平成24年度末現在）

(5) 子育て支援ネットワークの充実

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

ア 目的……地域における子育て支援に指導的な立場で携わる子育てサポーターや子育て支援団体の資質の向上を図るとともに、相互のネットワークを形成することにより、本県の家庭教育の充実に資する。

イ 期日……生涯学習推進センター 平成24年11月16日 49人

ウ 内容……講演、ワークショップ、情報交流会等

3 学習情報の提供と相談体制の充実

様々なメディアを活用して、家庭教育・子育てに関する情報を全ての親に提供するとともに、家庭教育に悩む親等が気軽に相談できる窓口を設置し、その周知に努めた。

(1) 子育て電話相談「すこやかダイヤル」

ア 目的

家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話(面接)による相談を行い、家庭教育の充実に図る。

イ 内容

生涯学習推進センターに設置する専用電話「すこやかダイヤル」により、相談員が親等の家庭教育に関する相談に応じる。

【すこやかダイヤル】

電話番号：0198-27-2134

開設期間：通年(祝日、年末年始は除く)

第3章 教育施策の推進状況

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

相談対応：平日10時～17時は電話、夜間

・休日はFAX、留守番電話

ウ 相談件数 736件

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	44	6.0%
しつけ全般	60	8.1%
遊び・友だち	38	5.2%
家庭・環境	61	8.3%
知能・ことば	8	1.1%
いじめ・不登校	18	2.4%
虐待・育児不安	26	3.5%
心理・性格	104	14.1%
集団生活・社会性	44	6.0%
学習・進路	22	3.0%
その他	311	42.3%
計	736	100 %

(2) 子育てメール相談

ア 目的

子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親等、すべての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した家庭教育相談、情報提供を行う。

イ 内容

生涯学習推進センターが運営する「まなびネットいわて」を活用し、メール相談者に対する相談員によるアドバイスのメール回答や、配信希望登録者へのメールマガジン配信（毎週木曜日）等の情報提供を行う。

ウ 相談件数 445件（トップページカウント数4,171件）

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	38	8.6%
しつけ全般	37	8.3%
遊び・友だち	15	3.4%
家庭・環境	45	10.1%
知能・ことば	1	0.2%
いじめ・不登校	34	7.7%
虐待・育児不安	46	10.3%
心理・性格	58	13.0%
集団生活・社会性	20	4.5%
学習・進路	20	4.5%
その他	131	29.4%
計	445	100 %

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第1 多様な学習活動を支援する環境の整備充実

学校教育ではぐくまれる「生きる力」を基盤とし、変化の激しい社会において、各個人が自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身に付けることができるよう、学習情報提供や相談体制の充実、普及奨励、学習成果を生かす環境づくりなど、生涯にわたって学習を継続できるようにするための支援や環境等に取り組んだ。

1 生涯学習社会の実現を目指した推進体制の充実

近年における社会経済の急激な変化に伴う社会構造の変化、高度情報化や国際化の進展等の一方で、高齢化社会の進行も一層顕著になってきている。

生涯学習の推進においては、このような社会の変化に適切に対応しながら、一人一人が生きがいを感じながら学びを継続するとともに、学んだ成果を適切に生かしていくことが求められている。

平成18年12月には、時代の変化に対応すべく、教育基本法に「生涯学習の理念」(第3条)が新しく規定されたことをはじめ、「教育の目標(第2条)」、「家庭教育(第10条)」、「社会教育(第12条)」、「学校、家庭及び地域住民等の連携協力(第13条)」等、学校教育のみならず、生涯学習・社会教育関係の規定の充実も図られた。

本県においても、一人一人が真に生きがいのある人生を創造するとともに、東日本大震災津波からの復興に向けた活力に満ちた地域社会を築くための施策の展開が求められている。

(1) 岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議の開催

生涯学習に関する基本的な施策を調査審議し、もって本県における生涯学習の総合的な振興を図るため、次の会議を開催した。

なお、平成19年度まで生涯学習審議会の開催を年1回とし、社会教育委員会議を年2回開催してきたが、両会議の関係は非常に密接であることから、平成20年度以降、全員の委員が兼任し両会議を同時開催することとした。

【岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議】

ア 期日

第1回 平成24年7月23日

第2回 平成25年2月5日

イ 出席

第1回 委員16人中15人出席

第2回 委員16人中11人出席

ウ 内容

(ア) 平成24年度主要施策について

a 生涯学習文化課

b 学校教育室

- c スポーツ健康課
- d 県立生涯学習推進センター
- e 県立図書館
- f 県立博物館
- g 県立美術館
- h 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団

- (イ) 平成24年度生涯学習文化課主要施策の進捗状況について
- (ウ) 平成24年度社会教育功労者表彰・優良公民館表彰、優れた地域による学校支援活動推進にかかる文部科学大臣表彰に係る選考について
- (エ) 平成25年度社会教育関係団体活動費補助金の交付について
- (オ) 平成24～25年度協議テーマ「学びを通じた地域づくり・社会づくり～東日本大震災津波からの復興に向けた社会教育の役割～」について

2 連携と協力による生涯学習の普及奨励

(1) 学習意識の啓発

県民の生涯学習に対する理解と意欲を高め、学習活動の充実を図るため、生涯学習推進センターにおいて、県内全市町村とのネットワークによる生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」等により、学習情報の提供や広報活動に努めた。なお、平成17年2月より、携帯電話によるアクセスも可能となっている。

ア 生涯学習情報提供事業

- (ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」
 - a 情報量…………… 4,171件 [平成23年度 6,456件、 2,285件減]
 - b 利用件数…………… 12,933件 [平成23年度12,875件、 58件増]
 - c トップページカウント数…… 33,630件 [平成23年度20,571件、 13,059件増]

イ 生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」の発行

- (ア) 発行部数…………… 400部 [平成23年度400部] ※(県内小中学校へメール配信617件)
- (イ) 年間発行回数…………… 4回 [平成23年度4回]

(2) 学習活動の支援

県民の学習活動の成果を地域社会に生かすことができるよう生涯学習ボランティア活動推進事業を実施するとともに、所外学習情報提供システム「まなびネットいわて」において、広域的な学習機会と学習情報の提供に努めた。

また、電話による学習相談を行うとともに生涯学習推進専門研修講座を行った。

ア 生涯学習ボランティア活動推進事業（生涯学習推進センターボランティア登録数）

660人 [平成23年度622人、38人増]

イ 電話相談「マナビコール」の開設

- (ア) 開催日……………毎週月～金曜日
- (イ) 時間……………9時～17時
- (ウ) 相談員……………生涯学習推進センター専門職員
- (エ) 相談件数……………126件 [平成23年度176件、50件減]

第2 生涯にわたる学習機会の充実

生涯学習の中核を担う社会教育を充実するとともに、家庭教育をはじめとした生涯にわたる学習機会の充実を図り、自立した個人の育成や地域コミュニティの形成を促した。

1 成人の学習活動の支援

(1) 一般成人教育

ア 学級講座（成人大学講座等）

	市町村数	学級数	受講者数
成人大学講座	9	96	5,099
成人学級・講座	23	1,020	40,930
その他	18	265	10,375

イ 生涯学習ボランティア活動推進事業

県民の学習成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の整備に資する。

(ア) ボランティア登録者

登録者数……660人（生涯学習推進センター）

(イ) ボランティアの研修

岩手県読書をすすめるつどい

平成25年2月9日 アイーナ 180人参加 講演及び事例発表

ウ 成人団体活動の支援

(ア) P T Aへの補助

補助団体	補助対象事業	事業内容	補助金額
(一社) 岩手県P T A連合会	家庭教育セミナー	○平成24年9月15日、紫波地区(矢巾町)、223人 ○平成24年11月10日、二戸地区(二戸市)、292人 ○講演、パネルディスカッション等	150千円
	岩手県P T Aリーダー研修会	○平成24年7月7日 ○盛岡市 ○講話及び説明、意見交流 ○参加者数463人	
	市町村P T A連合会	○33市町村 ○青少年の健全育成	
	会報発行	○「P T Aいわて」 ○会員及び関係機関等 ○13,000部×3回	
岩手県高等学校P T A連合会	研究協議会	○平成24年6月6日 ○サンセール盛岡 ○講演 ○参加者数269人	120千円
	会報発行	○「ポローニア」 ○会員及び関係機関等 ○32,000部×2回	
	母親委員研修会	○平成24年7月11日 ○盛岡市ホテルルイズ ○発表・講演 ○参加者数225人	

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

岩手県国公立幼稚園PTA連絡協議会		120千円	
研究大会	○平成24年6月28日 ○講演・研究協議	○一関市総合体育館 ○参加者数338人	
ブロック研修会	○平成24年6月～25年2月 ○講演、実践交流会	○4ブロック ○参加者数410人	
会報発行	○2,700部×1回		

(イ) 岩手ユネスコ協会連盟への支援

事業名	実施期日	実施場所	対象及び人数		事業内容
			対象	人数	
東北ブロック・ユネスコ活動研究会岩手大会	11月13日～14日	平泉町	東北ブロック連絡協議会、県内ユネスコ協会会員、一般県民	320人	・記念講演「歴史の力・文化の力」 ・基調講演「平泉の浄土について」 ・パネル討議「地域遺産継承の意義を考えよう」 ・活動紹介 ・エクスカージョン(中尊寺、毛越寺)
ユネスコ活動顕彰事業(第17回いわてユネスコ賞)	11月27日(選考)	サンセール盛岡	ユネスコ賞選定委員会	12件	・科学賞：岩手高校自然科学部 ・文化賞：田野畑村立田野畑小学校 花巻市立大迫中学校 遠野市立小友中学校 ・活動奨励賞：二戸市立福岡小学校 盛岡中央高校 北上アミューズコーラス隊 ・教育賞：カシオペア環境研究会 ・特別賞：千葉ローズマリー・アン氏 盛岡商業高校、一関修紅高校、宮古水産高校
	12月3日	盛岡市等	県内小・中・高校の児童生徒及び教員、青少年活動指導者等		
	12月4日				
	12月11日				
	12月12日 12月13日				
ユネスコ活動研修会(第9回岩手県高校ユネスコ研究大会)	2月1日～2日	国立岩手山青少年交流の家	高校生、教員、ユネスコ会員、行政担当者、一般県民等	210人	テーマ「届けよう平和の心 持続可能な未来を」 ・講演「平和の心を世界に～新渡戸博士に学ぶ～」 講師 藤井 茂 氏 ・体験発表 ・分科会「平和」「他文化共生」「人権」「世界福祉」 ・全体会(分科会学習成果発表等) ・交流学习
高校ユネスコ活動充実事業	通年	盛岡市他	県高等学校ユネスコ委員会及び教員	—	県高等学校文化連盟国際理解専門部ユネスコ委員会と連携し、活動の促進を図り、助成
ユネスコ国際理解推進講師事業(地区講演会支援)	5月26日	二戸市浄法寺天台寺の湯	ユネスコ関係者他	25人	演題「ユネスコと二宮尊徳」 講師 佐々木 満 氏
	7月21日	北上市日本現代詩歌文学館	会員、一般市民	100人	演題「中国四方山話」 講師 伊藤 彰 氏
	11月16日	花巻市立宮野目中学校	生徒、教職員、一般、会員	240人	演題「震災・復興の先に世界を見る」 講師 加藤 哲郎 氏
	8月2日	ホテルサンルート一関	高校生、一般、会員等	80人	演題「その時、パリ(審査委員会)では」 講師 千葉 信胤 氏
ユネスコ運動普及及広報活動(会報の発行及び普及講演会の実施)	5月20日	県内及び講演会等にて配布	ユネスコ協会、教員、県民	1100部	29号
	8月30日			400部	30号
	12月1日			500部	31号
	8月2日	花巻市 グランシェール花巻	ユネスコ関係者、県民	200人	ユネスコ活動写真展

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

ユネスコ運動普及及広報活動（会報の発行及び普及講演会の実施）	11月18日	盛岡市アイーナ	一般県民		「ワンワールドフェスタ inいわて」で活動紹介展示
市町村ユネスコ活動促進事業	5月19日	盛岡市 サンセール盛岡	ユネスコ協会員、市民	60人	講演「世界遺産『平泉』の登録とその後」 県立図書館長 中村 英俊 氏

(2) 女性教育

女性の地位向上と充実した人生の創造のため、多様で高度な学習機会を提供するとともに、女性の持つ豊かな感性を地域づくりに役立てる社会参加を促進した。

また、自主的な団体活動を促進するための指導者の養成に努めた。

ア 女性学級・講座

女性のライフスタイルや家庭生活の変化に伴い、女性の学習志向が一層高まり、婦人問題、生活上の課題を中心に、市町村を主体として計画的な学習が一定期間にわたり、継続して行われた。

【学級・講座開設状況】

区分	市町村数	学級数	学級生数
女性学級・講座	20	439	17,131
その他	12	37	2,601

イ 女性団体活動の支援

本県の女性団体は、女性の地位と福祉の向上及び相互の連携を図ることを目的とし、岩手県女性団体連絡協議会を組織している。

県教育委員会は、岩手県地域婦人団体協議会が行う社会的、公共的に意義のある事業に対してその経費の一部を補助し、また、その団体の自主性を尊重しつつ求めに応じて助言指導を行うなど、その活動の支援を図った。

【組織状況（平成24年5月21日現在）】

団体名	単位団体数	会員数
岩手県地域婦人団体協議会	38	9,331

(ア) リーダー研修会（平成24年6月19日～20日 青少年会館 145人）

- a 講演「婦人会の組織の活性化を目指して」
講師 佐藤 公一 氏（遠野市立鱒沢小学校校長）
- b 講演「複十字シールについて」
講師 松尾 洋一 氏（岩手県予防医学協会総務部長）
- c 被災地からの報告
- d リラックスタイム・交流会
- e 講話「ふるさとを想うころ一つに」
講師 松田 和子 氏（岩手県商工会女性部連合会会長）
- f 講話「震災原発迷走政治 日本の明日を考える」
講師 佐藤 剛 氏（元岩手日報社編集委員）

(イ) 第57回岩手県地域婦人大会（平成24年10月24日～25日 花巻温泉ホテル千秋閣 1,300人）

2 高齢者の学習活動の支援

○ 高齢者学級・講座

高齢者の高度で多様なニーズに対応するため、各市町村において今日的課題に関する講座や世代間交流事業などが、一定期間にわたり、継続して行われた。

区 分	市町村数	学級数	学級生数
高齢者学級・講座	25	561	38,176
その他	8	60	5,763

3 視聴覚教育

○ 視聴覚教育の推進

教育関係者には、視聴覚教材、機材を適切に活用し学習効果を高めるとともに、放送など視聴覚メディアの活用と併せ、メディアの研究開発による教育の機会の拡充を図ることが要請されている。また、指導者養成に当たっては、機器の操作や指導方法等について、専門的研修を実施し、指導法の浸透を図った。

ア 視聴覚教育指導者研修（社会教育関係）

視聴覚教育総合全国大会（東京都渋谷区） 平成24年 8月2日～3日 2人参加

イ 視聴覚ライブラリー専任職員研修会

視聴覚教育協議会専任職員等研修会（生涯学習推進センター）平成24年6月14日～15日 9人参加

ウ 16ミリ映写機操作技術講習会

[単位：回、人]

教育事務所	回数	修了者数
盛岡	3	46
中部	1	9
県南	2	31
沿岸南部	0	0
宮古	1	5
県北	0	0
計	7	91

エ 教材フィルム利用状況

[単位：本、人]

視聴覚ライブラリー名	利用本数	観覧者数
中央	1,416	25,070
花巻図書館	362	6,252
北上市	67	2,406
西和賀町	0	0
県南第一	1,090	28,082
沿岸第一	497	6,500
釜石市	33	466
遠野市	51	1,214
大槌町	0	0
久慈市	56	1,140
県北第二	188	3,552
二戸	280	4,166
計	4,040	78,848

4 指導体制の充実

社会教育活動を総合的、効果的に推進するため、市町村に社会教育主事が28人、社会教育指導員が61人配置されている。

県民の学習要求が高度化・多様化する中、社会教育関係職員の専門性が一層強く求められており、現職教育は重要な領域となっている。

平成24年度は、以下の研修等を行った。

(1) 新任社会教育関係職員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年5月9日～10日 | 生涯学習推進センター | 111人

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項及び職務に関する研修

(2) 生涯学習情報提供システム担当者研修会

【期日】平成24年5月14日

【会場 | 参加者数】生涯学習推進センター | 計28人

【内容】生涯学習情報提供システムの運用及び情報の更新、入力等に関する研修

(3) 社会教育指導員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年5月23日～24日 | 生涯学習推進センター | 95人

【内容】社会教育指導員としての任務、各分野における専門的事項に関する研修

(4) 放課後子どもプラン指導者合同研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】(第1回)平成24年6月29日 | 生涯学習推進センター | 180人

(第2回)平成24年9月11日 | 生涯学習推進センター | 149人

(第3回)平成23年10月13日 | いわて子どもの森 | 83人

【内容】「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ」の指導者等の情報交換・情報共有・連携の促進、資質の向上を図る研修

(5) 岩手県社会教育委員研究大会兼岩手県公民館大会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年7月12日～13日 | 北上文化交流センター | 300人

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項、職務及び今日的な在り方に関する研修
公民館の在り方等に関する研修

(6) 岩手県社会教育主事・公民館職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年8月24日 | 盛岡市中央公民館 | 64人

【内容】社会教育職員としての職務及び各分野における専門的事項に関する研修

(7) 岩手県社会教育指導員等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年11月1日 | 生涯学習推進センター | 75人

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項、及び専門性向上に関する研修

(8) 資質向上専門研修

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年9月19日 | 生涯学習推進センター | 48人

【内容】パワーポイントによる効果的なプレゼンテーション作成に関する研修

(9) 事業周知・広報スキルアップ専門講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年11月29日 | 生涯学習推進センター | 51人

【内容】ワードを活用した効果的な事業周知広報作成に関する研修

(10) 対人スキルアップ専門研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年11月19日 | 生涯学習推進センター | 87人

【内容】職場等における必要不可欠なコミュニケーション能力の実践的養成に関する研修

(11) 事業プログラム開発専門講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年8月22日 | 生涯学習推進センター | 22人

【内容】社会教育事業プログラム作成に関する専門的・技術的研修

(12) 移動研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】

期 日	会 場	参加者数
平成24年 6 月 4 日	久慈市	39人
平成24年 6 月 5 日	花巻市	24人
平成25年 1 月30日	平泉町	13人

【内容】市町村の社会教育・生涯学習事業の充実を図るための専門的研修

(13) 図書館等職員研修

ア 新任図書館長等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年 4 月26日 | 県立図書館 | 26人

【内容】(ア) 新任の図書館長等を対象にした基礎的研修

(イ) 講話 震災を通して考える市町村立図書館等の運営

(ウ) 講義 県立図書館等概況説明

(エ) 情報・意見交換

イ 生涯学習ボランティア活動推進事業

県民の学習成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の整備に資する。

岩手県読書をすすめるつどい (出典：岩手県立図書館統計資料)

平成25年2月9日 アイーナ 173人参加 講演及び事例発表

(14) 図書館等職員研修 (出典：『要覧2013 (平成25年度版) 岩手県立図書館編集』)

ア 新任図書館長等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年11月27日～30日 | 県立図書館 | 5人

【内容】文部科学省主催研修の動画受信による研修

イ 初任職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年5月10日～11日 | 県立図書館 | 38人

【内容】

(ア) 市町村立図書館及び公民館図書室の経験年数3年未満の職員を対象にした実務に関

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

する研修

(イ) 講話（図書館の現状と今後のありかたについて）

(ウ) 講義（被災地支援と県立図書館の役割、資料の受入～配架、図書館と著作権、レファレンスサービス等）

(エ) 情報・意見交換

(オ) 館内見学

ウ 中堅職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年7月18日～19日 | 県立図書館 | 45人

【内容】(ア) 講義（問題利用者への対応、市町村立図書館のサービス内容等）

(イ) 情報・意見交換

エ 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成24年10月19日 | いわて県民情報交流センター（アイーナ） | 55人

【内容】

(ア) 基調講演（人々の役に立つ図書館を目指して）

(イ) 事例発表（札幌市図書館の電子図書館への取り組み）

（浜松市立図書館の学校図書館支援）

(ウ) 全体会

オ 市町村職員専門研修

期 日	会 場	参加者数
平成24年6月22日	県立総合教育センター	44人
平成24年9月14日	一関市立川崎図書館	15人
平成24年9月19日	大船渡市立図書館	7人
平成24年10月5日	二戸市立図書館	19人

(15) 文部科学省・国立教育政策研究所研修講座

ア 公民館職員専門講座

公民館職員に求められる専門的・実践的な知識技術についての研修

【期日 | 会場】平成24年5月22日～5月25日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】講義、研究協議、事例研究等

【参加者数】2人（県立生涯学習推進センター、中部教育事務所）

イ 全国生涯学習センター等研究交流会

生涯学習センター等の相互の連携協力を推進するため、当面する諸課題について研究協議する。

【期日 | 会場】平成24年6月7日～8日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講義、事例研究、総括討議等

【参加者数】なし

ウ 全国社会教育主事研究協議会

都道府県・政令市の社会教育主事が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成24年5月14日～16日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】基調講演、事例発表、分科会、全体会等

【参加者数】1人（生涯学習文化課）

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

エ 新任図書館長研修

公共図書館の管理運営の向上及び情報提供サービスの高度化を図る

【期日 | 会場】

平成24年11月27日～30日 | (主)国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、(副)岩手県立図書館

【内容】講義、実践報告等

【参加者数】 5人 (県立図書館、北上市立中央図書館、一関市立川崎図書館、一関市立室根図書館、大槌町立図書館)

オ 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修

鑑賞教育の重要性を踏まえ、全国の小中学校の教員と美術館の学芸員等が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成24年7月30日～31日 | 国立西洋美術館等

【内容】講義、研究討議、グループワーク等

【参加者数】 2人 (盛岡市立上田小学校、県立美術館)

カ 地域教育力を高めるボランティアセミナー

学校・家庭・地域の連携ネットワークの推進及び地域課題の対応方策等に視点をあて、地域住民等が様々な視点から企画立案の在り方等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】平成24年12月13日～14日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】研究協議、講義、事例研究、実践研修等

【参加者数】 1人 (県立生涯学習推進センター)

キ 社会教育主事専門講座

国の生涯学習施策についての理解をもとに研究協議を行い、都道府県・指定都市における生涯学習社会教育の充実・発展を図る立場としての力量を高める。

【期日 | 会場】平成24年11月14日～16日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】特別報告、講義、シンポジウム、事例研究、グループ討議等

【参加者数】 1人 (県立生涯学習推進センター)

ク 社会教育主事講習への派遣

岩手大学社会教育主事講習

【期日 | 会場】平成24年7月17日～8月8日 | 岩手大学、いこいの村岩手

【内容】講義、演習、グループ研究等

【参加者数】 21人：市町村職員10人、小学校教員4人、中学校教員3人、高等学校教員2人、スポーツ振興事業団職員2人

5 社会教育施設の整備充実 (1 県立生涯学習推進センター)

(1) 運営の方針

本県生涯学習推進の中核機関として、県民の学習活動を支援、促進するため、生涯学習に関する情報提供、調査研究及び指導者養成等の事業を総合的、効果的に推進するとともに、市町村及び関係機関・団体との連携強化に努め、本県生涯学習の振興を図る。

(2) 運営の重点

ア 学習情報の提供

生涯学習情報システムなど、多様なメディアを活用した総合的な学習情報の提供及び学習相談の充実に努める。

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

- (ア) 学習情報データベースの充実と生涯学習情報提供及び学習相談の充実
- (イ) 家庭教育に関する情報提供及び相談の充実
- (ウ) 生涯学習に関する広報活動の充実

イ 調査・研究

生涯学習に関する各種調査を実施するとともに、生涯学習推進上の諸課題に関する研究を推進し、本県生涯学習の振興に役立てる。

- (ア) 生涯学習及び社会教育の推進状況等に関する調査の実施
- (イ) 生涯学習推進上の諸課題に関する研究の推進
- (ウ) 生涯学習推進研究発表会の開催

ウ 指導者の養成・研修

生涯学習関係職員及び有志指導者を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成を図る。

- (ア) 生涯学習推進上の課題を踏まえた基本研修、領域別研修、専門研修及び課題別研修の充実
- (イ) 有志指導者の養成研修の充実
- (ウ) 各機関・団体の学習課題に対応した希望研修の充実

(3) 事業等の実施状況

ア 学習情報の提供

- (ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の管理運用
インターネットを活用し、各種の生涯学習情報を県民に提供した。

【生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の利用状況】

分野	利用件数(前年比)	<参考>情報数(前年比)
講座・イベント	3,776 (△1,912)	2,616 (1,990)
施設	698 (△235)	250 (60)
団体・グループ	1,315 (△309)	177 (△392)
指導者	6,494 (2,859)	660 (488)
教材	650 (△345)	468 (0)
計	12,933 (58)	4,171 (△2,285)

- (イ) 生涯学習情報紙の発行

【名称】岩手県立生涯学習推進センター情報

【内容】国・県・市町村における生涯学習の推進状況、県立生涯学習推進センターの事業に関する情報等

【発行部数・回数】50部・年4回

【配布先】県、市町村教育委員会、関係機関及び施設等

- (ウ) 学習相談事業「マナビィコール」

【内容】生涯学習の推進に関する事業や学習活動についての電話相談

電話番号：0198-27-4563（月曜日～金曜日の9時～17時）

【相談件数】平成24年度126件

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

(エ) 子育て相談「すこやかダイヤル」

【内容】 子育てに関する悩みや不安についての電話相談、面接相談

電話番号：0198-27-2134

(月曜日～金曜日の10時～17時、これ以外の夜間、休日はFAX、留守番電話対応)

【相談件数】 平成24年度736件

(オ) 子育て相談「子育ていわてケータイサイト」

【内容】 子育てに関する悩みや不安についての携帯電話メール相談、子育て情報提供

【相談件数】 平成24年度445件

【子育て情報提供】 毎週木曜日メールマガジン配信

イ 調査・研究

(ア) 研究紀要「2012 研究報告 Vol.15 いわての生涯学習」の発行

【部数】 1,800部

【内容】 I 東日本大震災津波をふまえた公民館の役割と課題に関する調査研究

II パネルフォーラム「復興への道程 ～社会教育の果たす役割～」

(イ) 岩手県生涯学習推進研究発表会

【期日】 平成25年2月7日～8日 【会場】 生涯学習推進センター

【参加者数】 145人(延べ215人)

【内容】 a 講演「復興の現状と課題 ～社会教育の視点から～」

b 研究発表・協議「東日本大震災津波をふまえた公民館の役割と課題に関する調査研究」

c パネルフォーラム「復興への道程 ～社会教育の果たす役割～」

ウ 指導者の養成・研修

【生涯学習推進センター利用状況】

利用区分	事業数・団体数(前年比)	利用人数(前年比)
主催事業	20 (+9)	3,206 (+1,752)
随時研修	1 (±0)	32 (+5)
施設利用	33 (△5)	2,573 (△1,242)
その他	36 (△10)	1,198 (△385)
計	90 (△6)	7,009 (+130)

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

【各種研修事業実施状況】 [単位：人]

区分	研修・講座名	期日	受講者数
基本研修	新任社会教育関係職員研修講座	平成24年5月9日～10日	111
領域別研修	社会教育指導員等研修講座	平成24年5月23日～24日	95
	放課後子どもプラン指導者合同研修会 第1回	平成24年6月29日	180
	放課後子どもプラン指導者合同研修会 第2回	平成24年9月11日	149
	生涯学習情報提供・学習相談担当者研修会	平成24年5月14日	28
	学校支援ボランティア推進研修会	平成24年6月1日	78
	家庭教育子育て電話相談員研修会	平成24年10月4日	7
	子育て支援ネットワーク研修会	平成24年11月16日	50
	読書ボランティア研修会	平成24年6月26日	289
	岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会 [共催]	平成24年6月20日～21日	17
	岩手県社会教育主事・公民館職員研修会 [共催]	平成24年8月24日	64
岩手県社会教育指導員等研修会 [共催]	平成24年10月30日	75	
専門研修	被災者支援力向上セミナー	平成24年5月30日 ～平成24年12月7日	170
	事業周知・広報スキルアップ専門研修講座	平成24年11月29日	51
	事業プログラム作成専門研修講座	平成24年8月22日	22
	資質向上専門研修講座	平成24年9月19日	48
	対人関係スキルアップ研修講座	平成24年11月19日	87
	希望移動研修講座（3回、3日）	平成24年6月4日 ～平成25年1月30日	76
養成研修	家庭教育子育てサポーター養成講座 （生涯学習推進センター会場）	平成24年6月21日～10月4日	26
	家庭教育子育てサポーター養成講座 （沿岸南部教育事務所会場）	平成24年8月23日～11月22日	23
岩手県生涯学習推進研究発表会（2日）		平成25年2月7日～8日	145
計			1,791
その他	第1回高等学校卒業程度認定試験	平成24年8月1日～2日	388
	第2回高等学校卒業程度認定試験	平成24年11月10日～11日	341

5 社会教育施設の整備充実（2 県立図書館）

(1) 運営の方針

ア 運営体制の充実と広報活動の推進

- (ア) 図書館の運営に関し協議等を行うため、図書館法第14条に基づく「岩手県立図書館協議会」を置く。
- (イ) 的確な図書館運営に対応するため、派遣研修等により職員の資質の向上に努める。
- (ウ) 県立図書館及び市町村立図書館等の活動に関する情報を広く県民に提供するため、各種印刷物やホームページ等を活用し、広報の充実を図る。

イ 図書館資料の収集、整理、保存と活用の推進

- (ア) 「岩手県立図書館資料収集方針」等に基づき、図書館資料を収集し、各種目録の整備

を行い、県民及び市町村立図書館等の利用に供する。

- (イ) 郷土関係資料の保存機関として、東日本大震災に関する資料についても網羅的な収集、整理、保存に努め、その活用を図る。
- (ウ) 貴重資料の保存及び公開のため、昨年度に引き続きデジタルライブラリーの構築を図る。
- (エ) 県内の市町村立図書館等とのネットワークを構築し、県内総合目録の整備など、多くの県民が図書館資料を利用できる環境の整備を行う。

ウ 相談機能の強化

- (ア) レファレンス・サービスなどの情報提供や読書案内等を通じ、県民の学習活動の支援を行う。また、市町村立図書館等を支援する協力レファレンスや各種の情報提供を行う。
- (イ) 岩手県が抱える課題の解決に向け、ビジネス支援コーナーを引き続き設置するなどしながら、各種相談や情報提供を行う。
- (ウ) 郷土資料に関する各種データベースを構築し、ホームページ等を通じて県民及び市町村立図書館等に提供する。

エ 市町村立図書館等の支援の強化

- (ア) 多くの県民が図書館サービスを楽しむことができるよう、市町村訪問を積極的に実施するなどして市町村のニーズを把握し、図書館運営等に関する助言・支援を行うとともに、協力貸出等の各種支援を実施する。
- (イ) 市町村立図書館におけるレファレンス・サービスや児童サービスの充実、郷土に関する書誌情報の発掘・情報提供、学校図書館との連携など、図書館を取り巻く様々なテーマについて、市町村立図書館等と共同した調査・研究などの取組みを行う。
- (ウ) 市町村立図書館職員を対象とした専門研修など、時宜を得た研修を企画し、実施する。

オ 学習機会の提供と読書活動の奨励

- (ア) 他の社会教育施設や複合施設内の各施設、大学等との連携により、展示会、講演会及び映画会等の学習機会の提供を行うとともに、読書普及活動などに関する県民の活動成果を発表する場を提供する。
- (イ) 「岩手の読書週間」をはじめとする各種週間に合わせ、「岩手県読書をすすめるつどい」などの事業を実施するとともに、県内の読書サークルや各種団体、企業、学校、市町村等に対し、読書普及用の図書の貸出（団体貸出、セット貸出）を行い、県内の読書活動の促進を図る。

カ 関係機関・団体との連携強化

- (ア) 複合施設内の各施設との連携を図り、来館者の多様な学習ニーズに対応する。
- (イ) 県内外の公立図書館、岩手県図書館協会、岩手県読書推進運動協議会、各種ボランティアグループ及び読書グループ等との連携を密にし、図書館サービスの向上や読書の普及・奨励を図る。
- (ウ) 他の社会教育施設、大学や専門機関等との連携を強化し、情報提供等サービスの拡充を図る。

(2) 実施状況

ア 県立図書館協議会開催状況

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

【期日】平成24年11月9日

- 【協議事項】
- ・ 県立図書館利用状況等について
 - ・ 県立図書館事業実施状況等について
 - ・ 平成25年度以降の県立図書館の運営について

イ 広報活動

各種機関誌を発行するとともに、報道機関等への情報提供やホームページの充実に努めた。

ウ 図書館資料の収集（出典：岩手県立図書館統計資料）

岩手県立図書館資料収集方針に基づき図書館資料を収集した。郷土資料については、網羅的な収集に努めた。特に、東日本大震災津波に関する資料収集は各方面に呼びかけ、積極的に取り組んだ。資料収集等の実績は次のとおり。

(ア) 図書資料 [単位：冊]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総冊数
一般用	7,169	9,512	231	586,791
団体用	1,690	86	4,335	119,867
計	8,859	9,598	4,566	706,658

(イ) 視聴覚資料 [単位：点]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数
16ミリ映画フィルム	0	0	0	1,529
ビデオテープ	0	0	149	2,996
DVD	93	133	6	2,131
CD	128	23	22	3,965
レコード	0	0	0	1,492
録音テープ	0	0	0	1,448
レリーフ・巧芸画	0	0	5	97
計	221	156	177	13,658

(ウ) 新聞・雑誌 [単位：タイトル]

区分	年度末総タイトル数
新聞	346
雑誌	5,171
計	5,517

(エ) マイクロフィルム [単位：点]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数
マイクロフィルム	22	0	0	10,568

(オ) 電子資料 [単位：点]

区分	年度末総点数
CD-ROM等	571
オンラインデータベース	17
計	588

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

(カ) 震災関連資料[単位：点](内数)

区 分	年度末総点数
図書資料等	12,563
視聴覚資料	119
計	12,682

(キ) デジタル化資料[単位：点]

資 料 名	24年度デジタル化点数
盛岡砂子他	14

エ 利用者サービス（出典：『要覧2013（平成25年度版）岩手県立図書館編集』）

(ア) 入館者数及び新規貸出登録者数

入館者数………508,099人[前年度比4,151人減]

新規貸出登録者数…6,609人[前年度比336人減]

(イ) 個人への館外貸出数

区 分	冊数又は点数
図書資料	279,281
視聴覚資料	16,882
うちビデオテープ	837
DVD	6,596
CD	9,449

(ウ) 図書館映画会及び読み聞かせ会

映画会は、一般向け46回、児童向け25回、計71回開催した。

また、児童向け読み聞かせ会を65回開催した。

(エ) 参考調査（レファレンス・サービス）

調べものや読書相談等に前年度に比べ1,146件増の延べ13,985件の利用があった。

(オ) ビジネス支援サービス（平成23年6月～）

区 分	総数
利用者数	8,774
相談件数	704
貸出冊数	11,956

注：「利用者数」は（ア）入館者数の、「相談件数」は（エ）の参考調査の件数の、貸出冊数は（イ）図書資料の館外貸出冊数の、それぞれの内数であること。

【ビジネス支援コーナー特別講演等】

講 演 タ イ ト ル	開 催 日	参加者数
「いわて起業家応援フェア」	平成24年7月14日	78
「世界一カンタンなビジネスプランの創り方」	平成25年1月14日	49

(カ) 二次資料の作成

利用者のレファレンスサービス利用の便宜を図るため、二次資料を整備して提供した。

- ・レファレンス事例データベース
- ・国立国会図書館レファレンス共同データベース
- ・郷土関係雑誌目次集

オ 市町村への支援協力（出典：『要覧2013（平成25年度版）岩手県立図書館編集』等）

(ア) 市町村立図書館等職員専門研修

- ・インターネットで使えるレファレンスツール
- ・本の取り扱いと治し方

(イ) 市町村立図書館等への訪問 57回

(ウ) 図書館等調査研究会の開催 委員16人 2回

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

- (エ) 協力貸出
 図書資料： 1,199件、 2,270冊
 視聴覚資料：(延べ20件) 30点

- (オ) 団体貸出
 図書資料： 32団体、 37,701冊
 視聴覚資料：13団体、 25点

カ 展示事業(出典：『要覧2013(平成25年度版)岩手県立図書館編集』等)

(ア) 4階展示コーナー企画展示

実施内容	展示点数	開催期間
復興の先覚者・後藤新平～いわて復興偉人伝～	194	平成24年4月28日～6月10日
いわて郵便ことはじめ	159	平成24年6月15日～7月22日
新渡戸稲造と『武士道』～生誕150年記念～	191	平成24年8月3日～9月23日
第30回啄木資料展	203	平成24年10月5日～11月25日
南部藩の諸芸－能楽を中心に－	167	平成24年12月7日～平成25年1月27日
第33回手づくり絵本・紙芝居展	101	平成25年2月2日～2月11日
いわての歴史シリーズV「いわてに生きる② 山とともに」	89	平成25年2月22日～4月14日

(イ) 各カウンターミニ展示

場 所	開催回数
総合カウンター、児童コーナー、新聞・雑誌コーナー、音と映像コーナー等	81

5 社会教育施設の整備充実 (3 県立青少年の家)

(1) 県南青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域の特性を生かした研修内容の充実を図った。
 (イ) ボランティアの育成と活用による研修活動の充実を図った。
 (ウ) 関連施設・団体との連携による機能の活用を図った。

にわたる効果的な利用の促進に努めた。

- (イ) 施設開放と利用形態の多様化に対応した。
 (ウ) 親しみやすい施設運営と利用者層の拡大に努めた。

イ 研修活動

- (ア) 団体等の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に努めた。
 (イ) 研修プログラム作成のための事前協議の奨励に努めた。
 (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
 (イ) 掲示資料等の収集と研修環境の整備を図った。
 (ウ) 施設・設備の点検と安全の確保に努めた。

ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間

(2) 陸中海岸青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 厳しく限られた環境の下、安全確保を念頭に活動内容の充実にも努め、一部ではあるが事業展開することができた。
 (イ) 近隣市町村を中心に関係者及び関係機関との情報交換を密にし、協力体制の確保及び連携再構築への礎とすることができた。
 (ウ) ボランティアの育成とその活用に努めた。

イ 研修活動

- (ア) 利用団体との事前打ち合わせに丁寧に対応し、利用者(団体)のねらいが達成できるよう支援に努めた。
 (イ) 「ボランティア及び視察研修」の団体に、活動内容の充実の一助として、講師や活動場所等の情報提供に努めた。また、利用時の様々な規則等の理解に協力を求めた。

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

- (ウ) 施設の夜間利用等、利用者のニーズを把握し、柔軟な対応に努めた。
- (エ) 諸活動実施に当たり、事前踏査及び下見に行く等、基本を忠実にし、安全面に十分配慮した。

ウ 利用の促進

- (ア) 管内校長会や主管課長会議等で、一部再開における現状説明の理解と協力の元、利用周知を図った。
- (イ) 近隣市町村への広報や季刊誌等により、利用促進に努めた。
- (ウ) キャラバン活動を積極的に受け入れ、利用の周知及び

促進に努めた。

- (エ) 利用者の立場に立ち、利用者の満足度を高める接遇を心掛け、対応することができた。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の点検・整備に努めた。
- (イ) 活動エリアの環境保全と安全確保に努めた。
- (ウ) 情報収集及び提供に努めた。
- (エ) 船越小学校の学習環境の整備及び支援に努めた。

(3) 県北青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 自然体験プログラムやボランティア養成プログラム、指導者を対象にしたセミナー等、様々なニーズに応えられる事業の展開を図った。
- (イ) 宿泊体験事業の拡大・充実に努めた。
- (ウ) 近隣の社会教育施設や地域団体等との連携強化を図った。

イ 研修活動

- (ア) 団体の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に努めた。
- (イ) 職員研修計画に基づき、各自が設定した課題研究を全員のものとできるよう実践の交流を行った。

ウ 利用の促進

- (ア) 日帰り自主の団体の申込み申請手続きを簡素化し、使いやすい施設を目指した。

- (イ) 施設開放事業を行い広く地域住民に親しまれるよう努めた。

- (ウ) 利用者の意向に沿った管理運営に努め、満足度の向上を図った。
- (エ) 積極的な臨時開所の継続や「出前講座」の実施、月2回の地元FMラジオ番組への電話出演、ホームページ・ポスター・チラシ等で広報活動を展開した。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の安全点検、補修整備を計画的に行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 自然環境に優しい施設及び環境美化に努めた。

【県立県南青少年の家 平成24年度主催事業及び自主事業】

(1) 「かるがも親子体験教室」

理解と関係を深めるとともに、親同士の交流を通して子育てをする仲間づくりを促進する。

【対象】 小・中学生の子どもを持つ家族20家族40人程度

【内容 | 期日 | 参加者数】

- ① 親子でアウトドアクッキング編 | 6月2日 | 39人
- ② 特別編 | 9月1日～2日 | 38人

(2) 自然ワンダークラブ

【目的】 四季を通してさまざまな活動を体験することにより、環境についての考えを深め、自然を大切にしようとする心を育てる。

【対象】 小学校4年生～中学生25人、高校・大学生等ボランティア

【内容 | 期日 | 参加者数】

- ① 夏 川と友だち | 8月25日～26日 | 30人
- ② 秋 山と友だち | 10月13日～14日 | 29人
- ③ 冬 雪と友だち | 1月26日～27日 | 29人

(3) 水と緑のフレンドシップ

【目的】 異年齢集団による野外体験活動等を通して、主体的に活動する心豊かでたくましい青少年の育成を図る。

【内容】 仲間づくりレク、キャンプ、野外炊事、創作活動等

【対象】 小学校5年生～中学生30人、高校・大学生等ボランティア

【期日 | 参加者数】 7月28日～8月1日 | 29人

(4) みんなdeスクラム

【目的】 親子が気軽にさまざまな体験活動を行い、活動の喜びを共有しながら、経験の拡大と参加者相互の交流を図る。

【対象】 特別な支援を要する児童・生徒とその保護者20人、高校・大学生等ボランティア

【内容】 野菜の苗植え体験、収穫体験、野外炊事

【期日 | 参加者数】 6月9日 | 14名

(5) 冬のおもしろ体験ランド

【目的】 冬の自然に触れながら、野外活動の喜びを体験するとともに、創作活動等を通じて参加者相互の交流を図る。

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

- 【内容】餅つき体験、スキー・スケート体験
【対象】小学校4年生～中学生30人、高校・大学生ボランティア
【期日|参加者数】2月2日～3日|19人
- (6) 冬のわくわく創作ランド
【目的】長期休業を利用して、子どもたちに創作活動の機会を提供することで、物作りの楽しさを体験してもらうとともに、参加者相互の交流を深める。
【内容】「LED&メロディごま」製作
【対象】小学校4年生～中学生30人
【期日|参加者数】1月12日|22人
- (7) アドバイザースタッフ養成講座
【目的】児童生徒の学校外活動を援助する高校生・大学生等の育成を図り、施設におけるボランティア活動を推進する。
【内容】ニュースポーツ、創作活動、野外炊事等
【対象】高校生・大学生等ボランティア20人
【期日|参加者数】5月12日～13日|32人
- (8) 集団宿泊指導研修会
【目的】宿泊研修を効果的に実施するための知識・技術の習得を図るとともに、利用団体間の計画調整を図る。
【内容】野外活動、創作活動、情報交換等
【対象】利用団体関係者等
【期日|参加者数】①5月9日|59人
②5月10日|26人
- (9) 県南は～とふるDay
【目的】日常と異なる環境の中で、さまざまな体験活動を通して参加者相互の交流と経験の拡大を図る。
【内容】野外活動、創作活動等
【対象|期日|参加者数】学校不適応児童・生徒|10月24日|17人
- (10) [自主事業] みどりのキャンパスふれあいフェスティバル
【目的】スポーツや創作活動等を通して、県南青少年の家に対する理解と親しみを深めるとともに、生涯スポーツ等への参加の契機とする。
【内容】ニュースポーツ体験、創作体験、作品展、食の祭典等
【期日|参加者数】10月6日～7日|1,433人
- (11) [自主事業]「栗駒山トレッキング」
【目的】秋の山という自然を舞台に、より安全なトレッキングの知識や技術を身につけながら余暇の充実を図る。
【内容|期日|参加者数】栗駒山トレッキング|10月10日|21人
- (12) [自主事業] 県南青少年の家所長杯「サッカーフェスティバル」
【目的】スポーツを通して、青少年の健全育成を図るとともに、参加団体相互の交流を促進する。
【内容】サッカー試合、サッカー講習会
【対象】サッカースポーツ少年団15チーム
【期日|参加者数】10月6日～7日|1,094人
- (13) [自主事業] 親子deチャレンジ!
【目的】体験活動をとおして親子のふれあいを高め、同行家族との親睦を深めるとともに、郷土の素晴らしさを知る。
【内容】いわて子どもの森での体験活動、カーリング、スケート、プラネタリウム体験、わんこそば体験、三ツ石神社、報恩時見学
【対象】小中学生の子どもをもつ10家族25人
【期日|参加者数】11月16日～17日|31人
- (14) [自主事業] レッツ! スケート
【目的】青少年の余暇利用として、冬季野外活動の機会を提供するとともに、スケートを楽しみながら親子のふれあいや、参加者相互の交流を深める。
【対象】小学生～家族、一般40人
【期日|参加者数】①1月26日、②2月2日|①81人、②75人
- (15) [自主事業] 親子de手作りクリスマス
【目的】親子で共同の創作体験や交流活動を行うことにより、相互の理解と関係を深めるとともに、親同士の交流を通して子育てをする仲間作りを促進する。
【対象】小・中学生の子どもをもつ家族、
【内容|期日|参加者数】
①森のクリスマスキャンドル|12月1日|39人
②クリスマスリース|12月1日|34人
③森のクリスマスキャンドル|12月8日|34人
④クリスマスリース|12月8日|19人

【県立陸中海岸青少年の家 平成24年度主催事業及び自主事業】

※ 震災後、24年4月以降も船越小学校が校舎として利用のため、平成24年度主催事業及び自主事業は縮小して実施

- (1) 自然体験活動セミナー
【目的】自然体験活動の普及を図るため、指導者の養成をねらい、実践活動をとおして資質の向上を図る。
【対象】学校教育・社会教育担当者、教員等 各コース20名程度
【内容|期日|参加者数】
4月14日 16人
- (2) 「家族ふれあい塾」
【目的】自然体験活動をとおして、親子の相互理解を深めるとともに、家族同士の交流を図り、子育てをする仲間作りを促進する。
【対象】15家族程度
【内容|期日|参加者数】
家族で楽しもう!アウトドア料理と鯨山登山
5月19日～20日 5家族 16人
- (3) グラウンドゴルフ大会
【目的】高齢者のためのいきいきスポーツ大会及び交流促進
【対象】沿岸地区在住概ね50歳以上の県民100人程度
【期日|参加者数】①5月30日 121人 ②8月28日 54人
- (4) 自然体験塾
【目的】自然体験活動をとおして、思いやりの心や自然を大切に
する心を育み、参加者相互の交流を図る。
- ア 海の子野外教室
【内容】キャンプ体験、ナイトハイク、流しそうめん、砂浜散策等
【対象】小学5年生～高校生 30人
【期日|参加者数】8月1日～2日 中止(申込み少数のため)
- イ 雪ん子野外教室
【内容】カーリング体験、雪遊び、アイスクリーム作り等
【対象】小学4年生～6年生 30人
【期日|参加者数】1月9日～11日 44人
- (5) 創作ひろば①
【目的】青少年の余暇活動として、季節の創作活動の機会を提供する。親子のふれあいや、参加者相互の交流を深める。
【対象】幼児・小学生(家族)～一般 各コース30人程度
【内容|期日|参加者数】
アイディアとアレンジでクリスマス&お正月 12月15日 110人

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

- (6) **アドバイザースタッフセミナー**
【目的】施設ボランティアの基礎的な知識や技術を習得する。
【対象】中・高・大学生・一般
【期日|加者数】3月27日～28日 12人
- (7) **やまびこキャラバン**
【目的】近隣市町村に出向き、創作活動やニュースポーツ、レクリエーション等とおして、子ども会活動や余暇活動全体から地域教育力向上を支援する。
【対象】幼児・小学生(家族)～一般
【内容|期日|参加者数】創作・ニュースポーツ・レクリエーション等 通年 1,788人
- (8) **〔自主事業〕 マリンランドフェスタ(感謝まつり)**
【目的】施設利用に対する感謝の意を表すとともに、施設を開放し、様々な体験をおして、陸中海岸青少年の家に対する理解を図る。
【対象】子どもから大人まで
【期日|参加者数】9月30日 492人
- (9) **〔自主事業〕 親子deチャレンジ!**
【目的】3青少年の家の連携により、体験活動をおして、親子のふれ合いや家族同士の親睦を深める。
【内容】カーリング体験、スケート、プラネタリウム鑑賞
【対象】8家族 30名程度
【期日|参加者数】11月17日～18日 5家族11人
- (10) **〔自主事業〕 創作ひろば②**
【目的】青少年の余暇活動として、季節の創作活動の機会を提供する。親子のふれあいや、参加者相互の交流を深める。
【対象】幼児・小学生(家族)～一般40人
【内容|期日|参加者数】季節のお菓子作り 2月9日 45人
- (11) **〔自主事業〕 マリンランド杯交流フットサル大会**
【目的】大会をおし、心身の健全な発達と技能の向上を図るとともに、参加者相互の親睦・交流を深める。
【対象】沿岸地区のサッカースポーツ少年団
【期日|参加者数】2月16日、17日 1,100人
- (12) **〔自主事業〕 陸中海岸剣道スポーツ少年団交歓交流会**
【目的】大会をおし、心身の健全な発達と技能の向上を図るとともに、参加者相互の親睦・交流を深める。
【対象】沿岸地区の剣道スポーツ少年団
【期日|参加者数】2月23日、24日 226人
- (13) **〔自主事業〕 マリンランド杯交流ミニバスケットボール大会**
【目的】大会をおし、心身の健全な発達と技能の向上を図るとともに、参加者相互の親睦・交流を深める。
【対象】沿岸地区のミニバスケットボールスポーツ少年団
【期日|参加者数】2月23日、24日 717人

〔県立県北青少年の家 平成24年度主催事業及び自主事業〕

- (1) **野外活動セミナー**
【目的】野外活動プログラムの展開に必要な実技研修を行うことにより、当施設利用において円滑な活動を行う資質を培う。
【内容】施設見学、利用説明、野外炊事、プログラム相談等
【対象】利用団体の担当者・野外活動担当者 定員なし
【期日|参加者数】①4月25日|10人 ②5月23日|23人
- (2) **ジュニアフォレスト大作戦**
【目的】森林に関する学習や体験活動等を季節ごとに行うことにより、自然を大切にすることを育み、環境保全の実践意欲を育てる。
【内容】森林学習、自然観察、野外炊事、創作活動等
【対象】小学校4年生～小学校6年生 40人
【期日|参加者数】①6月2日～3日|62人
②10月6日～7日|53人 ③11月26日～27日|45人
- (3) **ボランティア研修会**
【目的】高校生等のボランティア活動への参加意欲を高め、当施設におけるボランティア育成を図る。
【内容|対象】講話及び実習等|高校大学生等、一般 定員なし
【期日|参加者数】①6月9日～10日|9人 ②9月15日～17日|4人
- (4) **わんぱく広場**
【目的】体験活動を通して、多様な事柄に興味関心を持つ心を育むとともに、友達や親子のふれあいを深める。
【内容】創作体験
【対象】子どもから大人まで 60人程度
【期日|参加者数】6月10日|61人
- (5) **プラネタリウム鑑賞デー**
【目的】季節の星座の紹介など、プラネタリウム鑑賞を通して、天文や宇宙への興味を喚起する。
【内容|対象】プラネタリウム投影等|子どもから大人まで 60人
【期日|参加者数】①7月1日|126人 ②9月23日|87人
③12月9日|61名
- (6) **サマースクール**
【目的】野外活動等を通して、自然を大切にすることを、豊かな感性や思いやりの心を育むとともに、活動意欲に満ちたリーダーの育成を図る。
【内容】自然体験、野外活動、創作活動等
【対象】小学校3年生～4年生 40人
【期日|参加者数】7月14日～15日|70人
- (7) **サマーわくわく体験**
【目的】中期にわたる多彩な活動を通して、自主性や忍耐力、協調性を育むとともに、活動意欲に満ちたリーダーの育成を図る。
【内容】自然体験、野外活動、野外炊事、キャンプ体験等
【対象】小学校5年生～6年生 30人
【期日|参加者数】7月28日～31日|14人
- (8) **サマーチャレンジキャンプ**
【目的】中期にわたる自然体験活動を通して、自主性や忍耐力、社会性を育むとともに、活動意欲に満ちたリーダーの育成を図る。
【内容】自然体験、野外活動、野外炊事、キャンプ体験等
【対象】小学校5年生～中学生 30人
【期日|参加者数】8月6日～10日|17人

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

- (9) あつまれキッズランド
【目的】自然に親しむことができる学びの場において自立心や協調性を育むとともに、参加者同士の交流を図る。
【対象】小学校1年生～2年生 各回30人
【内容】レクリエーション、テント泊、野外炊事等
【期日 | 参加者数等】①9月15日～16日 | 31人
②9月16日～17日 | 32人
- (10) 星友の日
【目的】青少年の家等で、学校不適応児童・生徒が生活範囲を広げる機会を提供することにより、参加者の行動意欲を高める。
【内容】創作活動、スケート
【対象】小・中学校の学校不適応児童・生徒 定員なし
【期日 | 参加者数】11月28日 | 2人
- (11) スケート実技セミナー
【目的】スケート利用団体の指導者の各技能別による技術の向上を図るとともに、各技能別指導法を研修する。
【内容】スケート教室の展開（実技・説明）、プログラム相談等
【対象】11月から3月までのスケート場利用団体担当者 定員なし
【期日 | 参加者数】10月31日 | 6人
- (12) スケート場感謝デー
【目的】「いわて教育の日」の趣旨を踏まえて、県北青少年の家のスケート場を開放し、家庭・地域のふれあいを促進するとともに、健全育成を図る。
【内容】スケート場無料開放、氷上スポーツ体験等
【対象】子どもから大人まで 定員なし
【期日 | 参加者数】11月3日 | 875人
- (13) だれでも氷上スポーツ
【目的】冬季スポーツの振興を図るとともに、青少年の健全育成を図る。
【内容】①～③技能別スケート教室等 ④カーリング教室等
【対象】①～④子どもから大人まで 各回50人程度
【期日 | 参加者数】①12月1日 | 81人 ②12月8日 | 76人
③1月19日 | 61人 ④2月2日 | 74人
- (14) 【自主事業】県北さくらまつり
【目的】桜の開花時期に合わせて屋外施設を一般開放し、日頃の利用に感謝するとともに、当施設の本格的な活動時期の到来を広く県民に周知する。
【内容】うどん打ち体験、流しうどん
【対象】子どもから大人まで 定員なし
【期日 | 参加者数】5月13日 | 74人
- (15) 【自主事業】いきいきスポーツ大会
【目的】高齢者がお互いに交流を持ちながら、いきいきと活動できる場を提供し健康増進を図る。
【内容】グラウンド・ゴルフ大会
【対象】グラウンド・ゴルフ愛好者 100人程度
【期日 | 参加者数】5月16日 | 147人
- (16) 【自主事業】県北フェスティバル
【目的】施設を開放し、生涯学習の拠点としての青少年の家への理解を深め、各種体験活動の中で参加者相互の交流を図る。
【内容】創作体験、盆踊り、プラネタリウム鑑賞等
【対象】子どもから大人まで 定員なし
【期日 | 参加者数】8月26日 | 625人
- (17) 【自主事業】親子deチャレンジ！
【目的】体験活動を通して、親子のふれあいを高め、同行家族との親睦を深めるとともに、郷土の素晴らしさを知る。
【内容】創作体験、もちつき体験、わんこそば体験、情報交換会等
【対象】小学生以上の子どもを持つ家族 10家族30人程度
【期日 | 参加者数】11月18日～19日 | 74人
- (18) 【自主事業】キッズ氷上おもしろランド
【目的】氷上での活動を楽しみながら、参加者相互の交流を図るとともに、氷上スポーツの普及を図る。
【内容】氷上ゲーム、スケート教室等
【対象】小学校3年生～6年生まで 30人程度
【期日 | 参加者数】2月16日 | 35人
- (19) 【自主事業】氷上綱引きカップ
【目的】団体競技を通して、お互いの親交を深め、青少年の健全育成と健康づくりを図る。
【内容】氷上綱引き
【対象】小学生の部、大人の部（中学生以上）合計20チーム
【期日 | 参加者数】3月2日 | 87人
- (20) 【自主事業】スケートキッズ感謝デー
【目的】氷上スポーツの普及と冬季における体力・健康増進を図るとともに、中学生以下のスケート場入場料を無料とし開放することにより利用促進を図る。
【内容】スケート教室等
【対象】中学生以下の子ども 定員なし
【期日 | 参加者数】3月20日 | 631人

5 社会教育施設の整備充実（4 県立博物館）

岩手県立博物館は、本県における教育、学術及び文化の発展と、新しい郷土を築く県民意欲の高揚に寄与することを基本姿勢として運営に努めている。平成24年度は、テーマ展の開催、各種講演会、セミナーの開催など、館の内外にわたる積極的な活動を展開するとともに、昨年に引き続き東日本大震災により被災した文化財等資料を救出するため、岩手県教育委員会主導のもと、文化財レスキュー活動を行った。

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

(1) 博物館協議会開催状況

ア 平成24年度岩手県立博物館協議会

- ① 期日 平成24年11月22日
- ② 会場 岩手県立博物館会議室
- ③ 協議事項
 - a 平成23年度博物館協議会の意見等への対応状況について
 - b 平成24年度博物館事業実施状況について
 - c 平成25年度博物館事業計画(案)について
 - d 今後の運営方針について

(2) 平成24年度利用状況

総利用者数：52,810人
 入館者数……………37,405人
 教育普及事業参加者数……………15,022人
 移動展入館者数……………383人

【平成24年度入館者数】

[単位：人、日]

区分 月	個人利用				団体利用				免除利用				総利用人員				開館 日数	1日平均 利用人数
	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計	一般	高大学生	小中学生	計		
4	745	36	414	1195	61	80	0	141	303	0	57	360	1109	116	471	1,696	26	65
5	1,106	32	645	1783	31	58	0	89	453	97	516	1,066	1,590	187	1,161	2,938	26	113
6	674	14	352	1,040	49	84	35	168	940	1	1,173	2,114	1,663	99	1,560	3,322	26	128
7	1,467	41	733	2,241	327	0	138	465	808	3	761	1,572	2,602	44	1,632	4,278	26	165
8	2,142	95	962	3,199	115	0	140	255	591	15	168	774	2,848	110	1,270	4,228	29	146
9	967	20	705	1,692	46	0	0	46	472	136	831	1,439	1,485	156	1,536	3,177	18	177
10	1,541	27	1,184	2,752	212	0	122	334	958	0	2,002	2,960	2,711	27	3,308	6,046	26	233
11	1,065	35	678	1,778	59	0	0	59	730	7	528	1,265	1,854	42	1,206	3,102	26	119
12	562	25	429	1,016	52	29	14	95	376	11	241	628	990	65	684	1,739	24	72
1	661	38	439	1,138	45	0	20	65	473	18	580	1,071	1,179	56	1,039	2,274	24	95
2	649	36	262	947	0	0	0	0	692	6	220	918	1,341	42	482	1,865	24	78
3	1,024	59	634	1,717	87	0	52	139	586	24	274	884	1,697	83	960	2,740	27	101
計	12,603	458	7,437	20,498	1,084	251	521	1,856	7,382	318	7,351	15,051	21,069	1,027	15,309	37,405	302	124

(3) 博物館活動

ア 資料の収集保管活動

(ア) 資料の収集整理

平成24年度は、右の24,295点の資料
 についての受け入れ、登録事務を行っ
 た。

【収集資料数】 [単位:点]	地質	生物	考古	歴史	民俗	計
平成23年度末 累計	8,788	119,576	40,932	37,271	17,751	224,318
平成24年度登録点数	106	5,975	16,929	278	1,007	24,295
計	8,894	125,551	57,861	37,549	18,758	248,613

(イ) 資料の貸出状況

他の博物館、美術館などに展示や研究等の目的で貸出した資料は、次のとおりである。

- a 地 質 上腕骨複製ほか 42点
- b 生 物 アカマツ果実ほか 3点
- c 考 古 土偶（岩手町豊岡遺跡）ほか 106点
- d 歴 史 鍛冶屋神ほか 111点
- e 民 俗 南部小絵馬ほか 175点

(ウ) 文化財科学

資料の保存と活用のため、適切な環境の維持、調整に努めた。

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

また、資料の保存管理のために必要なくん蒸消毒と科学的保存処理を行った。

イ 調査研究活動

博物館における調査研究活動は、共通テーマのほか地質、生物、考古、歴史、民俗及び文化財科学の各分野ごとに行う研究テーマと全分野で取り組む総合調査とがある。

平成24年度は26テーマについて年次計画に従い研究を進めた。

分野	調査研究テーマ
地質	「地域地質に関する研究」 ほかに2テーマ
生物	「地域生態系に関する研究」 ほかに5テーマ
考古	「考古学史に関する研究」 ほかに2テーマ
歴史	「近世史に関する研究」 ほかに5テーマ
民俗	「有形民俗資料に関する研究」 ほかに4テーマ
文化財科学	「文化財の保存環境に関する研究」 ほかに2テーマ

ウ 展示活動

(ア) 常設展示の充実

「総合展示」「いわて文化史展示室」「いわて自然史展示室」等の展示替え
展示コーナーの新規開設「ミニプラザ」

(イ) 特別展示等の開催

種別	名称	会期
企画展	土偶まんだら	平成24年7月14日～8月19日
特別展	震災復興・国立科学博物館コラボミュージアム「恐竜アロサウルスがやってきた」	平成24年9月11日～12月9日
テーマ展	砂 ～砂粒から大地をさぐる～	平成24年10月2日～12月2日
移動展	いわての宝をみよう ～自然・文化・軽米の遺跡～	平成24年11月2日～11月25日
テーマ展	2011.3.11 平成の大津波被害と博物館 -被災資料の再生をめざして-	平成25年1月5日～3月17日
テーマ展	いわての昭和モノがたり～戦後復興の軌跡、震災復興の希望～	平成25年3月30日～5月26日
トピック展	「レゴブロックで作った中尊寺金色堂」展	平成24年10月10日～10月14日
トピック展	よみがえれ！三陸～マイワイ	平成25年1月5日～3月31日
トピック展	新発見！もうひとつの天明三年田山暦	平成25年2月26日～3月31日

※特別展「恐竜アロサウルスがやってきた」は国立科学博物館との共催事業である。

※移動展は公益財団法人岩手県文化振興事業団主催の事業で、当事業団4事業所が共同して行った。

※トピック展「レゴブロックで作った中尊寺金色堂」展は、県南広域振興局の企画により行った。

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

(ウ) 解説会

以下のとおり、計268回催し、3,943人の参加があった。

a 特別展示・展示解説会（15回開催、320人参加）

期 日	場 所	担当	テーマ
平成24年7月15日	特別展示室	考古	企画展「土偶まんだら」
平成24年7月18日	特別展示室	考古	企画展「土偶まんだら」
平成24年7月24日	特別展示室	考古	企画展「土偶まんだら」
平成24年8月19日	特別展示室	考古	企画展「土偶まんだら」
平成24年8月8日	館 内	歴史	文化財レスキュー
平成24年8月26日	館 内	歴史	いわての歴史を学ぶ
平成24年10月8日	特別展示室	地質	テーマ展「砂」
平成24年10月17日	館 内	地質	テーマ展「砂」
平成24年10月17日	館 内	地質	特別展「恐竜」
平成24年10月20日	特別展示室	地質	テーマ展「砂」
平成24年11月4日	特別展示室	地質	テーマ展「砂」
平成24年11月18日	特別展示室	地質	テーマ展「砂」
平成25年1月6日	特別展示室	文化財	テーマ展「平成の大津波被害と博物館」
平成25年3月3日	特別展示室	文化財	テーマ展「平成の大津波被害と博物館」
平成25年3月31日	特別展示室	民俗	テーマ展「いわての昭和モノがたり」

b 常設展示・展示解説会（252回開催、延べ3,580人参加）

区 分	回 数	参加者数	場 所	担 当	内 容
定時解説	87回（日曜日を除く毎日）	延べ191人	総合展示室	学芸第三課 （解説員）	総合展示室の展示資料に ついての展示解説会
通覧解説	165回（随時）	延べ3,389人			

c 移動展展示解説会（1回開催、43人参加）

期 日	場 所	担当	テーマ
平成24年11月25日	軽米町農村環境改善センター	各部門	「いわての宝をみよう」

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

エ 教育普及活動

【講演会、観察会等の開催事業一覧】

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
1	県博日曜講座	21回	1,142人
2	考古学セミナー現地見学会	1回	28人
3	考古学セミナー	1回	68人
4	文化財レスキューシンポジウム	2回	123人
5	特別講演会	1回	35人
6	文化講演会	1回	43人
7	博物館秋期セミナー	1回	29人
8	冬期文化講演会	1回	67人
9	民俗講座	1回	45人
10	国際博物館の日記念事業	1回	27人
11	博物館写生会	1回（36日）	44人
12	ミュージアムシアター	10回	256人
13	伝統芸能鑑賞会	1回	150人
14	第63回自然観察会	1回	38人
15	第64回自然観察会	1回	20人
16	第63回地質観察会	1回	23人
17	第64回地質観察会	1回	19人
18	古文書入門講座	8回	158人
19	古文書初・中級講座	10回	318人
20	特別体験教室	2回	239人
21	博物館実習	1回（7日）	96人
22	文化財取扱講習会	1回（3日）	87人
23	体験教室みんなでためそう！	49回	1,486人
24	チャレンジ！博物館	53回	1,480人
25	冬休み体験教室	2回	332人
26	夏休みこどもツアー	6回	236人
27	県博出前講座	53回	2,521人
	計	—	6,193人

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

1 県博日曜講座 (21回開催、延べ1,142人参加)

期 日	場 所	テ ー マ
4月8日	講堂	世界遺産としての「平泉」
4月22日	講堂	南部重直は暴君か
5月13日	教室	標本たちへのレクイエム
5月27日	教室	気仙大王
6月10日	教室	岩手県出土の古代ガラス
6月24日	教室	考古学で探る江戸時代の暮らし
7月8日	教室	太平洋とともに生きた人々
7月22日	講堂	縄文文化最大の謎「土偶」
8月12日	教室	いわての「ごりやくさま」
8月26日	講堂	初代八戸藩主霊松院の実家「川口家」
9月23日	講堂	南部三閉伊一揆と気仙大肝入吉田家
10月28日	教室	砂粒から大地をさぐる
11月11日	教室	「土偶まんだら」展を終えて
11月25日	教室	ジュラシックワールド・イン・イワテ
12月16日	講堂	白山山地が世界自然遺産に登録されるまでとその後
12月23日	教室	盛岡藩の絵師川口月嶺
1月13日	講堂	被災資料を次世代へ伝えていくために
1月27日	教室	大津波により被災した文化財の再生
2月24日	講堂	江戸期の今泉集落と吉田家住宅
3月10日	講堂	津波で流出した県指定吉田家住宅の復元活動
3月24日	講堂	津波被災地の植物の変化について
4月8日	講堂	世界遺産としての「平泉」
4月22日	講堂	南部重直は暴君か

2 考古学セミナー現地見学会 (28人参加)

【期日】8月11日 【場所】花巻市ほか
【テーマ】土偶出土遺跡を巡る

3 考古学セミナー (68人参加)

【期日】8月5日 【場所】講堂
【テーマ】立ち上がれ！土偶

4 文化財レスキューシンポジウム (2回開催、延べ123人参加)

【期日】2月10日・11日 【場所】講堂
【テーマ】文化財レスキューについて

5 特別講演会 (35人参加)

【期日】9月30日 【場所】講堂
【テーマ】盛岡から始める恐竜学

6 文化講演会 (43人参加)

【期日】11月3日 【場所】講堂
【テーマ】三陸沿岸と津波伝承

7 博物館秋期セミナー (29人参加)

【期日】10月21日 【場所】教室
【テーマ】音を奏でる砂、「鳴り砂」の魅力

8 冬期文化講演会 (67人参加)

【期日】2月7日 【場所】講堂
【テーマ】民俗文化財の保護と災害
【期日】3月20日 【場所】講堂
【テーマ】新発見！もうひとつの天明三年田山暦の謎と南部絵馬の魅力

9 民俗講座 (45人参加)

10 国際博物館の日記念事業 (27人参加)

【期日】5月19日 【場所】全館
【内容】収蔵庫等のバックヤード見学ツアー

11 博物館写真会 (36日間開催、延べ44人参加)

【期日】12月15日～2月17日 【場所】館内
【内容】盛岡北部の小中学生、幼稚園・保育園児を対象に実施

12 ミュージアムシアター (10回開催、延べ256人参加)

【期日】第一土曜日 【場所】講堂
【内容】博物館資料や展示・季節等に関連する16ミリ映画上映

13 伝統芸能鑑賞会 (150人参加)

【期日】6月3日 【場所】民家(旧佐々木家)
【テーマ】鶴鳥神楽の公演

14 第63回自然観察会 (38人参加)

【期日】9月23日 【場所】岩泉町龍泉洞
【テーマ】洞くつ探検！

15 第64回自然観察会 (20人参加)

【期日】10月21日 【場所】毛無森国有林
【テーマ】紅葉のブナ林を歩こう！

16 第63回地質観察会 (23人参加)

【期日】7月8日 【場所】二戸市
【テーマ】二戸市白鳥川の門ノ沢動物群

17 第64回地質観察会 (19人参加)

【期日】10月7日 【場所】一関市
【テーマ】川砂から鉱物をさがす

18 古文書入門講座 (8回開催、延べ158人)

【期日】5月～6月の土日 【場所】教室
【内容】基礎的な仮名文字・崩し字を学ぶ

19 古文書初・中級講座 (10回開催、延べ318人)

【期日】6月～7月 【場所】教室
【内容】入門講座修了者程度を対象に古文書の形式を学ぶ

20 特別体験教室 (2回開催、延べ239人参加)

【期日】9月22日・12月1日 【場所】館内
【内容】化石レプリカをつくろう、恐竜めぐりえ

21 博物館実習 (7日間開催、延べ96人実習)

【期日】8月16日～8月23日 【場所】全館
【内容】学芸員資格取得を希望する学生への館務実習を実施

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実

22 文化財等取扱講習会

(3日間開催、87人受講)

【期日】2月6日～2月8日 【場所】全館

【対象】県内市町村の文化財担当職員
及び博物館等職員

23 体験教室みんなでためそう！

(49回開催、延べ1,486人参加)

【期日】毎週日曜日 【場所】実技室ほか

【内容】博物館に親しむためのプログラム

24 チャレンジ！博物館

(53回開催、延べ1,480人参加)

【期日】第二・第三土曜日と日曜日 【場所】展示室

【内容】月ごとにテーマを設定し、オリエンテーリング形式のワークシートによる資料探索

25 冬休み体験教室（2回開催、332人参加）

【期日】1月9日～1月10日 【場所】実技室

【内容】冬休み期間中の幼児、小学生を対象とした工作実施

26 夏休みこどもツアー

(6回開催、延べ236人参加)

【期日】7月21、27、28日、8月10、11、18日

【場所】全館

【内容】県内沿岸部居住児童を対象に無料送迎バスを運行し、博物館にて体験教室等に参加していただく

27 県博出前講座（53回開催、延べ2,521人）

期 日	場 所	テーマ
6月23日	紫波町沢口観音堂	川口源之丞ゆかりの地を訪ねる
6月24日	宮古市～田野畑村	宮古ニュートンスクール及びジオサイトガイド養成講座
6月26日	住田町立有住小学校	森林環境学習
6月27日	住田町立有住小学校	森林環境学習
7月5日	盛岡市乙部地区公民館	親子ホタル観察講座
7月6日	盛岡市乙部地区公民館	親子ホタル観察講座
7月27日	岩手県南青少年の家	被災地交流事業虫取りハンター
7月31日	陸前高田市立第一中学校	三陸沿岸の植生について
8月1日	県生涯学習推進センター	H24授業力向上研修講座
8月2日	金ヶ崎町西部地区	西部地区内観察会
8月5日	岩手町ゆはず交流館	歴史講座八戸藩について
8月5日	八戸市史跡根城の広場	根城おもしろ講座
8月8日	紫波町志和公民館	ふるさと歴史講座
8月19日	横浜市野毛	被災自然史標本のレスキューについて
9月14日	金ヶ崎町西部地区	西部地区内環境講座
9月28日	黒沢尻東地区交流センター	黒岩白山廃寺跡と平泉文化
9月29日	青森県南宗寺・大慈寺	歴史講座
10月12日	紫波町ラフランス温泉	比爪氏と平泉の関係
10月19日	盛岡市総合福祉センター	南部直政の生涯
10月23日	盛岡市立生田小学校	総合活動時間の指導
10月30日	東京大学大気海洋研究所	飼育下における底生魚の発光観察の例
10月31日	岩手県森林組合会館	岩手県植物誌の改訂講演
11月8日	葛巻町ふれあい宿舎グリーンテージ	岩手県の高山植物・希少植物の講演
11月25日	盛岡市西部公民館	厨川に来た源頼朝
12月1日	栃木県立博物館	標本レスキューの実際
12月1日	横浜市野毛	ある博物館レスキュー
12月2日	仙台市野草園	生物標本の救出・復元の取り組み
12月2日	八幡平ロイヤルホテル	安倍氏の考古学的研究
12月4日	花巻市新渡戸記念館	八戸南部家と新渡戸家
1月20日	横浜市赤レンガ倉庫1号館	県立博物館の文化財レスキュー
1月23日	東京国立博物館	語ろう文化財レスキュー公開討論会
2月4日	東京国立博物館	語ろう文化財レスキュー公開討論会
2月14日	盛岡白百合学園小学校	社会科昔の暮らし
2月15日	紫波町志和公民館	弥勒地経塚の調査
2月16日	金ヶ崎町中央生涯教育センター	宮手遺跡
2月17日	盛岡市アイーナ会議室	岩手の海岸の自然再生
2月24日	盛岡市キャラホール	県内の絶滅危惧植物
2月28日	千葉県立中央博物館	大災害と博物館

第3章 教育施策の推進状況

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第2 生涯にわたる学習機会の充実 [参考] 県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）

期 日	場 所	テーマ
4月7日	岩手県立図書館	それでも海とともに生きるために
4月14日	盛岡市西部公民館	いわて学講座
5月1日	浄法寺総合支所	展示方法について
5月19日	まきば園牧場館	岩手山麓の湿地と水辺の植物
5月24日	金ヶ崎町西部地区生涯学習センター	西部地区内環境講座
5月27日	花巻市新仙寺本堂	開基内堀家の返還と御本尊について
6月2日	宮城県松島町中央公民館	被災した自然史標本の現状
6月3日	紫波町赤石小学校	比爪の都市構造
6月11日	宮古市ホテル沢田屋	世界遺産としての平泉
6月21日	八幡平市田頭公民館	南部絵巻を読む
6月23日	紫波町沢口観音堂	川口源之丞ゆかりの地を訪ねる
6月24日	宮古市～田野畑村	宮古ニュートンスクール及びジオサイトガイド養成講座

[参考] 県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）

（※各項目の利用実績は、平成22年度実績）

1 図書館（平成24年4月1日現在）

	合 計	図書館	公民館等館
施設数	56	48	8
職員数	433	398	35
（うち専任）	99	96	3
蔵書総冊数	4,277,999	4,048,067	229,932
年間受入冊数	216,136	206,854	9,282
貸出冊数	4,327,644	4,196,240	131,404

※ 震災のため、調査対象外となった下記図書館を除く

図書館：陸前高田市立図書館、大槌町立図書館、山田町立図書館、野田村立図書館

公民館等館：田野畑村教育委員会

2 公民館（平成24年10月1日現在）

	合 計	本館 計	本館		分館
			中央館	地区館	
施設数	299	193	23	170	106

職員数	763	636	146	490	127
（うち本務）	156	150	44	106	6
（〃 兼務）	181	159	43	116	22
（〃 非常勤）	426	327	59	268	99
利用団体数	69,002	55,016	9,798	45,218	13,986
利用者数	2,674,041	2,431,808	512,874	1,918,934	242,233
（うち団体）	2,362,654	2,125,126	493,290	1,631,836	237,528
（〃 個人）	311,387	306,682	19,584	287,098	4,705

3 博物館等（平成24年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	他所管
施設数	101	68	33
職員数	401	271	130
（うち本務）	156	96	60
（〃 兼務）	58	46	12
（〃 非常勤）	141	129	53
※学芸員数（内数）	(63)	(51)	(12)
来館者数	1,605,920	646,213	959,707

4 青少年教育施設（平成24年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	他所管
施設数	12	8	4
職員数	43	24	19
（うち本務）	11	7	4
（〃 兼務）	15	9	6
（〃 非常勤）	17	8	9
利用団体数	726	726	0
利用者数	81,632	55,896	25,736
（うち団体）	45,555	45,555	0
（〃 個人）	36,077	10,341	25,736

5 文化施設（平成24年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	他所管
施設数	30	23	7

[参考] 県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）

職員数	194	155	39
（うち本務）	128	104	24
（〃 兼務）	30	23	7
（〃 非常勤）	36	28	8
利用団体数	34,134	28,987	5,147
利用者数	1,916,613	1,486,134	430,479
（うち団体）	1,417,721	1,045,842	371,879
（〃 個人）	499,092	440,292	58,800

※宮古市民会館除く

6 その他の社会教育施設（平成24年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	120	70	50
職員数	305	156	149
（うち本務）	75	18	57
（〃 兼務）	81	80	1
（〃 非常勤）	149	58	91
利用団体数	56,367	16,097	40,270
利用者数	1,151,201	413,111	738,090
（うち団体）	1,067,079	347,634	719,445
（〃 個人）	84,122	65,477	18,645

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

1 創作・発表・鑑賞機会の拡充

文化振興基金を活用した支援等により、各地域において優れた芸術芸能に触れ、鑑賞する機会の拡大を図ったほか、若い世代の活動や発表を行う機会の拡大を推進した。

また、優れた芸術文化を広く県民に鑑賞する機会を提供するため、各種の舞台芸術事業を開催した。

さらに、創作活動を奨励するため、県人作家の文芸作品、美術活動等の奨励を行い、芸術活動の振興と水準の向上を図った。

(1) 公益財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金助成事業

ア 既存事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
文化活動成果発表事業	3	1,840	第21回銀河ホール地域演劇祭ほか
各種大会参加事業	0	0	
文化活動研修事業	5	1,440	芸術文化講座ほか
文化団体備品整備事業	16	3,240	「飯豊神楽保存会」備品整備ほか
刊行物発行事業	0	0	
参加する文化活動推進事業	4	2,200	宮沢賢治没後80年記念公演レビュー「銀河鉄道の夜」ほか
特認事業	1	530	岩手県芸術文化活動記録集刊行
計	29	9,250	

イ 新規特別枠事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
芸術情報化事業	2	1,800	岩手県中学校総合文化祭記録DVD作製ほか
芸術の里づくり事業	2	3,115	にしわが町民劇場ほか
新進・若手芸術家等派遣事業	1	3,000	(社)岩手県芸術文化協会新進・若手芸術家等派遣事業
アートマネージャー育成事業	7	574	「久慈市文化会館」アートマネージャー育成事業ほか
アートマネジメント推進事業	2	4,000	岩手県内広域公立文化会館複数連携「参加型子ども舞台創作体験」事業ほか
計	14	12,489	

ウ 復興支援・備品整備事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	継承する演舞等
備品整備事業	20	13,694	白浜虎舞好友会ほか

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

エ 復興支援・公演等支援事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業名
公演等支援事業	14	6,723	宮古・浄土ヶ浜震災復興祈りの集いほか

(2) 第65回岩手芸術祭

ア 開幕式典・開幕フェスティバル

【期日】平成24年10月6日（土）【会場】岩手県民会館大ホール 【鑑賞者数】1,600人

イ 美術展

種目	期間	会場	入選点数／応募点数	鑑賞者数
洋画	平成24年10月11日～10月14日	岩手県民会館	229点 / 229点	5,105人
彫刻			15点 / 15点	
工芸	平成24年10月18日～10月21日		63点 / 67点	
書道			219点 / 220点	
日本画	平成24年10月25日～10月28日		57点 / 57点	
版画			34点 / 34点	
水墨画			134点 / 147点	
写真	平成24年10月6日～10月9日		130点 / 142点	
デザイン			89点 / 89点	
現代美術			31点 / 31点	

ウ 巡回美術展

期間	会場	展示点数	鑑賞者数
平成24年11月2日～12月20日	7市町村7会場	79点	3,658人

エ 小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術）

期間	会場	入賞・入選点数／応募点数	鑑賞者数
平成24年11月30日～12月2日	岩手県民会館展示室	1,490点 / 7,913点	2,715人

オ 巡回小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術）

期間	会場	展示点数	鑑賞者数
平成25年1月12日～平成25年2月20日	4市町村4会場	304点	1,991人

カ 映像フェスティバル

【期日】平成24年10月21日 【会場】軽米中央公民館（軽米町） 【鑑賞者数】75人

キ 演劇

[単位：人]

内容	期日	会場	鑑賞者数
「劇団我夢」公演	平成24年9月16日	奥州市文化会館/中ホール	387
「架空の劇団ほか」公演	平成24年10月13日～10月14日	盛岡劇場/タウンホール	136

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

「劇研麦の会」公演	平成24年11月24日	そけい幼稚園（宮古市）	60
「劇団岩手ぶどう座」公演	平成24年11月25日	さくらホール（北上市）	130
「劇団ふるさと発信隊」公演	平成24年12月2日	安代小学校（八幡平市）	130

ク 伝統芸能

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
茶会	平成24年10月7日	盛岡市中央公民館	793
吟詠剣詩舞道祭	平成24年10月14日	岩手県民会館大ホール	1,050
謡と仕舞の会	平成24年11月4日	岩手県民会館中ホール	430
華道展	平成24年11月9日～11月12日	岩手県民会館展示室	1,594
邦楽のつどい	平成24年11月11日	岩手県民会館中ホール	364

ケ 音楽

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
ソロと室内楽の調べ	平成24年10月14日	岩手県民会館中ホール	280
ピアノコンクール&演奏会	平成24年10月20日	岩手県民会館中ホール	200
三曲演奏会	平成24年10月21日	岩手県民会館大ホール	430
声楽部門演奏会	平成24年11月10日	岩手県民会館中ホール	254
ギター音楽の夕べ	平成24年11月23日	岩手県民会館中ホール	253
吹奏楽演奏会	平成24年11月25日	盛岡市民文化ホール大ホール	1,024
合唱祭	平成24年12月2日	岩手県民会館大ホール	615

コ 舞踊

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
洋舞発表会	平成24年10月28日	岩手県民会館中ホール	600
日本舞踊公演	平成24年11月18日	岩手県民会館大ホール	1,487

サ 演芸

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
新舞踊発表会	平成24年11月3日	岩手県民会館中ホール	600
民謡まつり	平成24年11月11日	岩手県民会館大ホール	957

シ 文芸祭

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
小説大会	平成24年10月14日	遠野市民センター（遠野市）	11
戯曲大会	平成24年11月3日～4日	盛岡劇場（盛岡市）	104
文芸評論大会	平成24年10月14日	岩手大学図書館（盛岡市）	12
随筆大会	平成24年10月27日	岩手県民会館（盛岡市）	19
児童文学大会	平成24年11月11日	八幡平市松尾コミュニティセンター（紫波町）	27

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

詩の大会	平成24年10月14日	なはんプラザ（花巻市）	16
短歌大会	平成24年10月13日	盛岡市勤労福祉会館（盛岡市）	104
俳句大会	平成24年10月13日	岩手県公会堂（盛岡市）	77
川柳大会	平成24年10月21日	盛岡市アイーナ（盛岡市）	117

ス 県民文芸作品集第43集刊行

【発行日】平成24年12月8日

【掲載点数】154点

【応募点数】493点

セ 移動公演

[単位：人]

内容	期日	会場	鑑賞者数
民謡	平成24年12月2日	一戸町コミュニティセンター	280
新舞踊	平成24年12月18日	サンホテル衣川荘（奥州市）	150
吹奏楽	平成25年1月27日	山田町中央公民館	350

(3) 創作活動奨励事業

ア 芸術選奨

受賞者なし

イ 美術選奨

受賞者	分野	受賞対象活動
阿部龍一（北上市）	絵画	個展（湯本美術展示館 5月） 公募展（第79回独立展 10月）
菊池翔（花巻市）	工芸 鍛造	個展（湯本美術展示館 7月） 4人展（旧石井県令邸 10月）
黒沼令（福島県）	彫刻	公募展（第64回岩手芸術祭） 公募展（85回国展 4月）
増子博子（宮古市）	絵画 和紙にペン画	まちかど美術館アート@つちざわ ふれあいセンター2階公開制作
山本英治（奥州市）	インスタレーション	まちかど美術館アート@つちざわ 東和晴山地区の横川省三記念公園

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

2 拠点施設の機能の充実

文化活動の拠点施設として、岩手県民会館、県立博物館、県立美術館及び県立埋蔵文化センターの管理運営の充実と施設設備の機能の向上を図った。県民会館においては自主文化事業の充実、県立博物館においては展示内容等の充実（⇒P121～124）、県立美術館において地元作家の作品収集と企画展の充実、及び県立埋蔵文化財センターにおいては発掘調査等を推進した（⇒P133～136）。

(1) 県民会館

ア 施設利用状況

芸術文化普及振興の拠点施設として、県民の活動発表や鑑賞等の芸術文化関係の催し物のほか、学会、大会等に利用されるとともに、演奏会、展示会、講演会等に数多く利用されている。

【県民会館の利用状況】[単位：日、%]

	大ホール		中ホール		第1展示室		第2展示室		会議室（5室）	
	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率	利用日数	利用率
4月	13	44.8	18	62.1	14	48.3	12	41.4	18	60.7
5月	19	65.5	10	34.5	20	69.0	20	69.0	17	58.1
6月	20	74.1	21	77.8	18	66.7	18	66.7	21	77.8
7月	28	93.3	28	96.6	28	93.3	8	26.7	21	70.7
8月	23	76.7	19	63.3	23	76.7	12	40.0	19	64.7
9月	22	81.5	26	96.3	19	65.5	19	65.5	22	80.6
10月	25	86.2	25	86.2	22	75.9	22	75.9	23	80.7
11月	26	89.7	28	96.6	26	89.7	26	89.7	22	75.2
12月	17	81.0	16	72.7	16	66.7	16	66.7	16	68.3
1月	14	51.9	12	44.4	5	18.5	4	14.8	14	51.8
2月	12	48.0	15	60.0	14	51.9	9	33.3	19	71.9
3月	22	75.9	22	91.7	29	96.7	27	90.0	21	71.8
計	241	72.6	240	73.4	234	68.8	193	56.8	234	69.4

イ 自主文化事業の実施状況

(ア) 参加型・育成型事業

[単位：人]

期日(回数)	公演名	主な出演者等	会場	入場者数
5月2日・3日	ざ・CLASSIC2012	出演者：米谷毅彦、岸本力、角南有紀 他	中ホール	752
9月17日	いわてJAZZ2012	出演者：小曽根真トリオfeaturingクリスチャン・マクブライド & ジェフ“ワッツ”他	大ホール	1,033
12月1日	観世能流	出演者：岩手県能楽連合会 他	大ホール	1,003
1月12日	岩手の民謡をたずねて	出演者：岩手の民謡家 他	大ホール	1,025
2月23日	〈オーケストラ育成事業〉いわてフィルコンサート	指揮：寺崎巖 他	大ホール	626
5月28日他6回	ロビーコンサート	出演者：管楽器アンサンブル 他	ロビー	730
7月18日	バックステージツアー	参加者：加賀野1丁目婦人部		27
5月5日、9月11日、10月29日	沿岸被災地での公演	出演者：N響メンバー、スティーブン・ロシート、ボブ・ジェームス、松田聖子 他		1,870

(イ) コンサートサロン

[単位：人]

期日	公演名	会場	入場者数
7月12日	第184回 ニューヨーク・フィル プラス・クインテット	中ホール	468
9月12日	第185回 堀 正文 ヴァイオリン・リサイタル	中ホール	324
11月15日	第186回 萩原 麻未 ピアノ・リサイタル	中ホール	339

(ウ) 鑑賞サービス事業

[単位：人]

期日(回数)	公演名	主な出演者等	会場	入場者数
5月6日	震災復興祈念NHK交響楽団演奏会	指揮：沼尻竜典、ピアノ：清水和音	大ホール	1,188

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

6月14・15日	江戸糸あやつり人形芝居「笑うタクボク・雲は天才である」		中ホール	449
7月25日	ミュージカル「王様と私」	出演者：松平健、紫吹淳 他	大ホール	1,330
9月13日	震災復興祈念ベンチャーズ	出演者：ベンチャーズ	大ホール	1,324
9月27日	宝塚歌劇星組	出演者：宝塚歌劇団星組	大ホール	2,526
10月22日	岩手のピン 立川志らく独演会	出演者：立川志らく	中ホール	443
11月9日	松竹大歌舞伎	出演者：中村橋之助、片岡孝太郎 他	大ホール	1,120
1月16・17日	ミュージカル「ミス・サイゴン」	出演者：市村正親 他	大ホール	5,134
2月10日	佐渡裕指揮 東京シティー・フィルハーモニック管弦楽団特別演奏会	指揮：佐渡裕、演奏：東京シティーフィルハーモニック	大ホール	1,890
12月13日	西本智実指揮「クリスマス・アダージョ」withシンフォニエッタ・クラコヴィア	指揮：西本智実 出演者：リ・ミード、イ・ソジョン 他	大ホール	1,154

(2) 県立美術館

ア 岩手県立美術館協議会の開催状況

区分	期 日	場 所	内 容
第1回	平成24年10月25日	岩手県立美術館会議室	① 平成24年度美術館事業実施状況 ② 平成25年度美術館企画展開催計画案 ③ 美術館運営
第2回	平成25年3月6日	岩手県立美術館会議室	① 平成24年度美術館事業実施状況 ② 平成25年度美術館企画展開催計画案 ③ 美術館運営

イ 利用状況

[単位：人、日]

区分	常設展					企画展					観覧者数の計
	観覧者数				開催日数	観覧者数				開催日数	
	小・中・高生	大学生等	一 般	小 計		小中学生	高・大生等	一 般	小 計		
4月	294	227	2,058	2,579	23	179	148	2,853	3,180	15	5,759
5月	1,084	447	10,230	11,761	27	591	678	10,772	12,041	24	23,802
6月	532	123	3,775	4,430	24	138	71	1,568	1,777	17	6,207
7月	274	20	371	665	23	226	85	1,907	2,218	26	2,883
8月	116	12	538	666	28	310	295	3,661	4,266	28	4,932
9月	287	17	596	900	26	403	652	4,159	5,214	20	6,114
10月	8	15	308	331	22	640	706	4,354	5,700	26	6,031
11月	97	5	403	505	27	751	221	5,474	6,446	18	6,951
12月	83	1	203	287	24	65	117	1,739	1,921	24	2,208
1月	29	10	271	310	21	111	332	2,894	3,337	24	3,647
2月	6	4	243	253	23	142	158	3,842	4,142	21	4,395
3月	38	22	311	371	18	122	137	2,420	2,679	27	3,050
計	2,848	903	19,307	23,058	286	3,678	3,600	45,643	52,921	270	75,979

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

ウ 展示事業

(ア) 常設展の開催

[単位：人]

区分	会期	観覧者数
第4期展示	平成24年1月13日～4月22日	656（4月1日以降）
第1期展示	平成24年4月27日～7月16日	18,614
第2期展示	平成24年7月21日～10月21日	2,000
第3期展示	平成24年10月27日～1月27日	1,164
第4期展示	平成25年2月2日～4月14日	679（3月31日まで）

(イ) 企画展の開催

[単位：人]

事業名	会期	観覧者数
生誕100年 松本竣介展	平成24年4月14日～5月27日	15,162
アール・ブリュット・ジャポネ展	平成24年6月12日～9月2日	9,069
ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展	平成24年9月11日～11月11日	15,471
アントワープ王立美術館所蔵 ジェームズ・アンソール 写実と幻想の系譜	平成24年11月23日～1月14日	5,493
横尾忠則ポスター展	平成25年1月26日～2月24日	4,636
アートフェスタいわて2012	平成25年3月5日～3月24日	3,090

エ アウトリーチ事業

あーとキャラバン

【期日】平成24年5月19日～20日（山田・宮古）	【参加者数】59人
平成24年7月28日～29日（大槌・釜石）	【参加者数】59人
平成24年10月6日～7日（大船渡）	【参加者数】33人
平成24年12月1日～2日（陸前高田）	【参加者数】18人

オ 教育普及事業

(ア) 展示関連事業

a 復興支援展示事業プログラム

○ギャラリートーク………学芸員による展示作品の解説

【期日】企画展の開催ごとに開催

【参加者数】614人

企画展関連講座等

[単位：人]

内容	講師等	期日	参加者数
松本竣介展開幕記念対談	松本莞氏 寺田農氏	平成24年4月14日	180
松本竣介展関連講演会	川本三郎氏	平成24年4月29日	110
松本竣介展関連講演会	小沢節子氏	平成24年5月13日	62
アール・ブリュット・ジャポネ展関連講座	はたよしこ氏	平成24年6月23日	64
アール・ブリュット・ジャポネ展スペシャルギャラリートーク	板垣崇志氏	平成24年8月19日	47

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

福田繁雄展開催記念講演会	工藤強勝 氏	平成24年9月17日	88
福田繁雄展関連講演会	舩川リキ 氏	平成24年9月30日	48
福田繁雄展関連イベント	—	平成24年10月7日	46
福田繁雄展関連ワークショップ	杉本吉武 氏	平成24年10月14日	20
福田繁雄展関連講演会	杉原厚吉 氏	平成24年10月28日	36
ジェームズ・アンソール展関連「アンソール・ピアノサロン」	奥村理恵 氏 鈴木俊晴 氏	平成24年11月24日	110
ジェームズ・アンソール展関連講演会	鈴木俊晴 氏	平成24年11月25日	44
ジェームズ・アンソール展関連講演会	バルトルド・カッセ 氏	平成24年12月8日	24
ジェームズ・アンソール展関連講演会	龍野有子 氏	平成25年1月5日	35
横尾忠則展関連講演会	横尾忠則 氏	平成25年1月26日	233
横尾忠則展関連講演会	横尾忠則 氏 天野祐吉 氏	平成25年1月27日	295

b 常設展教育プログラム

- コレクショントーク……学芸員による常設展示作品の解説

【期日】毎月第2・第4土曜日に、年間24回開催

【参加者数】172人

- 常設展関連講座

【期日】4月～6月 13回実施

【参加者数】587人

【期日】平成24年8月11日 【講師等】麻生マユ 氏

【参加者数】22人

【期日】平成24年12月8日 【講師等】小野隆生 氏

【参加者数】20人

【期日】平成24年12月9日 【講師等】小野隆生 氏

【参加者数】55人

- 音声ガイドの更新、運用

(イ) 美術普及事業

a スタジオプログラム

- 大理石体験講座

【期日】平成24年6月3日、6月10日、6月17日

【参加者数】12人

- 油絵体験講座

【期日】平成25年2月23日、3月3日、3月9日

【参加者数】11人

- オープンスタジオ 【期日】平成25年1月9日～14日

【参加者数】49人

- アートデオヤコ……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ。

【期日】毎月実施 【対象】3～6歳児と保護者 各10組

【参加者数】450人

- 子供向けワークショップ

【期日】平成24年8月4日、8月5日

【参加者数】21人

【期日】平成25年2月2日、2月3日

【参加者数】24人

b 教育プログラム

- ・学生サポートスタッフの育成

【登録者数】18人

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

c 美術プログラム

[単位：人]

内 容	期 日	参加者数
館長講座	平成24年5月26日、7月21日、9月15日、11月17日 平成25年1月19日、3月16日	193
美術の楽しみ講座	平成24年8月26日、10月8日、12月1日	115
学芸員講座	平成24年5月20日、7月29日、11月10日 平成25年2月11日	88
ミーツ・ザ・アーティスト	平成24年7月14日、9月8日、11月23日 平成25年1月20日	455

d 映像プログラム

○ アートシネマ上映会……美術に関連する作品等幅広いラインナップで上映 [単位：人]

期 日	内 容	鑑賞者数
平成24年4月15日	ポー川のひかり	50
平成24年5月20日	美の巨人 香月泰男・佐藤哲三	16
平成24年6月17日	日本のアウトサゲアート 文字という快樂	24
平成24年7月15日	日本のアル・ブリュット パリに上陸するの巻	18
平成24年8月19日	オペラの怪人	74
平成24年9月16日	M. C. エッシャー	35
平成24年10月21日	ハーブ&ドロシー	43
平成24年11月18日	パルムの僧院	35
平成24年12月16日	素晴らしき哉、人生！	52
平成25年1月13日	さよなら子供たち	37
平成25年2月17日	パラダイス ナウ	47
平成25年3月17日	エルミタージュ美術館	69

(ウ) 来館者対応事業

- a 美術館探検「てくてくツアー」 【期日】年6回 【参加者数】 64人
- b 団体対応 【期日】随時 【利用者数】2,734人
- c 美術相談 【期日】随時

d ライブラリー企画

[単位：人]

期 日	内 容	参加者数
平成24年5月3日、25日	フォトグラムで届けるメッセージ	33
平成24年9月1日	ポップアップカードをつくるワークショップ	19
平成24年11月11日	おしゃべり会	37
平成25年1月27日	製本ワークショップ	20

カ 広報事業

- (ア) 美術館ニュース「アプリーレ」……年2回
- (イ) 企画展チラシ、ポスター……企画展の開催の都度

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

(ウ) 常設展展示目録、ポスター……………常設展の展示替えの都度

(エ) 美術館スケジュール等……………年4回

キ 美術品修復保存事業

美術品をより良い状態で保存し展示に活用するため、所蔵作品の修復を実施。

〔修復作品〕松本竣介 素描作品4点

晴山 英 《参列者》

ク ルーヴル特別展レセプション開催事業

第1期常設展特別展示「ルーヴル美術館からのメッセージ：出会い」開催記念レセプションを実施。【期日】平成24年4月27日

ケ 自主事業

(ア) 美術館まつり

【期日】平成24年11月3日

【参加者数】1,325人

(イ) コンサート事業

a グランド・ギャラリーコンサート

【期日】年3回

【参加者数】319人

b ミュージアムコンサート団体対応

【期日】年4回

【利用者数】359人

(ウ) 出前美術館

[単位：人]

期 日	内 容	参加者数
平成24年6月15日、6月29日	アート・キャンドルをつくる	44
平成24年9月7日、9月25日	粘土でつくる	32
平成24年5月24日～平成24年3月1日	出前ライブラリー	—

(エ) 「ルーヴル美術館展」鑑賞バスツアー

【期日】平成24年6月2日

【参加者数】134人

3 文化交流・連携の促進

本県文化の全国への発信及び出演団体の資質の向上を図るため、国民文化祭への派遣団体に対し、交通費の一部を補助した。

○ 国民文化祭参加推進事業

1 【期 日】平成24年9月1日～12月14日

【場 所】徳島県

【参 加】1団体、計12人

【補助額】288千円

2 【期 日】平成25年1月20日

【場 所】山梨県

【参 加】2団体、計31人

【補助額】388千円

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

中学生・高校生の文化活動を支援することにより、本県芸術文化の次代の担い手が育つ体制づくりを推進した。

1 青少年劇場

(1) 本公演

[単位：公演、人]

種目	演目	期日	会場	公演数	鑑賞者数
声楽	よだかの星	平成24年6月18日～6月27日	山田町ほか7市町村	13	4,602
器楽	姜建華とシルクロードアンサンブル	平成24年6月18日～6月20日	金ケ崎町ほか3市町	5	1,711
児童劇	青少年「狂言」鑑賞会	平成24年6月4日～6月11日	岩手町ほか8市町村	11	4,061

(2) 小公演

[単位：公演、人]

種目	演目	期日	会場	公演数	鑑賞者数
器楽	フランスシルヴァ「みんなdeリズム」	平成24年9月3日～9月7日	盛岡市、岩泉町 釜石市、陸前高田市	7	135

2 次代を担う子どもの文化芸術体験事業（巡回公演事業）

[単位：公演、人]

種目・演目	期日	会場	公演数	鑑賞者数
オーケストラ、児童劇、音楽劇、演劇、邦舞、合唱、演芸	平成24年9月7日～平成25年2月20日	住田町立有住中学校ほか7校	8	2,000

次代を担う子どもの文化芸術体験事業（派遣事業）

[単位：公演、人]

種目・演目	期日	会場	事業数	鑑賞者数
社交ダンス	平成24年9月27日	県立宮古恵風支援学校	1	86
生活文化（茶道）	平成24年10月25日～平成24年11月29日	水沢第一高等学校	1	223
生活文化（茶道）	平成24年12月11日～平成24年12月18日	県立宮古商業高等学校	1	44

3 第35回岩手県高等学校総合文化祭

[単位：人]

部門	期日	会場	参加校数等	入場者数
総合開会式	平成24年10月5日	リアスホール	69校 約986人	—
書道	平成24年10月30日～11月5日	岩手県民会館展示室	43校 1,037点	約592
美術工芸	平成24年11月16日～11月20日	岩手県民会館展示室	62校 897点	約1,892
合唱	平成24年7月10日	岩手県民会館大ホール	36団体 約750人	約1,000
	平成24年8月25日	岩手県民会館大ホール	30校(29団体) 約700人	約1,000
吹奏楽	平成24年7月29日	岩手県民会館大ホール	20校	約2,300
	平成24年8月4日	花巻市民文化会館	12校	約2,300
演劇	平成24年10月18日～10月20日	岩手県民会館大ホール	12校 135人	—
文芸	平成24年10月4日	岩手県民会館中ホール	47校 6,468点	—
囲碁	平成24年10月5日～10月6日	高校教育会館	19校 81人	—
将棋	平成24年10月26日～10月27日	岩手県高校教育会館	27校 152人	—
器楽	平成24年10月26日	岩手県民会館中ホール	5校 75人	約80
写真	平成24年9月21日～9月25日	岩手県民会館展示室	29校 443点	約439

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

放送	平成24年6月4日～6月5日	岩手県民会館中ホール	28校	194エントリー	約283	
	平成24年11月7日	岩手県民会館中ホール	22校	179エントリー	約240	
郷土芸能	平成24年10月13日	二戸市民文化会館	16校	347人	約645	
新聞	平成24年10月12日	岩手県公会堂	7校	13作品	—	
自然科学	平成24年12月11日	岩手県立総合教育センター	9校	110人	観客3名 (報道関係)	
英語	平成24年9月28日	岩手県民会館中ホール	6校	27人	約150	
吟詠剣詩舞	平成24年10月5日	岩手県民会館中ホール	2校	6人	30	
日本音楽	平成24年10月3日	岩手県民会館中ホール	6校	75人	約120	
国際理解	平成24年9月20日	盛岡市勤労福祉会館	6校	53人	約50	
	平成24年10月10日	岩手県赤十字会館	18校	90人	—	
マーチングバンド・ バトントワリング	平成24年9月30日	水沢総合体育館	マーチング5校 バトン3校	230人	約2,120	
小倉百人一首かるた	平成24年10月6日	二戸市民文化会館	3校	13人	—	
軽音楽	平成24年9月11日	岩手県民会館中ホール	17校	29バンド	133人	約600

4 第36回全国高等学校総合文化祭

平成24年8月に富山県等で開催された全国高等学校総合文化祭に計365人の高校生を派遣した。

部門	期日	会場	派遣学校名(派遣生徒数)
総合開会式	平成24年8月8日	富山市芸術文化ホール	大船渡東高等学校(1) 水沢高等学校(1)
新聞取材	平成24年8月8日	富山市芸術文化ホール	盛岡白百合学園高等学校(2)
パレード	平成24年8月8日	富山市街地	岩手県立盛岡第四高等学校[バトントワリング部](17) 岩手高等学校[吹奏楽部](11)
演劇	平成24年8月10日 ～8月12日	富山県民会館	
合唱	平成24年8月12日	高岡市民会館	岩手県立盛岡第四高等学校[音楽部](31)
吹奏楽	平成24年8月9日 ～8月10日	新川文化ホール	専修大学北上高等学校(96)
器楽・管弦楽	平成24年8月11日 ～8月12日	富山市芸術文化ホール	久慈高等学校[マンドリン部](23)
日本音楽	平成24年8月11日 ～8月12日	高周波文化ホール	盛岡第二高等学校[箏曲部](32) 千厩高等学校[箏曲部](15)
吟詠剣詩舞	平成24年8月12日	北アルプス文化センター	一関第二高等学校(10) 一関修紅高等学校(1) 久慈高等学校(2)
郷土芸能	平成24年8月10日 ～8月12日	砺波市文化会館	北上翔南高等学校[鬼剣舞部](51) 雫石高等学校[郷土芸能委員会](18)
マーチングバンド・ バトントワリング	平成24年8月10日	氷見市ふれあいスポーツ センター	盛岡第四高等学校[バトントワリング部](17) 岩手高等学校[吹奏楽部](11)
美術・工芸	平成24年8月8日 ～8月12日	富山県民会館	遠野高等学校(1) 北上翔南高等学校(1) 宮古商業高等学校(1) 不来方高等学校(1) 盛岡白百合学園高等学校(1) 黒沢尻北高等学校(1) 盛岡第一高等学校(1)
書道	平成24年8月8日 ～8月12日	魚津テクノスポーツドーム [ありそドーム]	盛岡第一高等学校(1) 盛岡第二高等学校(1) 盛岡第四高等学校(1) 紫波総合高等学校(1) 水沢高等学校(1) 一関第二高等学校(1) 福岡高等学校(1)

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第2 中学生・高校生に対する文化活動支援

部 門	期 日	会 場	派遣学校名（派遣生徒数）
写 真	平成24年8月8日 ～8月12日	福野文化創造センター[ヘリオス]、五箇山	盛岡商業高等学校(1) 盛岡農業高等学校(2) 盛岡北高等学校(2)
放 送	平成24年8月11日 ～8月12日	富山国際会議場	盛岡白百合学園高等学校(2) 花巻北高等学校(4) 盛岡北高等学校(1) 黒沢尻北高等学校(4) 盛岡第一高等学校(6) 盛岡第三高等学校(3)
囲 碁	平成24年8月8日 ～8月9日	朝日町文化体育センター [サンリーナ]	岩手高等学校(2) 釜石高等学校(2) 不来方高等学校(1) 久慈高等学校(1)
将 棋	平成24年8月8日 ～8月9日	クロスランドおやべ	岩手高等学校(8) 盛岡第一高等学校(1) 盛岡第三高等学校(1) 宮古工業高等学校(1) 紫波総合高等学校(3)
弁 論	平成24年8月8日 ～8月9日	舟橋会館	盛岡農業高等学校(1)
小倉百人一首 かるた	平成24年8月9日 ～8月11日	黒部市総合体育センター	一関工業高等専門学校(1) 福岡高等学校(2) 一関第一高等学校(5)
新 聞	平成24年8月8日 ～8月12日	ウイング・ウイング高岡	黒沢尻工業高等学校[新聞部](2) 盛岡白百合学園高等学校[新聞部](2)
文 芸	平成24年8月8日 ～8月10日	宇奈月国際会館[セレネ] 高岡市万葉歴史館[文学散歩] 立山博物館[文学散歩] 高志の国文学館	盛岡第三高等学校(2) 盛岡第四高等学校(2) 花巻北高等学校(1)
自然科学	平成24年8月10日 ～8月12日	入善町民会館[コスモホール] 立山青少年自然の家	盛岡農業高等学校(7) 福岡高等学校(2)

5 平成24年度 セミナーサポート事業

以下の各部門の延べ378校、3,030人の高校生を対象とした技術講習会を開催する経費を補助した。

部 門	期 日	会 場	参加者数等
書 道	平成24年11月5日	岩手県公会堂	43校 592人
美術工芸	平成24年7月24日	アイーナ	16校 108人
合 唱	平成24年5月29日 ～5月31日	岩手県民会館、二戸市文化会館、一関文化センター	13校
	平成24年6月20日 ～6月23日	一関文化センター、大船渡リソール、岩手県民会館、花巻なはんプラザ	18校
演 劇	平成24年6月1日 ～6月2日	岩手県民会館、岩手県公会堂	31校 371人
文 芸	平成24年10月4日	岩手県民会館中ホール	47校 250人
囲 碁	平成24年7月6日	岩手県高校教育会館	17校 87人
将 棋	平成24年6月30日	岩手県高校教育会館	26校 202人
器 楽	平成24年6月23日	盛岡劇場、河南公民館	5校 91人
写 真	平成24年9月21日	岩手県民会館中ホール	104人

第3章 教育施策の推進状況

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第2 中学生・高校生に対する文化活動支援 第3 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援

放送	平成24年7月8日	NHK盛岡放送局	8校 24人
	平成24年9月16日	岩手県民会館	20校 140人
	平成24年10月10日	岩手県民会館、テレビ岩手	20校 218人
	平成24年11月24日	岩手県民会館	13校 84人
	平成24年12月23日	岩手県民会館	10校 48人
郷土芸能	平成24年10月13日	二戸市民文化会館	16校 347人
	平成24年12月24日	岩手県民会館	10校 40人
新聞	平成24年10月12日	岩手県公会堂	7校 25人
自然科学	平成24年7月28日	岩手大学工学部	7校 41人
	平成24年6月30日 ～7月1日	国立天文台水沢V L B I 観測所	5校 7人
吟詠剣詩舞	平成24年10月5日	岩手県民会館中ホール	2校 6人
日本音楽	平成24年7月6日	一関文化センター	6校 96人
マーチングバンド・ バトントワリング	平成24年10月19日	岩手県営武道館（マーチング）	6校 153人
		盛岡体育館（バトン）	3校 33人
小倉百人一首かるた	平成24年6月30日 ～7月1日	ホテル金田一	5校 23人
軽音楽	平成24年9月11日	岩手県民会館中ホール	17校 133人

6 岩手県中学校文化連盟への補助

【補助事業】 第11回岩手中学校総合文化祭

〔開催日〕 平成24年11月22日……………開会式、舞台部門：参加者数 2,500人
平成24年11月22日～26日……………展示部門：参加者数 2,000人

〔会 場〕 岩手県民会館

【補助額】 1,288千円

第3 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援

優れた文化芸術の鑑賞への橋渡しを行う窓口の設置により、県民が気軽に紹介、アドバイス等を受けることができる体制づくりと文化芸術活動を行う団体、企業、行政等のネットワーク構築を政策地域部と連携して推進した。

○ 文化芸術ネットワークの設置

文化芸術活動者が必要とする支援をタイムリーに提供できるよう、支援を必要とする者と支えようとする者のマッチングを行いうる「文化芸術ネットワーク」を4広域圏に設置することを目指しており、平成22年2月に盛岡広域圏のネットワークが設立されているが、平成24年2月には県南広域振興圏においてネットワークが設立されている。

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第1 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

地域の優れた歴史、文化を十分認識することにより、県民が地域の誇りと保存管理の重要性を再確認し次代に継承していくことのひとつとして、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組みを着実に推進した結果、中尊寺ほか5資産が「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—」として登録された。また、柳之御所遺跡ほかの資産について、追加登録への取組を開始した。あわせて、柳之御所遺跡については、史跡公園としての整備活用を推進した。

「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」及び「九州・山口の近代化産業遺産群」について、関係道県や関係市町と連携を図りながら、世界遺産登録に向けた取組を推進した。

1 世界遺産登録の推進

(1) 世界遺産登録推進事業

「平泉の文化遺産」は、今後、柳之御所遺跡、達谷窟、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡、骨寺村荘園遺跡について、拡張による追加登録を目指していくため、有識者による平泉の文化遺産世界遺産拡張登録検討委員会を2回開催した。また、これまでの課題を整理し、今後の方向性について広く有識者の意見を聞くため、「平泉の文化遺産追加登録に係る国内専門家会議」を開催した。

登録された5資産に追加登録を目指す資産を加えた保存管理を適切に行うため、遺産影響評価や資産に対する受容力の調査を行った。

また、資産の保存管理に関する意識の向上を図るため、登録1周年記念講演会、県内の小中学校、高校等における「平泉出前授業」(20校)などの普及啓発事業を実施した。

【総事業費】16,786千円

- 登録1周年記念講演会

【期日】平成24年7月8日

【会場】平泉文化遺産センター

【入場者数】約100人

【内容】「20世紀の平泉から21世紀の平泉へ」（講演会等）

- 平泉出前授業

実施校数：小学校13校、中学校2校、高等学校5校

- 教員を対象とする平泉現地研修会

【期日】平成25年3月27日

【参加者】6名（小学校2名、中学校2名、高等学校1名、その他1名）

- 登録記念誌の発行

【発行部数】600部（関係機関等に配布）

(2) 縄文世界遺産登録支援事業

北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県に所在する縄文遺跡群は、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として、平成21年1月5日にユネスコ世界遺産センターの世界遺産暫定一覧表に記載された（本県では一戸町の御所野遺跡が構成資産）。

第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第1 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

この「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を推進するため、専門家委員会及び国際会議等を開催し、構成資産及び縄文時代・縄文文化についての定義づけ等の検討を行った。

併せて、4道県共通リーフレットを世界遺産委員会で配布した。また、岩手県縄文フォーラムを開催し、縄文遺跡群の価値についての普及活動を行った。

【総事業費】 8,124千円

○岩手県縄文フォーラム

【期日】 平成24年11月1日 【会場】 岩手県民交流センター 【入場者数】 350人

【内容】 講演会、ディスカッション

(3) 九州・山口の近代化産業遺産群世界遺産登録推進事業

「九州・山口の近代化産業遺産群」は、産業遺産分野におけるシリアル・ノミネーションによる世界遺産登録を目指しており、平成21年1月に世界遺産暫定一覧表に追加記載され、10月の専門家委員会において「橋野鉦山と製鉄遺跡（釜石市）」などが構成資産候補として提言された。

県では釜石市と協議し、平成23年度からは正式な構成機関として参加し、九州・山口の関係自治体と協力しながら、世界遺産登録に向けた取組を行った。

【総事業費】 7,764千円

2 柳之御所遺跡の整備活用

(1) 柳之御所遺跡整備調査事業

奥州藤原氏の政庁「平泉館」と推定されている柳之御所遺跡の史跡整備及び内容確認のための発掘調査を行った。あわせて調査整備指導委員会を開催した。

【総事業費】 91,252千円

(2) 柳之御所遺跡土地公有化事業

史跡の恒久的な保全を図るため、柳之御所遺跡内の民有地の公有化を推進した。

【総事業費】 43,815千円

(3) 平泉文化研究機関整備推進事業

平泉文化の研究成果を公開する場として、平泉文化フォーラムを開催した。また、共同研究を推進し、平泉文化研究年報「第13号」として、その成果をまとめた。

【総事業費】 2,990千円

○ 平泉文化フォーラム

【期日】 平成25年2月2～3日 【会場】 奥州市文化会館Zホール

【入場者数】 450人

【内容】 基調講演、共同研究発表、調査成果報告

第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

地域の歴史や風土の中で培われてきた伝統芸能や文化財等を内外に広く情報発信したほか、次代を担う子どもたちが郷土の歴史や文化を十分に理解し、進んで継承していけるよう様々な取組を支援した。

1 文化財の保存と管理

(1) 岩手県文化財保護審議会の開催状況

	期 日	会 場	審議事項
第1回岩手県文化財保護審議会	平成24年9月14日	県庁12階特別会議室	岩手県指定文化財の指定について(2件)
第2回岩手県文化財保護審議会	平成25年2月8日	プラザおでつて3階 大会議室	岩手県指定文化財の指定について(5件)

(2) 文化財の指定

【天然記念物の指定】

平成24年11月13日 岩手県教育委員会告示第2号

指定番号	種別	名 称	員数
有第242号	彫刻	木造十一面観音立像	1体
		附 胎内仏・木造僧形立像	1体

平成24年11月13日 岩手県教育委員会告示第3号

指定番号	名 称	保持団体
無民第36号	一戸の山伏 神楽	高屋敷神楽保存会 中山神楽保存会

(3) 文化財の保存修理及び保護対策事業

ア 文化財保存修理事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
国指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業	平泉町ほか1件	38,917	9,685
国指定文化財・指定史跡等購入事業	平泉町	45,859	4,586
県指定文化財・天然記念物保護増殖事業	雫石町	252	126
県指定文化財・修理・防災事業	一関市	815	407
(災)国選定・重要伝統的建造物群保存地区保存事業	金ヶ崎町	6,735	1,010
(災)国指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業	平泉町	15,579	2,308
(災)県指定文化財・修理・防災事業	盛岡市ほか3件	6,349	3,172

イ カモシカ保護対策事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
食害対策	大船渡市ほか3市町	3,165	1,582

(4) 文化財の調査

ア 指定候補物件調査

種 別	名 称	実施期日
無形民俗文化財	布佐神楽	平成24年4月29日
有形文化財	南部家伝来装束	平成24年12月20日、25年1月9日
有形文化財	大槻家旧蔵板木	平成24年12月27日
有形文化財	軽邑耕作鈔	平成25年1月10日

第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

イ 文化財パトロール事業 【総事業費】 1,275千円

ウ カモシカ特別調査事業 【総事業費】 1,617千円

エ カモシカ通常調査事業 【総事業費】 0千円

(5) 美術銃砲刀剣類の登録

【平成24年度登録件数】 105件 【総登録件数】 33,309件

2 埋蔵文化財の保護

(1) 県内遺跡発掘調査事業

ア 発掘調査

事業名	調査地区
北上川中流域河川改修工事（千苧遺跡、立花南遺跡、小鳥崎館跡）	北上市
東北横断自動車道釜石秋田線新直轄事業（新田Ⅱ遺跡）	遠野市
主要地方道盛岡和賀線道路改良工事（二又遺跡）	盛岡市
県道中尊寺通り改良事業（無量光院跡）	平泉町
一般県道改良事業（不動館跡）	二戸市
宮古西道路（松山館跡）	宮古市
経営体育成基盤整備事業 南下幅北部地区（石田Ⅰ・Ⅱ遺跡、沢田遺跡）	奥州市
経営体育成基盤整備事業 古城2期地区（古城林遺跡、八反町遺跡）	奥州市
経営体育成基盤整備事業 都鳥3期地区（漆町遺跡）	奥州市
経営体育成基盤整備事業 石山地区（石山遺跡）	奥州市
経営体育成基盤整備事業 日形地区（石畑遺跡）	一関市
漁業集落防災強化事業・災害公営住宅建設事業 羅賀地区（野場Ⅰ遺跡）	田野畑村
防災集団移転促進事業 崎浜地区（中野遺跡）	大船渡市
漁業集落防災強化事業 大石地区（屋形遺跡）	釜石市
土地造成事業（花館跡）	陸前高田市

イ 試掘調査

事業名	調査地区
三陸沿岸道路	陸前高田市～洋野町
東北横断自動車道釜石秋田線	釜石市、遠野市
宮古盛岡横断道路	宮古市
久慈北道路	久慈市
警察施設災害復旧事業	大船渡市
災害公営住宅建設事業	山田町、大船渡市
復興基盤整備事業 下荒川地区	釜石市
復興基盤整備事業 広田地区	陸前高田市
農地等災害復旧事業	陸前高田市
防災集団移転促進事業 織笠地区	山田町
防災集団移転促進事業 米田・南浜地区	野田村
畑地帯総合整備事業 男神・米沢・湯田地区	二戸市

第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

経営体育成基盤整備事業 石山地区	奥州市
農地整備事業	盛岡市
県企業局大規模太陽光発電所建設事業	北上市

ほか173件

ウ 分布調査

事業名	調査地区
一般国道45号 三陸沿岸道路	田野畑村～普代村、普代村～久慈市、久慈市～青森県階上町
一般国道283号 遠野住田～遠野	遠野市
一般国道106号 盛岡宮古横断道路	宮古市～盛岡市
農用地災害復旧事業	陸前高田市、山田町、遠野市
経営体育成基盤精美事業 小瀬川地区	花巻市
経営体育成基盤精美事業 湯田北部地区	西和賀町
越喜来地区海岸災害復旧事業	大船渡市
災害関連緊急砂防事業 鳥谷沢地区	岩手町
港湾海岸災害復旧事業 磯鶏・藤原地区	宮古市
地域連携道路整備事業	奥州市

ほか 81件

(2) 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

遺跡等の埋蔵文化財の実態把握及び開発事業との調整のために、市町村が実施する調査に対して、その経費の一部を助成した。

○ 発掘調査等 11市4町で実施

(3) 岩手県立埋蔵文化財センターの充実

発掘調査により得られた諸資料の整理及びデータ化を進めるとともに、機関誌の発行や研修会を主催して文化財の普及活用を図るなど、管理運営や教育普及活動事業を充実した。

【埋蔵文化財センター受託事業】

ア 発掘調査【計20遺跡】

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省	北上市	千苺遺跡、立花南遺跡、小鳥崎館跡
	遠野市	新田Ⅱ遺跡
岩手県	盛岡市	二又遺跡
	二戸市	不動館跡
	宮古市	松山館跡
	奥州市	石田Ⅰ・Ⅱ遺跡、沢田遺跡、古城林遺跡、八反町遺跡、漆町遺跡、小林繁長遺跡、石山遺跡
	一関市	石畑遺跡
	平泉町	無量光院跡
田野畑村	田野畑村	野場Ⅰ遺跡
陸前高田市	陸前高田市	花館跡
大船渡市	大船渡市	中野遺跡
釜石市	釜石市	屋形遺跡

16冊、各300部発刊

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省	盛岡市	芋田沢田Ⅳ遺跡、芋田沢田Ⅵ遺跡、鶴飼遺跡
	遠野市	大畑Ⅲ遺跡
	花巻市	中嶋遺跡
	奥州市	下嵐江Ⅰ遺跡・下嵐江Ⅱ遺跡、大平野Ⅱ遺跡
岩手県	奥州市	八反町遺跡、中畑城跡、安久沢東遺跡、彼岸田遺跡、田高Ⅱ遺跡、銭倉遺跡、要害遺跡、堤遺跡、作屋敷遺跡
	一関市	小野遺跡、中神四日市遺跡、小野Ⅱ遺跡
盛岡市	盛岡市	飯岡才川遺跡第17次、飯岡才川遺跡第18・19次
宮古市	宮古市	佐原Ⅱ遺跡

イ 報告書の発刊【計22遺跡】

第3章 教育施策の推進状況

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

ウ 調査報告書

平成24年度発掘調査略報 330部

エ 普及事業

(ア) 第33回埋蔵文化財展

【期間】平成24年11月22日～25日

【場所】軽米町農村環境改善センター

【内容】県立博物館の移動展と連携し、地元での発掘成果を公開

(イ) 第33回埋蔵文化財発掘調査技術講習会

【期日】平成24年12月7日

【場所】岩手県立博物館講堂

【内容】『仙台平野の弥生時代・平安時代の津波跡』

講師 仙台市教育委員会 調査調整係長 斎野 裕彦

『岩手県内の火山灰と岩手噴火の影響および北上低地帯の地形』

講師 岩手大学教授 土井 宣夫

(ウ) 第15回遺跡報告会

【期日】平成25年2月16日

【場所】岩手県民会館中ホール

【内容】新田Ⅱ遺跡、野場Ⅰ遺跡、沢田遺跡、千苺遺跡、松山館跡の調査成果を報告

(エ) 第15回埋蔵文化財公開講座

【期日】平成25年2月16日

【場所】岩手県民会館中ホール

【内容】『古墳時代の東北北部と南部の社会』

講師 東北学院大学教授 辻 秀人

(オ) 所報「わらびて」の発行

年2回発行（126号～127号）

3 文化財の積極的な活用

(1) 遺跡周知事業

文化財保護法第95条第1項の規定に基づき、遺跡に関する諸資料の整備とその周知徹底を継続して行うとともに、市町村担当職員の研修で指導・助言を行った。

ア 遺跡台帳の改訂（電算化）

イ 遺跡基本図の改訂（電算化）

ウ 台帳、基本図の複製配布

エ 現地確認調査等の事前協議

オ 市町村文化財担当職員等の研修会における指導・助言

カ 文化財保護法関連諸書類処理

(2) 伝統芸能伝承活動促進事業

民俗芸能団体のネットワーク組織である県民俗芸能団体協議会において、団体相互の情報交換や共通課題の解決に取り組んでいる（平成25年3月31日現在379団体加入）。

また、公演機会を確保し後継者の育成を図るため、次の事業を委託実施した。

ア 岩手県青少年民俗芸能フェスティバル

【期日】平成24年9月15日 【会場】都南文化会館キャラホール（盛岡市）【鑑賞者数】840人

イ 岩手県民俗芸能大会

【期日】平成24年7月22日 【会場】田園ホール（矢巾町）【鑑賞者数】700人

第11節 生涯スポーツの振興

県民のだれもがそれぞれのライフステージにおいて、興味関心、目的や適性等に応じて、「する、みる、支える」スポーツに親しみ、スポーツが生活の一部として日々の暮らしに定着していくことを目指し各事業を展開した。

第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

「する・みる・支える」といった多様なスポーツ参加を推し進め、県民のだれもが、生涯にわたって、自主的にスポーツに親しむ生涯スポーツの振興を図った。

1 「生涯スポーツ推進月間」の充実

「生涯スポーツ推進月間」を設定し広く県民に周知したことにより、各市町村において、それぞれの地域の特色ある各種スポーツ大会等が多数開催され、多くの県民が参加した。

事業名	事業件数	参加人数
生涯スポーツ推進月間	192 件	104,852 名

第3章 教育施策の推進状況

第11節 生涯スポーツの振興

第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

生涯スポーツ振興の拠点となる総合型等の地域スポーツクラブの創設・育成を図るとともに、県民の多様なニーズに対応できるよう、専門的知識と実践力を持った生涯スポーツ指導者の養成や資質向上を図った。

1 総合型地域スポーツクラブの創設・育成

県広域スポーツセンターが中心となり、関係機関と連携をとりながら巡回指導等を行い、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を図った。

【総合型地域スポーツクラブ創設状況（平成24年7月1日現在）】

[単位：クラブ、人]

市町村名	創設済クラブ		創設準備中 クラブ数	クラブ数 合計	市町村名	創設済クラブ		創設準備中 クラブ数	クラブ数 合計
	クラブ数	加入者数				クラブ数	加入者数		
盛岡市	5	530	3	8	陸前高田市	—	—	—	—
八幡平市	—	—	—	—	住田町	1	86	—	1
雫石町	1	3,250	1	2	釜石市	2	204	—	2
葛巻町	1	0	—	1	大槌町	1	0	—	1
岩手町	—	—	1	1	宮古市	1	843	—	1
滝沢村	1	383	—	1	山田町	—	—	—	—
紫波町	1	74	—	1	岩泉町	—	—	1	1
矢巾町	1	206	—	1	田野畑村	1	—	—	1
花巻市	2	552	—	2	久慈市	1	97	3	4
遠野市	9	4,155	—	9	洋野町	1	261	—	1
北上市	4	12,283	1	5	野田村	—	—	1	1
西和賀町	—	—	1	1	普代村	1	74	—	1
奥州市	5	6,361	—	5	二戸市	2	477	—	2
金ケ崎町	2	176	—	2	軽米町	—	—	2	2
一関市	2	9,025	5	7	九戸村	—	—	—	—
平泉町	—	—	1	1	一戸町	2	299	—	2
大船渡市	1	93	—	1	計	48	39,567	20	68

2 指導者の養成確保及び資質向上

各種講習会、研修会等を開催し、指導者の養成確保及び資質の向上を図った。

【生涯スポーツ関係事業等実施状況】

(1) 市町村生涯スポーツ担当者研修会

【期日】平成24年4月27日 【場所】盛岡市 【参加者数】34人

(2) 総合型地域スポーツクラブ運営研修会

【期日】平成24年6月15日 【場所】一戸町 【参加者数】71人

(3) 生涯スポーツ指導者講習会

【期日】平成24年8月9日 【場所】盛岡市 【参加者数】51人

(4) 岩手県スポーツ推進委員研修会

【期日】平成24年9月14日～15日 【場所】花巻市 【参加者数】237人

(5) 生涯スポーツ推進研究大会兼体育施設関係者講習会

【期日】平成24年11月9日 【場所】盛岡市 【参加者数】96人

3 施設の整備充実

(1) 県営体育施設の状況

県営体育施設は、本県の中心的スポーツ施設として、全国規模の大会をはじめ、全県的な各種競技会の開催を通じて、本県スポーツの振興に大きな役割を果たしている。

県教育委員会で所管する体育施設は、次の7施設であり、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図るため、指定管理者制度を導入している。

県営運動公園ほか5施設は公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団が、県営スキージャンプ場は八幡平市が指定管理者に指定されている。

ア 県営運動公園（陸上競技場、補助競技場、野球場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート、登はん競技場、交通公園）

イ 県営体育館

ウ 県営野球場（グラウンド、屋内練習場、トレーニング室）

エ 県営スケート場

オ 県営武道館（大道場、柔道場、剣道場、弓道場、相撲場、トレーニング室）

カ 県立御所湖広域公園艇庫

キ 県営スキージャンプ場

(2) 県営体育施設設備の整備

利用者が安全に楽しく利用できるよう、平成24年度は、次の施設・設備の改修工事等を行った。

ア 県営野球場スコアボードS・B判定表示灯改修工事

イ 県営野球場放送設備改修工事

ウ 県営野球場間仕切り工事

エ 県営スケート場ターボ冷凍機操作盤改修工事

オ 県営体育館アリーナ床研磨塗装等改修工事

カ 県営体育館南側玄関床防水改修工事

キ 県営スケート場食堂棟2階エアコン設置等工事

ク 県営スケート場食堂棟量水器設置工事

ケ 県営スケート場食堂棟2階ビジネスホン設置工事

コ 県営スケート場食堂棟2階ひかり回線引込付帯工事

第3章 教育施策の推進状況
 第11節 生涯スポーツの振興
 第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

(3) 県営体育施設の利用状況

[単位：日、件、人]

施設名	区分	開館日数	利用件数	利用人数
県営運動公園		365	11,883	602,501
県営体育館		317	1,086	69,870
県営野球場		323	1,721	149,360
県営スケート場		288	740	30,739
県営武道館		322	3,363	166,869
県立御所湖広域公園艇庫		166	1,130	8,825
県営スキージャンプ場		342	54	770
計		—	19,977	1,028,934

4 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団の事業

公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団は、県教育委員会等から指定管理者の指定及び業務委託を受け、施設管理及び各種事業を行っている。

県立青少年の家3施設における開催事業は、113～117ページのとおり。

それ以外の県営体育施設等における開催事業は、以下153ページまでのとおり。

【公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事務局 平成24年度受託事業及び自主事業】

- | <p>1 被災地スポーツ支援事業
 【期日】4月～3月 7市町村 33件
 【場所】県内避難仮設住宅・被災地等 【参加者数】1,274人</p> <p>2 巡回グランド・ゴルフ交流会
 【期日】4月～10月
 【場所】陸前高田市横田小学校・山田町・久慈市 3市町村 23件
 【参加者数】323人</p> <p>3 クライミング無料体験会</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>場 所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月5日</td> <td rowspan="2">県営運動公園登はん場</td> <td>186人</td> </tr> <tr> <td>10月8日</td> <td>412人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 親子スポーツ教室
 【内容】ランニング教室、野球教室、リズム体操教室等
 【期日】5月～2月 計6回
 【場所】県営運動公園陸上競技場他 【参加者数】522人</p> <p>5 指導者派遣事業
 【期日】5月～2月 18市町村 54件
 【場所】各市町村施設等 【参加者数】2,395人</p> <p>6 第24回湖上フェスティバル
 【期日】7月29日
 【場所】県立御所湖広域公園艇庫 【参加者数】233人</p> <p>7 第19回県民スポーツ・レクリエーション祭
 【期日】9月～11月 10種目
 【場所】県営体育施設 【参加者数】2,841人</p> | 期日 | 場 所 | 参加者数 | 5月5日 | 県営運動公園登はん場 | 186人 | 10月8日 | 412人 | <p>8 高齢者健康・体づくり指導者セミナー
 【期日】9月13日
 【場所】県営武道館 【参加者数】97人</p> <p>9 スポーツフェスティバル2012
 【期日】10月8日
 【場所】県営体育施設 【参加者数】18,311人</p> <p>10 スケート場オープニング事業
 【期日】11月3日
 【場所】県営スケート場 【参加者数】1,124人</p> <p>11 スケートキッズonサタデー
 【期日】11月～2月の土曜日 計15回
 【場所】県営スケート場 【参加者数】6,367人</p> <p>12 ジャグリング教室
 【期日】11月17日
 【場所】身障者体育館 【参加者数】59人</p> <p>13 第26回氷上フェスティバル
 【期日】12月15日
 【場所】県営スケート場 【参加者数】406人</p> <p>14 武道教室
 【内容】柔道、剣道、なぎなた、弓道、空手道 他
 【期日】4月～3月 計723回
 【場所】県営武道館 【参加者数】12,562人</p> <p>15 岩手県体育施設関係者講習会
 【期日】11月9日
 【場所】ふれあいランド岩手 【参加者数】96人</p> |
|--|------------|------|------|------|------------|------|-------|------|---|
| 期日 | 場 所 | 参加者数 | | | | | | | |
| 5月5日 | 県営運動公園登はん場 | 186人 | | | | | | | |
| 10月8日 | | 412人 | | | | | | | |

第3章 教育施策の推進状況

第11節 生涯スポーツの振興

第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

- 16 健康・体力づくり運動の指導プログラムに関する研究
【期日】 通年
- 17 【自主事業】健康歩き方教室
【期日】 5月19日
【場所】 県営運動公園～東北農業研究センター
【参加者】 20人
- 18 【自主事業】すまいるグラウンド・ゴルフ練習会
【期日】 5月～10月 計18回
【場所】 県営運動公園陸上競技場他 【参加者数】 1,546人
- 19 【自主事業】すまいるグラウンド・ゴルフ交流会
【期日】 6月～10月 計3回
【場所】 県営運動公園陸上競技場他 【参加者数】 511人
- 20 【自主事業】すまいるソフトテニス教室
【期日】 5月～11月 計16回
【場所】 県営運動公園テニスコート 【参加者数】 288人
- 21 【自主事業】理事長杯グラウンド・ゴルフチャンピオン大会
【期日】 11月7日
【場所】 県営運動公園陸上競技場他 【参加者数】 109人
- 22 【自主事業】スポ振ぶらんちクラブ
ノルディックウォーキング
【期日】 5月～10月 計16回
【場所】 県営運動公園内 【参加者数】 402人
- 23 【自主事業】スポ振いぶにんぐクラブ
【内容】 ノルディックウォーキング、ボルダリング教室
【期日】 8月～2月 計14回
【場所】 県営運動公園内 【参加者数】 181人
- 24 【自主事業】スポーツフェスティバル2012
【内容】 フリーマーケット、屋台村
【期日】 10月8日
- 25 【自主事業】大きく育て木賊川稚魚放流
【期日】 10月8日
【場所】 運動公園内木賊川 【参加者数】 45人
- 26 【自主事業】親子で雪っこ体験教室
【期日】 1月26日
【場所】 県営運動公園陸上競技場 【参加者数】 51人
- 27 【自主事業】運動公園フォトコンテスト
【期日】 作品募集：5月～、作品展示：～2月
【場所】 県営運動公園 【参加者数】 21人
- 28 【自主事業】植物・樹木観察会
【期日】 6月15日
【場所】 県営運動公園日本庭園 【参加者数】 113人
- 29 【自主事業】夏休み1dayキッズサッカースクール
【期日】 8月7日
【場所】 県営運動公園陸上競技場 【参加者数】 93人
- 30 【自主事業】すまいる卓球Room
【期日】 通年
【場所】 県営運動公園ふれあいハウス 【参加者数】 794人
- 31 【自主事業】すまいるウォーキングクラブ
【期日】 通年
【場所】 県営運動公園内 【参加者数】 70人

【県営体育館 平成24年度自主事業】

1 ぶらんちクラブ

	期 間	参加者数
第1回	5月10日～7月12日 計7回	475人
第2回	8月2日～9月20日 計7回	326人

2 スポーツナイト on Tuesday

【期日】 6月～7月の火曜日 計5回
【参加者数】 208人

3 スポ振いぶにんぐクラブ

【期日】 8月～9月 計13回
【参加者数】 213人

4 盛年ソフトテニスミックスダブルス大会

【期日】 2月23日
【参加者数】 32人

5 理事長杯ソフトテニスダブルス大会

【期日】 2月24日
【参加者数】 18人

第3章 教育施策の推進状況

第11節 生涯スポーツの振興

第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

【県営武道館 平成24年度自主事業】

1 ぶらんちスポーツクラブ

	期 間	参加者数
第1回	5月8日～7月27日 計16回	885人
第2回	8月3日～10月19日 計14回	768人
第3回	11月6日～2月25日 計16回	813人

2 弓道教室

【期日】6月～7月の月・木曜日 計10回
【参加者数】56人

3 スポ振いぶにんぐクラブ

【期日】8月～10月 計6回
【参加者数】21人

4 スポーツフェスティバル2012

【内容】武道交流会
【期日】10月8日 【参加者数】1,158人

5 スポーツフェスティバル2012

【内容】ちびっこ相撲大会
【期日】10月8日 【参加者数】400人

6 少年柔道教室

【期日】12月22日～24日 【参加者数】300人

7 少年剣道教室

【期日】1月8日～10日 【参加者数】80人

【県営野球場 平成24年度自主事業】

1 県営野球場バランスボール教室

【期日】5月～2月 計24回 【参加者数】244人

2 スポーツフェスティバル2012

【内容】復興支援学童軟式野球大会
【期日】10月8日 【参加者数】1,854人

3 中学生野球教室（楽天野球塾）

【期日】11月17日 【参加者数】60人

4 屋内グラウンド・ゴルフ練習会、記録会

【期日】11月～2月の火・金曜日 計28回
【参加者数】2,070人

【県立御所湖広域公園艇庫 平成24年度自主事業】

1 御所湖探検カヌー教室

	期 日	参加者数
第1回	5月27日	19人
第2回	6月9日	21人
第3回	6月10日	20人

2 親子カヌー教室

	期 日	参加者数
第1回	7月22日	17人
第2回	8月4日	22人

3 レディースカヌー教室

【期日】7月21日
【参加者数】5人

4 スポーツフェスティバル2012

【内容】カヌー・ボート無料体験
【期日】10月8日
【参加者数】159人

【県営スケート場 平成24年度自主事業】

1 スケート教室

【期日】12月～2月の日曜日 計10回
【参加者数】157人

2 スケート場オープニング事業 スケートレッスンタイム

【期日】11月3日 【参加者数】20人

3 第26回氷上フェスティバル スケートレッスンタイム

【期日】12月15日 【参加者数】15人

4 ステップアップ教室

【期日】1月8日～10日 【参加者数】29人

第3章 教育施策の推進状況

第11節 生涯スポーツの振興

第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

【県立花巻広域公園 平成24年度自主事業】

1 ぎんがのもり春まつり

【期日】 5月4日 【参加者数】 105人

2 ちびっこ写生会

【期日】 5月4日～11月30日 【参加者数】 10人

3 ぎんがのりグラウンド・ゴルフ練習会

【期日】 5月11日～10月26日 【参加者数】 187人

4 ぎんがのもり探検隊 自然観察会

	期 日	参加者数
第1回	6月2日	雨天中止
第2回	7月7日	25人
第3回	9月22日	雨天中止

5 ぎんがのもり森の恵み工作

	期 日	参加者数
第1回	6月17日	35人
第2回	9月16日	100人
第3回	10月7日	100人

6 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ大会

	期 日	参加者数
第1回	7月13日	107人
第2回	8月31日	124人
第3回	9月21日	94人
第4回	10月19日	105人

7 ぎんがのもり夏まつり

【期日】 7月22日 【参加者数】 1,900人

8 ぎんがのもり秋まつり

【期日】 10月7日 【参加者数】 3,300人

9 ぎんがのもりキッズサッカー学校

【期日】 10月14日 【参加者数】 80人

10 初心者ゴルフ教室

	期 日	参加者数
第1回	4月17日、4月24日	15人
第2回	6月19日、6月26日	17人
第3回	10月15日、10月29日	17人

11 ゴルフ教室

	期 日	参加者数
第1回	5月8日～5月29日	52人
第2回	7月3日～7月24日	52人
第3回	9月4日～9月25日	59人

12 親子ゴルフ教室

【期日】 7月28日～8月5日 【参加者数】 14人

【県勤労身体障がい者体育館 平成24年度自主事業】

1 東北車椅子バスケットボール交流会

【期日】 6月3日 【参加者数】 29人

2 ニュースポーツ交流会

【期日】 6月10日、12月15日 【参加者数】 59人

3 ピンポン交流会

【期日】 7月5日 【参加者数】 7人

4 バスケットボールフェスタ

【期日】 9月22日～23日 【参加者数】 49人

5 けやき祭り

【期日】 9月30日 【参加者数】 50人

6 いきいきフィットネスクラブ

【期日】 6月13日～11月21日 計12回
【参加者数】 63人

7 電動車椅子サッカー交流会

【期日】 10月14日 【参加者数】 28人

6 バレーボール交流会

【期日】 11月23日 【参加者数】 51人

第3 ネットワークの広がり

生涯スポーツを推進する団体等の連携を充実させるため、広域スポーツセンター機能の拡大と充実を図るとともに、県民の多様なニーズに応えるネットワークの構築を図った。

1 生涯スポーツに関する情報提供

広域スポーツセンターホームページにより、県民に対し生涯スポーツに関する情報の提供を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等生涯スポーツを推進する団体間の連携強化を図った。

2 平成24年度各種登録指導者数

- (1) 県スポーツリーダーバンク登録者…… 625人
- (2) 地域スポーツ指導者……1,791人（前年比 35人増）
- (3) 競技力向上指導者…… 317人（前年比 19人増）
- (4) 商業スポーツ施設指導者…… 42人（前年比 2人減）
- (5) フィットネス系資格指導者…… 127人（前年比 16人増）
- (6) メディカル・コンディショニング資格指導者…… 79人（前年比 2人増）
- (7) 総合型地域スポーツクラブ資格…… 87人（前年比 27人増）
- (8) レクリエーション関係資格指導者……1,268人（前年比 171人増）
- (9) 県スポーツ少年団指導者……5,392人（前年比 272人減）

第12節 競技スポーツの強化

第1 中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成

1 優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発

将来世界に羽ばたくアスリートの輩出を目指して、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」を実施し、下記のプログラムを行うことにより、優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発を行った。

プログラム名	実施回数
スペシャルスクール	8回
コンディショニングスクール	7回
クロストレーニングスクール	9回
トレーニングキャンプ（夏季・冬季）	2回
キッズトライアル（競技体験）	2回
体力測定（3月・8月）	2回

2 選手の育成・強化

平成28年国民体育大会の本県開催に向けて、「県民」「企業」「団体」等と協働する岩手型の競技力向上対策として各種強化事業を実施した。

事業名	対象
ジュニア選手強化事業	中学生 32 競技・高校生 38 競技
トップ選手強化事業	38 競技団体
強化指定クラブ支援	少年種別 20 競技・成年種別 13 競技
重点競技強化事業	Aランク 6 競技・Bランク 11 競技

3 指導体制の確立

指導者の養成及び資質の向上を図るため、指導者スキルアップ事業やコーチ派遣事業等を実施した。

4 各種全国大会の結果

第67回国民体育大会の本県の成績は、男女総合成績（天皇杯）は39位[790点]となり、前回の41位[715点]と比較して順位を2位、得点を75点上げている。

また、入賞数は19競技64種目とし、前回の14競技から5競技増、47種目から17種目増としている。

大会名	入賞数
第67回国民体育大会	64
平成24年度全国高等学校総合体育大会	30
平成24年度全国中学校体育大会	15

第3章 教育施策の推進状況

第12節 競技スポーツの強化

第2 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援 第3 広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援

第2 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援

1 学校体育団体との連携強化

ジュニア期の強化のため、その母体となっている学校体育団体との連携を一層強化することとし、中学校・高等学校の連携による継続指導等、選手強化の重点化を図った。

2 一貫指導システムの構築

各競技団体において、系統的な選手育成を図るため、各中央競技団体の進めている一貫指導システムを積極的に取り入れ、小中高一貫指導プランの作成を推進した。（41 競技団体内 38 競技団体が作成）

3 主要体育大会（県内開催）

体育大会名	期 日	会 場
第64回岩手県高等学校総合体育大会	平成24年 5月18日～6月24日	盛岡市ほか
第59回岩手県中学校総合体育大会	平成24年 7月20日～7月23日	盛岡市ほか
平成24年度全国高等学校総合体育大会（夏季大会）	平成24年 7月28日～8月20日	新潟県ほか
第62回岩手県高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会	平成24年11月11日～12月17日	盛岡市
第45回岩手県中学校スケート大会	平成24年11月11日～12月16日	盛岡市
第62回岩手県中学校スキー大会	平成25年 1月11日～1月14日	八幡平市
第62回岩手県高等学校スキー大会	平成25年 1月12日～1月14日	八幡平市

4 学校体育団体助成

団体名	助成金額
岩手県中学校体育連盟	23,912千円
岩手県高等学校体育連盟	60,763千円

第3 広いスポーツの基盤に支えられたスポーツ拠点化に向けた支援

平成 28 年に開催予定の岩手国体に向けて競技者等の裾野を広げ、広範なサポート体制を形成しながら、国体会場地市町村を中心としたスポーツ拠点化を推進する。

【震災の影響により、23 年度以降事業取り止め】

第3章 教育施策の推進状況

第12節 競技スポーツの強化

第4 スポーツ医・科学サポート体制の充実

第4 スポーツ医・科学サポート体制の充実

競技者の育成を組織的かつ戦略的に行うためには、スポーツ医・科学に基づいたトレーニング、コーチングの本格的実施が不可欠であるため、スポーツ医・科学サポートスタッフの養成やプログラムの研究や開発などを推進し、スポーツ医・科学体制の整備・拡充を図る。

また、第71回国民体育大会に向け、国体選手等の競技力向上や指導者の資質向上を図るため、専門的スタッフ等の人員配置など、スポーツ健康科学サポート推進事業の実施体制の整備を進めた。

実施事業	実施回数
セミナー（第2期生）	7回
トレーナー実習（第2期生）	12回
データ活用事業	3回

[参考] 各県営施設で開催された主な競技会・イベント等

平成24年度に各県営施設において開催された主な競技会・イベント等は以下のとおりであること。

[単位：人]

施設	競技会等の名称	期日	参加者数 (入場者数)
県営運動公園	プレナスなでしこリーグ2012公式戦	平成24年4月29日	7,032
県営体育館	日本プロバスケットボールリーグ公式戦 (bjリーグ)	平成24年4月28日・29日	2,200
	第82回全東北学生競技ダンス選手権大会	平成24年5月5日	450
	第58回東北学生バドミントン選手権大会	平成24年6月3日～9日	2,100
	みちのくプロレス盛岡大会	平成24年9月2日	900
	日本プロバスケットボールリーグ公式戦 (bjリーグ)	平成24年10月20日・21日	2,300
	プロレスノア盛岡大会	平成24年11月14日	500
	第4回全日本クラブシニアバスケットボール選手権大会	平成24年11月23日～25日	680
	大日本プロレス盛岡大会	平成24年12月24日	400
	全日本プロレス盛岡大会	平成25年3月15日	750
県営野球場	第35回(財)全日本リトル野球協会リトルシニア東北連盟春季東北大会	平成24年5月5日・6日	2,540
	第83回都市対抗野球第2次予選東北大会	平成24年6月2日～8日	8,000
	プロ野球マツダオールスターゲーム2012	平成24年7月23日	15,506
	プロ野球パ・リーグ公式戦	平成24年7月31日	10,510
	プロ野球パ・リーグ公式戦	平成24年8月29日	15,270
県営スケート場	2012/2013ジャパンカップスピードスケート競技会第3戦	平成24年11月30日～12月2日	600
県営武道館	マルちゃん杯東北少年柔道大会	平成24年5月12日・13日	2,700
	東北高等学校なぎなた選手権大会	平成24年6月22日～24日	150
	東北北海道対抗剣道大会	平成24年7月7日・8日	150
	東北地区高等学校弓道錬成大会	平成24年8月8日～10日	200
	全日本学生柔道体重別選手権大会東北予選会	平成24年9月1日・2日	260
	東北中学校春季柔道大会	平成25年3月16日・17日	500

第4章 厚生福利

第1節 公立学校共済組合

第1 短期給付事業

第2 長期給付事業

第4章 厚生福利

第1節 公立学校共済組合

公立学校共済組合の事業には、短期及び長期の給付事業と、組合員の福利厚生事業、組合員に対する貸付事業並びに宿泊施設の経営等があり、これらに必要な費用は、組合員の掛金と地方公共団体の負担金をもって充てている。

【組合員及び被扶養者数（平成24年度末）】 [単位：人]

区 分	組合員数	被扶養者数
一般	13,118	——
うち男	6,799	——
女	6,319	——
長期	0	——
船員	26	——
任意継続	362	——
計	13,506	13,482

第1 短期給付事業

○ 収支状況（平成24年度）

【収入】 [単位：千円]

区 分	金 額
短期負担金	3,885,338
介護負担金	340,096
短期掛金	3,855,640
介護掛金	340,030
短期任意継続掛金	137,112
介護任意継続掛金	14,736
利息及び配当金	0
賠償金	1,581
計	8,574,533

【支出】 [単位：千円]

区 分	金 額
法定給付	3,717,675
附加給付	110,084
一部負担金払戻金	56,709
短期任意継続掛金還付	6,145
介護任意継続掛金還付	668
計	3,891,281

収支差額（本部送金）	4,683,252
------------	-----------

第2 長期給付事業

年金給付等の財源として本部へ送金した。

【収入の状況（平成24年度）】 [単位：千円]

区 分	金 額
負担金	11,330,495
追加費用負担金	5,774,442
掛金	7,733,683
利息及び配当金	0
計	24,838,620

第3 福利厚生事業

1 人間ドック

利用を希望する組合員1,136人を対象に、以下の8医療機関において、事業費55,304千円で実施した。

【利用状況】 [単位：人]

医療機関名	利用人数
公立学校共済組合東北中央病院	334
県立中央病院	101
岩手医科大学附属病院	118
北上済生会病院	35
盛岡赤十字病院	156
松園第二病院	29
岩手県予防医学協会	333
滝沢中央病院	30
計	1,136

2 脳ドック

脳疾患の早期発見、早期治療を目的として、45歳以上の希望する組合員582人を対象に、以下の6医療機関において、事業費23,222千円で実施した。

【利用状況】 [単位：人]

医療機関名	利用人数
公立学校共済組合東北中央病院	150
県立中央病院	38
県立中部病院	49
盛岡赤十字病院	93
北上済生会病院	97
県予防医学協会 本所	155
計	582

3 ライフプラン総合講座

組合員の健康管理意識を高め、健康の保持・増進を図るため、健康管理講座を実施した。

【受講者数】 205人 【事業費】 1,246千円

4 メンタルヘルスサポート事業

こころの健康の保持・増進とこころの病気の早期発見・早期対応、再発予防を図るため、県教育委員会と共催で、メンタルヘルスに関する以下のセミナーを実施した。 [単位：人]

区分	目的	対象者	期日	回数(開催地)	参加者数
教職員のためのメンタルヘルスセミナー	メンタルヘルスに関する基礎知識と理解を深め、相互支援できる職場環境の醸成を図る。	一般教職員	平成24年8月1日、7日、10日	4回(盛岡市、北上市②、宮古市)	195
管理監督者のためのメンタルヘルスセミナー	メンタルヘルスに関する知識や対応方法について習得を図る。	管理監督者	平成24年7月3日、9月19～20日	3回(大船渡市、釜石市、盛岡市)	255
管理監督者メンタルヘルス特別セミナー	災害起因の心身不調、人事異動に伴う体調不良等への対応等について、専門医から助言を受ける。	管理監督者	平成24年12月27日	1回(盛岡市)	243

5 施設利用補助(サンセール盛岡利用補助)

組合員等によるサンセール盛岡の利用に対し、計63,035千円を補助した。

区分	利用人数等	補助額(千円)	補助の概要
宿泊	2,342人	4,684	宿泊利用1人につき、2,000円を補助
会食	17,710人	51,395	会食利用1人につき、利用額に応じ3,000円～1,000円を補助
婚礼	3組	450	婚礼披露宴利用1組につき、最高15万円を補助
法事・慶事	15組	937	法要・慶事利用1組につき、最高20万円を補助
その他	831件	5,569	会議室利用等に補助
計		63,035	

第4章 厚生福利

第1節 公立学校共済組合

第4 貸付事業

第5 宿泊施設

第4 貸付事業

組合員が臨時に資金を必要とする場合に貸付を行っており、平成24年度における新規貸付の状況は次のとおりである。

【平成24年度新規貸付件数】

[単位：件、千円]

区分	件数	貸付金額	制度の概要
一般貸付	75	89,800	組合員が臨時に資金を必要とする場合 □限度額 200万円
住宅貸付	7	36,654	組合員が自己用の住宅の新築等をする場合 □限度額 1,800万円
住宅災害貸付	1	13,700	住宅に非常災害を受け、新築等をする場合 □限度額 1,900万円
教育貸付	11	25,000	組合員やその子弟が大学等に入学する場合 □限度額 550万円
医療貸付	1	1,200	組合員やその親族が医療を受ける場合 □限度額 120万円
結婚貸付	4	5,700	組合員やその子が結婚する場合 □限度額 200万円
葬祭貸付	2	2,100	組合員が親族の葬祭を行う場合 □限度額 200万円
高額医療貸付	0	0	組合員が高額療養費を支払う場合 □限度額：高額療養費相当額
災害貸付	0	0	組合員や被扶養者が非常災害を受けた場合 □限度額 200万円
出産貸付	0	0	組合員が出産費を支払う場合 □限度額：出産費相当額
計	101	174,154	

第5 宿泊施設

岩手支部は、組合員等の福利厚生施設として、盛岡宿泊所「サンセール盛岡」を設置している。当該施設は、組合員に限らず広く一般県民に利用されており、その利用状況は次のとおりである。

区分等	利用状況	備考	
宿泊部門	収容定員	79人	
	宿泊可能人数	28,835人	収容定員79人×営業日数365日
	宿泊延べ人数	11,130人	
	利用率	38.6%	11,130人÷28,835人
宿泊外部部門	収容定員	848人	
	利用可能人数	309,520人	収容定員848人×営業日数365日
	利用延べ人数	99,265人	
	うち会議利用	44,691人	
	宴会利用	39,762人	
	婚礼利用	342人	
	グリル等	14,470人	
利用率	32.1%	99,265人÷309,520人	
計	110,395人	宿泊延べ人数11,130人+宿泊外利用延べ人数99,265人	

第4章 厚生福利

第2節 教職員互助会

第1 短期給付事業

第2 長期給付事業

第3 厚生福利事業

第2節 教職員互助会

本県における教育文化の振興発展に寄与し、併せて教職員及び教育関係職員の福利増進と生活の安定を図ることを目的として、以下の諸事業を実施した。

第1 短期給付事業

区 分	給付額 (円)	件数等	制度の概要
療養給付金	82,966,754	被扶養者 31,420件	被扶養者が療養を受けたとき給付
無給会員給付金	10,020,000	28条休職者 334件	会員が休職し無給となったとき給付 □28条休職者：3万円（平均12月）
出産保育費	7,500,000	会員…… 144人 配偶者… 106人	会員又は被扶養配偶者が出産したとき給付 □会員・配偶者：3万円
災害見舞金	11,650,000	42件	会員が火災等の災害を受けたとき損害の程度により給付 □3万円～60万円
弔慰金	8,400,000	会員………11人 配偶者…… 8人 被扶養者…13人	会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付 □会員：50万円、配偶者：20万円、被扶養者：10万円
計	120,536,754		

第2 長期給付事業

区 分	給付額 (円)	人 数	制度の概要
生きがい対策 支援助成金	110,322,904	559人 うち定年退職………236人 勸奨退職……… 84人 死亡退職……… 12人 普通退職……… 58人 特別会員……… 39人 その他（異動等）130人	会員資格6か月以上の会員が退会したとき給付 □会員期間1年につき8,500円を乗じて得た額 （1人平均197,357円）

第3 厚生福利事業

区 分	給付額 (円)	件数等	制度の概要
療養給付金	179,370,244	62,126件	会員が療養を受けたとき給付
入院見舞金	13,216,500	会員……… 10,096日 被扶養者… 16,339日	会員又は被扶養者が入院したとき給付 □会員・被扶養者：1日につき500円
介護休暇給付金	2,399,562	30件	会員が介護休暇を取得したとき給付。 □1日につき給料日額の100分の60に相当する額から 共済組合の介護休業手当金を控除した額。

第4章 厚生福利
 第2節 教職員互助会
 第3 厚生福利事業

区分	給付額 (円)	件数等	制度の概要
小学校入学祝金	5,500,000	550人	会員の被扶養者、配偶者の被扶養者に認定されている子が小学校に入学したとき給付 □10,000円
弔慰金	200,000	1人	配偶者(会員又は被扶養者を除く)が死亡したとき給付 □被扶養者以外の配偶者:200,000円
施設利用補助	5,894,000	宿泊利用……4,432件 うち全教互指定旅館 4,394件 サンセール盛岡 38件 会食利用……338件 婚礼利用……3件	宿泊利用補助:会員及び被扶養者が指定施設を宿泊で利用したとき補助 □全教互指定旅館:1泊につき1,000円 □サンセール盛岡:1泊につき2,000円(特別会員) 会食利用補助:特別会員が会食でサンセール盛岡を利用したとき補助 □1人1回につき6千円以上の利用:3,000円 5千円以上6千円未満の利用:2,000円 3千円以上5千円未満の利用:1,000円 婚礼利用補助:会員及びその子が、結婚披露宴でサンセール盛岡を利用したとき補助 □150,000円を上限に1組の利用額の25%
退職慰労記念品費	31,960,000	旅行券……544人 香典料……12人	退職又は異動により退会したとき旅行券を交付 □会員年数1年以上10年未満:20,000円 10年以上20年未満:40,000円 20年以上30年未満:60,000円 30年以上:80,000円 死亡により退会したとき遺族に香典料を支給 □香典料:50,000円
遺児育英資金	4,000,000	8人	会員が死亡したとき、被扶養者のうち、当該年度末までの間に満18歳以下である遺児があるとき給付 □遺児1人 500,000円
ライフプランセミナー	957,824		□ライフプランを基本に「健康管理」「年金」「生涯生活設計」について基礎研修と選択研修の講座を実施 □退職予定者を対象に退職準備セミナーを開催
公益文化事業費	4,958,000		□岩手教育芸術祭開催(他団体と共催) □公益財団法人への特定寄附 □文化公演会(他団体と共催)
広報活動事業費	4,521,670		□互助会報発行:年4回 □会報表紙写真募集 □福祉のしおり
保険外医療給付金	2,944,404	マッサージ等…234件 妊婦検診……47件 歯科治療……43件 不妊治療……21件	会員が保険適用外医療(マッサージ等、歯科治療、妊婦検診及び不妊治療)を受けたとき給付 □1年度について10,000円以内
身体矯正器具等購入(修理)補助	19,889,709	眼鏡……1,997件 補聴器……1件	眼鏡、補聴器、補装具のいずれかを購入(修理)したとき補助 □2年度に1回に限り10,000円以内
ホームヘルパー雇用補助	302,823	12件	会員、配偶者、会員又は配偶者の扶養家族、会員又は配偶者の父母が、在宅療養中に介助者及び家事援助者を1年度に5日以上雇用して、その費用を負担したとき補助 □1日2,000円以内(1年度に60日を限度) ただし、介護保険の在宅支援給付を受けている場合は、その自己負担額の範囲内とする。
心身リフレッシュ支援助成	44,943,100	15年……295人 25年……558人	会員の会員継続年数が15年、25年に達したとき助成 □会員年数15年:40,000円、25年:60,000円 □助成品目:旅行券又は図書カード
計	321,057,836		

第4章 厚生福利

第2節 教職員互助会

第4 特別弔慰積立事業

第5 貸付事業

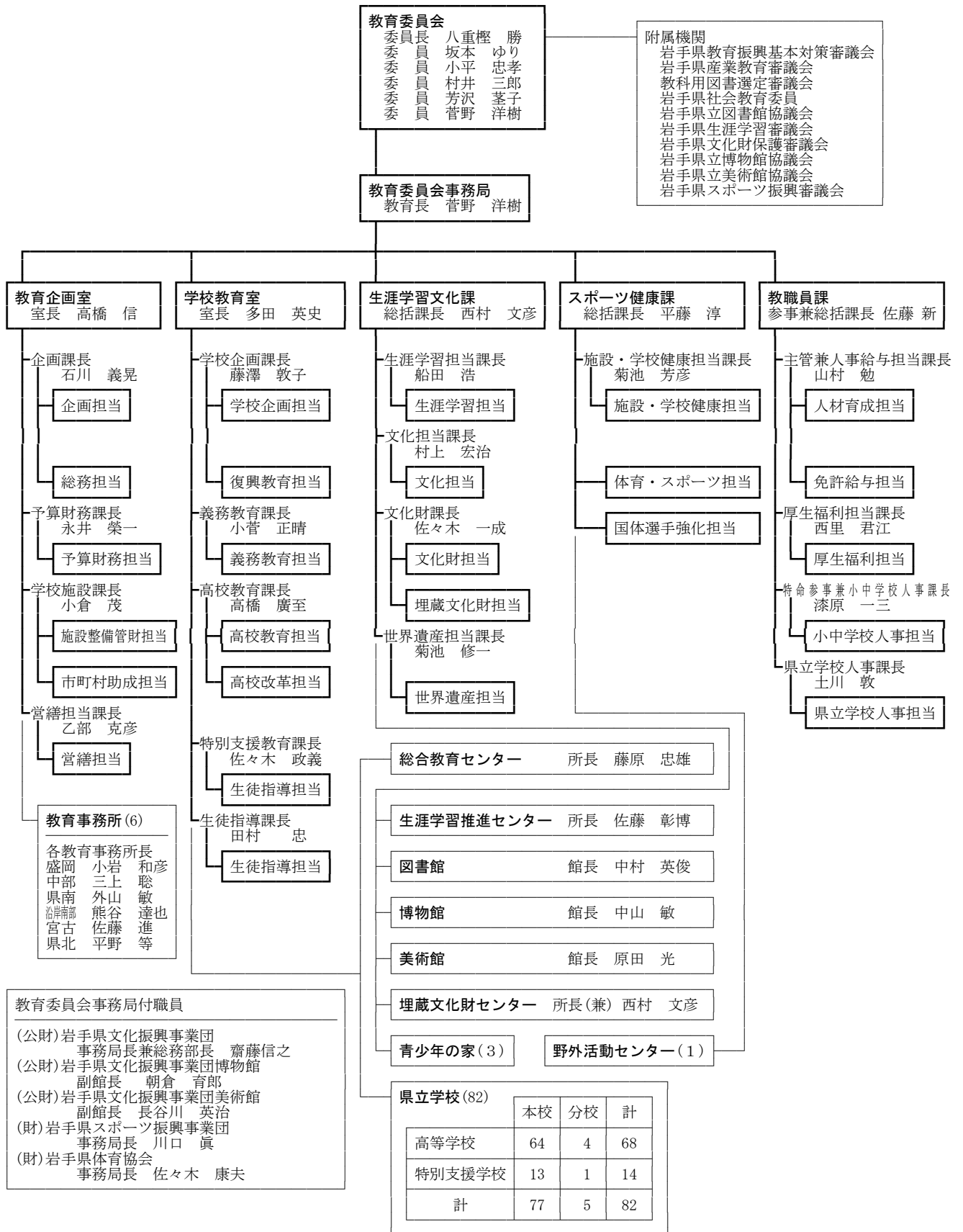
第4 特別弔慰積立事業

区 分	給付額 (円)	件数(人数)	制度の概要
特別弔慰金	3,550,000	会員……………11人 配偶者………… 7人 被扶養者…13人	会員、配偶者又は被扶養者が死亡したとき給付 □会員：20万円、配偶者：10万円、被扶養者：5万円
積立給付金	31,815,000	積立金… 568人	退会により会員の資格を失ったとき、積立金を給付 □積立金・毎月200円積立の累計額
計	35,365,000		

第5 貸付事業

区 分	貸付額 (円)	件 数	制度の概要
生活資金	347,300,000	221件	会員が臨時に資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
奨学資金	61,200,000	37件	会員又はその子弟が高校、大学等に入学又は修学するため資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
海外旅行資金	2,000,000	2件	会員が海外旅行をする場合で旅行日前2か月以内に資金を必要とするとき □貸付限度額100万円
結婚資金	7,600,000	5件	会員又はその子が結婚する場合で婚姻の前後6か月以内に資金を必要とするとき □貸付限度額200万円
計	418,100,000	265件	

1 県教育委員会機構図（平成24年10月1日現在）



2 県教育委員会が所管する附属機関の委員

岩手県教育振興基本対策審議会委員（平成25年1月1日現在）

野田 武 則（釜石市長）
 高橋 由 一（金ヶ崎町長）
 似内 宏 和（遠野市教育委員会委員長）
 鳩岡 矩 雄（二戸市教育委員会教育長）
 鈴木 祐 子（(社)岩手県PTA連合会副会長）
 福田 國 幸（岩手県高等学校PTA連合会理事）
 佐藤 哲 郎（岩手県社会教育連絡協議会副会長）
 浅沼 道 成（(財)岩手県体育協会理事）
 野田 みどり（(社)岩手県芸術文化協会）
 遠藤 洋 一（元盛岡第一高等学校長）
 鎌田 文 聰（岩手大学教育学部教授）
 高屋 裕美子（岩手県立盛岡第三高等学校評議員）
 澤口 たまみ（エッセイスト、盛岡大学短期学部非常勤講師）
 高橋 寿 子（農事組合法人いさわ産直センターあじさい代表理事組長）
 増田 久 士（釜石シーウェイブスRFC事務局長）
 三浦 光 子（臨床心理士）
 谷村 久 興（谷村電気精機株式会社代表取締役社長）
 吉田 道 一（盛岡教育事務所在学青少年指導員）
 （任期：平成23年7月1日～平成25年6月30日）

岩手県社会教育委員（平成24年7月1日現在）

阿部 智衛子（特定非営利活動法人矢巾ゆりかご名誉理事）
 及川 求（岩手県立一関清明支援学校長）
 大橋 清 司（岩手県社会教育連絡協議会会長）
 小笠原 洋 子（盛岡市立高松小学校長）
 金谷 茂（(社)岩手県PTA連合会長）
 熊坂 伸 子（普代村教育委員会教育長）
 齋藤 肇（財団法人滝沢村体育協会総務係長県事業係長(チャグチャグスポーツクラブ事務局長）
 瀬川 愛 子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）
 高橋 蔵（岩手県青年団体協議会副会長）
 高橋 聡（岩手県立大学社会福祉学部教授）
 田口 博 子（岩手県弦楽研究会会員）
 千葉 仁（岩手県立盛岡大高等学校長）
 恒川 かおり（特定非営利活動法人未来図書館主任コーディネーター）
 細川 恵 子（特定非営利活動法人紫波さぶり理事長）
 室井 麗 子（岩手大学教育学部准教授）
 森 義 真（公募委員）
 （任期：平成24年7月1日～平成26年6月30日）

岩手県立図書館協議会委員（平成24年7月1日現在）

山内 昭（岩手県学校図書館協議会会長）
 下机 暁 美（田野畑村社会教育委員）
 宮手 一 恵（NPO法人うれし野こども図書館理事）
 千 錫 烈（盛岡大学文学部准教授）
 藤原 哲（岩手日報社編集局学芸部長）
 斎藤 純（作家）
 吉丸 蓉 子（盛岡市教育委員会委員）
 佐藤 洋 子（宮古市立図書館長兼司書）
 （任期：平成24年7月1日～平成24年6月30日）

岩手県生涯学習審議会委員（平成24年7月1日現在）

阿部 智衛子（特定非営利活動法人矢巾ゆりかご名誉理事）
 及川 求（岩手県立一関清明支援学校長）
 大橋 清 司（岩手県社会教育連絡協議会会長）
 小笠原 洋 子（盛岡市立高松小学校長）
 金谷 茂（(社)岩手県PTA連合会長）
 熊坂 伸 子（普代村教育委員会教育長）
 齋藤 肇（財団法人滝沢村体育協会総務係長県事業係長(チャグチャグスポーツクラブ事務局長）
 瀬川 愛 子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）
 高橋 蔵（岩手県青年団体協議会副会長）
 高橋 聡（岩手県立大学社会福祉学部教授）
 田口 博 子（岩手県弦楽研究会会員）
 千葉 仁（岩手県立盛岡大高等学校長）
 恒川 かおり（特定非営利活動法人未来図書館主任コーディネーター）
 細川 恵 子（特定非営利活動法人紫波さぶり理事長）
 室井 麗 子（岩手大学教育学部准教授）
 森 義 真（公募委員）
 （任期：平成24年7月1日～平成26年6月30日）

参考資料

2 県教育委員会が所管する附属機関の委員

岩手県文化財保護審議会委員（平成24年5月1日現在）

朝日田 卓（北里大学海洋生命学部教授）
大島 晃一（元一関市博物館副館長）
熊谷 常正（盛岡大学教授）
佐藤 由紀男（岩手大学教授）
高橋 あけみ（仙台市博物館主査）
土井 宣夫（岩手大学教授）
中屋 洋子（元岩手大学非常勤講師）
根本 智行（石巻専修大学教授）
橋本 裕之（追手門学院地域文化創造機構特別教授）
政次 浩（東北歴史博物館副主任研究員）
（任期：平成24年5月1日～平成26年4月30日）

岩手県立博物館協議会委員（平成24年5月1日現在）

小笠原 洋子（盛岡市立飯岡小学校長）
佐賀 文行（盛岡市立洪民中学校長）
須貝 竹志（岩手県立盛岡第四高等学校長）
佐々木 訓（岩手県青年団体協議会会長）
柴田 幸榮（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）
松尾 正弘（(社)岩手県PTA連合会顧問）
野沢 裕美（小岩井農場展示資料館長）
盛川 通正（滝沢村教育委員会教育長）
前田 千香子（岩手県立博物館友の会会員）
西舘 政美（(株)岩手日報社事業局長兼事業第一部長）
名越 利幸（岩手大学准教授）
遠山 稿二郎（岩手医科大学教授）
春日 菜穂美（盛岡大学教授）
飯坂 真紀（画家・民俗芸能研究者）
（任期：平成23年6月23日～平成25年6月22日）

岩手県立美術館協議会委員（平成25年3月1日現在）

阿部 裕之（岩手大学教育学部教授）
長内 努（彫刻家・舞台美術家）
谷地 譲（(社)日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会会長）
佐々木 繁美（(財)盛岡市文化振興事業団事務局主幹）
長澤 みち子（岩手県立美術館友の会副会長）
佐藤 嘉彦（滝沢村立滝沢第二中学校校長）
菅原 和彦（(株)岩手日報社論説委員）
鈴木 祐子（(社)岩手県PTA連合会副会長・母親委員長）
そのだ つくし（漫画家）
鳥羽 真喜子（盛岡市立洪民小学校校長）
上野 あづさ（公募委員）
林 晶子（(株)瑞光専務取締役）
瀬川 愛子（特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長）
横田 禮子（学校法人スコール盛岡スコール高等学校校長）
吉田 浩次（(株)川徳取締役相談役）
（任期：平成24年3月1日～平成26年2月28日）

岩手県スポーツ振興審議会委員（平成24年6月23日現在）

松尾 光則（矢巾町教育委員会教育長）
谷村 邦久（岩手県商工会議所連合会副会長）
鷹 齋 文昭（(財)岩手県体育協会副会長兼理事長）
松尾 和彦（岩手県高等学校体育連盟理事長）
西郷 晃（岩手県中学校体育連盟理事長）
廣長 千鶴子（岩手県スポーツ推進委員協議会女性委員会委員長）
朴田 香代（岩手県小学校体育研究会広報部員）
上濱 龍也（岩手大学教育学部准教授）
石動 孝（社団法人岩手県医師会副会長）
首藤 信一（ソウルオリンピックハンドボール競技日本代表）
竹村 馨（アトランタオリンピックシクロノイズドスミミング団体銅メダリスト）
高橋 英絵（公募委員）
長屋 あゆみ（公募委員）
（任期：平成24年6月23日～平成26年6月22日）

3 県教育委員会会議（平成24年度）

4月定例会（平成24年4月16日）

- 事務報告1 平成24年2月県議会定例会の概要について
- 議案第1号 岩手県文化財保護審議会の委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第2号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第3号 公立小学校長の人事に関し議決を求めることについて

5月定例会（平成24年5月21日）

- 議案第4号 第71回国民体育大会開催申請書に関し議決を求めることについて
- 議案第5号から議案第6号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第7号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて

6月定例会（平成24年6月18日）

- 議案第8号 岩手県生涯学習審議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第9号 岩手県社会教育委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第10号 岩手県立図書館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて
- 議案第11号 岩手県スポーツ推進審議会委員の任命に関し議決を求めることについて

7月定例会（平成24年7月17日）

- 事務報告1 平成24年6月県議会定例会の概要について
- 議案第12号 岩手県教育振興基本対策審議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて

8月定例会（平成24年8月20日）

- 議案第13号 教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて
- 議案第14号から議案第17号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第18号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて

9月定例会（平成24年9月18日）

- 事務報告1 平成25年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校入学者選抜の概要について
- 事務報告2 平成24年度全国高等学校総合体育大会・全国中学校体育大会の結果について
- 議案第19号から議案第20号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
- 議案第21号 学校職員の一般の退職手当等の全部を支給しないこととする処分に関し議決を求めることについて

10月臨時会（平成24年10月1日）

- 第1 会期決定の件
- 第2 委員の任期満了に伴う委員長職務代理者の指定
- 第3 委員の任期満了に伴う委員長職務代理者の順位の決定
- 第4 委員長選挙
- 第5 委員長選挙に伴う委員長職務代理者の指定
- 第6 委員長選挙に伴う委員長職務代理者の順位の決定
- 第7 議席の決定

10月定例会（平成24年10月15日）

- 事務報告1 平成25年度岩手県立高等学校入学者選抜実施要項について
- 議案第22号 教育表彰の受賞者に関し議決を求めることについて
- 議案第23号 岩手県立高等学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
- 議案第24号 文化財の指定に関し議決を求めることについて
- 議案第25号 平成25年度岩手県教育委員会定期人事異動方針に関し議決を求めることについて

11月定例会（平成24年11月19日）

- 事務報告1 平成24年9月県議会定例会の概要について

12月定例会（平成24年12月17日）

- 事務報告1 平成24年12月県議会定例会の概要について
- 事務報告2 平成24年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査の分析結果について
- 事務報告3 平成25年度当初予算要求の概要（教育委員会）について
- 事務報告4 平成24年12月7日に発生した三陸沖の地震について

- 議案第26号 岩手県教育振興基本対策審議会委員の任命及び解任に関し議決を求めることについて
議案第27号 公立小学校長の人事に関し議決を求めることについて

1 月定例会（平成25年1月21日）

- 事務報告1 平成24年度岩手県小・中学校学習定着度状況調査の分析結果について
事務報告2 平成25年度岩手県立一関第一高等学校附属中学校の入学者選抜検査の実施について

2 月定例会（平成25年2月18日）

- 事務報告1 体罰に係る実態調査について
議案第28号 岩手県立美術館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて

3 月臨時会（平成25年3月4日）

- 議案第29号 本庁の室課の長等の人事に関し議決を求めることについて
議案第30号 公立小中学校長の人事に関し議決を求めることについて
議案第31号 県立学校の校長及び事務長の人事に関し議決を求めることについて

3 月定例会（平成25年3月19日）

- 事務報告1 平成24年度全国高等学校総合体育大会冬期大会、平成24年度全国中学校体育大会冬期大会、第68回国民体育大会冬期大会の結果について
事務報告2 平成26年度岩手県公立学校教員採用候補者選考試験の概要について
議案第32号 文化財の指定及び保持団体の認定に関し議決を求めることについて
議案第33号 岩手県教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則
議案第34号 岩手県教育委員会代決専決規程の一部を改正する訓令
議案第35号 県立学校事務処理規程の一部を改正する訓令
議案第36号 平成25年度教科用図書選定審議会委員の任命に関し議決を求めることについて
議案第37号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて
議案第38号 公立小中学校長の人事に関し議決を求めることについて

4 県教育委員会関係主要行事（平成24年度）

- 4月5～6日 第1回岩手県社会教育主事等会議[サンセール盛岡]
 11日 第1回公所長会議 [県庁舎]
 12日 第1回県立学校長会議[サンセール盛岡]
 12～13日 第1回代表指導主事会議 [県庁舎]
 16日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
 18～19日 第1回県指導主事会議[県庁舎、ほか]
 24～25日 県立学校等新任副校長研修講座 [盛岡地区合同庁舎]
 26日 県立学校副校長会議[サンセール盛岡]
- 5月8～10日 県立学校等新任校長研修講座 [清温荘]
 19日～6月19日 第63回岩手県高等学校総合体育大会 [盛岡市ほか]
 21日 岩手県ユネスコ連盟総会 [サンセール盛岡]
 21日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
- 6月 18日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
 22日 第1回学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会 [盛岡地区合同庁舎]
- 7月7～18日 全国高等学校野球選手権大会岩手大会 [盛岡市ほか]
 8日 放課後子どもプラン指導者合同研修会① [生涯学習推進センター]
 17日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
 19日 県小・中学校教育課程説明会[総合教育センター]
 20～23日 岩手県中学校総合体育大会 [盛岡市ほか]
 23日 第1回岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議 [盛岡地区合同庁舎]
 24日 岩手県美術選奨・芸術選奨表彰式[サンセール盛岡]
 28日～8月20日 全国高等学校総合体育大会 [新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県]
 31日 第2回岩手県スポーツ振興審議会 [県庁舎]
- 8月 8日 第36回全国高等学校総合文化祭(8日から12日)
 20日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
 17～25日 全国中学校体育大会 [関東ブロック]
 17～25日 第38回東北総合体育大会 [秋田県ほか]
- 9月1～2日 北海道・東北ブロック生涯学習・社会教育委主管課長会議 [青森県]
 4日 放課後子どもプラン指導者合同研修会② [生涯学習推進センター]
 7日 第1回児童生徒表彰式(はばたき賞) [県民会館]
 16日 第1回岩手県文化財保護審議会 [県民会館]
 18日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
 22日 交通安全教育指導者講習会 [アイーナ]
 29日～10月9日 第67回国民体育大会 [岐阜県]
- 10月 1日 教育委員会議臨時会 [教育委員室]
 3日 学習定着度状況調査の実施 [各小中学校]
 6日 第65回岩手芸術祭開幕フェスティバル [県民会館]
 5日 第35回岩手県高等学校総合文化祭開会式[大船渡市民文化会館]
 13日 第35回県高総文祭 郷土芸能発表会開会行事 [二戸市民文化会館]
 15日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
 23日 第2回県立学校長会議 [盛岡地区合同庁舎]
- 11月 5日 「いわて教育の日」記念式典 [県民会館]
 6～7日 第2回県社会教育主事等会議[盛岡地区合同庁舎]
 16日 教育表彰 [県民会館]
 19日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
 20日 第2回公所長会議 [県庁舎]
 22日 第11回岩手県中学校総合文化祭開会式[県民会館]
 22日 第2回代表指導主事会議[県庁舎]

参考資料

4 県教育委員会関係主要行事

- 12月 17日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
- 1月 9日 第48回岩手県学校健康教育研究大会 [マリオス]
18日 教育振興運動集約県大会 [花巻市文化会館]
18日 第2回県指導主事会議 [総合教育センター]
21日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
26日 岩手県就学指導委員会 [県庁舎]
23日 幼稚園等新規採用教員研修運営協議会 [県庁舎]
30日 第1回岩手県スポーツ推進審議会 [県庁舎]
26～2月1日 第68回国民体育大会冬季大会スケート競技会 [東京都・福島県]
- 2月 5日 第2回岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議 [盛岡地区合同庁舎]
7～8日 岩手県生涯学習推進研究発表会 [生涯学習推進センター]
7～8日 第3回代表指導主事会議 [県庁舎]
9日 第2回児童生徒表彰式 (はばたき賞) [エスポワールいわて]
12日 第3回岩手県社会教育主事会議 [盛岡地区合同庁舎]
13日 第3回県立学校長会議 [サンセール盛岡]
16～19日 第68回国民体育大会冬季大会スキー競技会 [秋田県]
18日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
20日 第2回学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会 [盛岡地区合同庁舎]
- 3月 4日 教育委員会議臨時会 [教育委員室]
19日 教育委員会議定例会 [教育委員室]
29日 退職者感謝状贈呈式 [県民会館]

5 私立学校

(1) 私立学校審議会

ア 委員（平成24年7月1日現在、五十音順）

咲間	まり子	（岩手県立大学社会福祉学部准教授）
田代	高章	（岩手大学教育学部教授）
久保	榮子	（学校法人コアトレース理事長）
佐藤	勝	（元岩手県教育委員会教育長）
大森	紀代美	（盛岡生活文化研究室幹事）
今西	界雄	（双葉幼稚園園長）
横田	禮子	（盛岡スコーレ高等学校長）
工藤	純世	（学校法人つばめ学園理事長）
荻原	禮子	（盛岡白百合学園中学校長 高等学校長）
柏	眞喜子	（東北公営企業株式会社代表取締役社長）

イ 審議の状況

私立学校審議会が知事の諮問により審議し、原案を可として答申した案件は次のとおり。

平成25年9月21日答申

学校の収容定員に係る学則変更認可について

学校法人撫子学園	なでしこ幼稚園
学校法人富士修紅学院	修紅短期大学附属幼稚園
学校法人華泉学園	花泉幼稚園
学校法人里中山学園	龍澤寺幼稚園
学校法人野田学園	甲東幼稚園
学校法人紅葉学園	矢巾中央幼稚園
学校法人光明学園	山田幼稚園
学校法人龍澤学館	盛岡中央高等学校

高等学校の学科設置認可について

学校法人久保学園	盛岡女子高等学校
----------	----------

(2) 私立学校等認可の状況

平成24年度中に知事が認可した件数は次のとおり。

- ア 学校の収容定員に係る学則変更認可…… 8件
- イ 高等学校の学科設置認可…………… 1件

(3) 助成の状況（平成24年度最終予算）

ア 県費補助

(ア) 私立学校運営費補助

幼稚園・小・中・高等学校補助……………	3,967,763千円
過疎地域私立高等学校補助（3校）……………	156,006千円
特別支援教育費補助（42幼稚園）……………	93,436千円
教育改革推進特別経費……………	253,620千円
特別支援学校補助（1校）……………	93,436千円
専修学校補助（15校）……………	66,725千円
(イ) 私立学校教職員退職金給付事業費補助……………	136,007千円
(ウ) 日本私立学校振興・共済事業団補助……………	47,966千円
(エ) 私立高等学校等授業料減免補助……………	24,114千円
(オ) 認定こども園整備事業費補助……………	253,038千円
(カ) 私立学校被災児童生徒等就学支援事業費補助…	87,565千円
(キ) 私立学校等災害復旧事業費補助……………	94,154千円

イ 岩手県私学教育振興会貸付金

施設整備・経営資金貸付……………	261,500千円
------------------	-----------

(4) 私学教育表彰の実施

岩手県私学教育表彰実施要綱（昭和58年岩手県告示第1076号）に基づき、本県の私学教育に関し功労のあった次の者に対し、平成24年11月7日知事表彰を行った。

○ 個人	三田 義之	（学校法人岩手奨学会 理事長）
	高橋 久美子	（湯口大谷幼稚園 園長）
	朴澤 和子	（海の星幼稚園 園長）
	佐藤 守也	（愛心幼稚園 園長）
	田口 緑	（盛岡白百合学園高等学校 事務員）
	門馬 利賀子	（盛岡白百合学園高等学校 図書館事務員）
	工藤 啓子	（岩手女子高等学校 教諭）
	枝松 恵美子	（盛岡女子高等学校 教頭）
	児玉 義輝	（盛岡医療福祉専門学校 副校長）

6 県教育委員会が所管する特例民法法人・公益信託

【特例民法法人（平成25年3月31日現在）】

番号	名称	許可年月日	目的・事業	所在地
1	(社)達古袋農業教育協会	大正3年6月15日	農業教育の普及	一関市萩荘字八幡153-1
2	(財)大慈会	大正11年11月18日	大慈寺の維持経営	盛岡市大慈寺町5-6（大慈寺内）
3	(財)盛岡菅公会	昭和2年5月14日	育英・天満宮維持経営	盛岡市南大通2-8-5
4	(財)福岡高等学校奨学会	昭和5年11月11日	育英奨学	二戸市福岡字上平10
5	(財)岩手教育会館	昭和27年8月18日	教育関係者の福利厚生	盛岡市大通1-1-16
6	(財)重茂教育振興会	昭和30年3月30日	奨学金貸与	宮古市大字重茂第1地割字西大館61
7	(財)高村記念会	昭和40年11月4日	高村光太郎記念館の管理	花巻市花城町4-28（総合花巻病院内）
8	(財)岩手県体育協会	昭和41年4月28日	県民体育の普及振興	盛岡市青山4-13-30
9	(財)二十五菩薩像保存委員会	昭和42年2月23日	二十五菩薩像の保存	一関市東山町松川字町裏64
10	(財)岩手育英奨学会	昭和42年7月14日	育英奨学	盛岡市内丸10-1（県教委教育企画室内）
11	(社)岩手県文化財愛護協会	昭和44年7月1日	文化財愛護思想の普及	盛岡市上田字松屋敷34（県立博物館内）
12	(財)石川啄木記念館	昭和44年9月18日	石川啄木記念館の管理	盛岡市玉山区洪民字洪民9
13	(社)久慈学校給食協会	昭和47年3月24日	学校給食関係事業	久慈市寺里30-77
14	(財)岩手県教職員互助会	昭和47年4月1日	教育関係者の福利厚生	盛岡市大通1-1-16
15	(社)野田村学校給食協会	昭和47年3月24日	学校給食関係事業	九戸郡野田村野田22-114-13
16	(財)大船渡市体育協会	昭和47年4月24日	体育振興	大船渡市盛町字宇津野沢15（大船渡市教委内）
17	(財)岩手県退職教職員互助会	昭和48年7月3日	教育文化の振興	盛岡市大通1-1-16
18	(財)遠野市教育文化振興財団	昭和49年4月22日	教育文化の振興	遠野市新町1-10（遠野市教委内）
19	(財)大船渡市育英奨学会	昭和49年8月19日	育英奨学	大船渡市盛町字宇津野沢15（大船渡市教委内）
20	(財)岩手県青少年会館	昭和49年8月30日	社会教育の振興	盛岡市みたけ3-38-20
21	(財)軽米教育施設運営会	昭和50年4月1日	教育施設の管理	九戸郡軽米町大字軽米9-51-1
22	(社)岩手県芸術文化協会	昭和50年7月21日	芸術文化の振興	盛岡市内丸13-1（県会館内）
23	(財)九戸教育施設運営会	昭和51年1月28日	教育施設の管理	九戸郡九戸村大字山根5-95
24	(財)宮沢賢治記念会	昭和51年5月28日	文化遺産の管理保全	花巻市鍛冶町4-13
25	(財)紫波社会体育振興会	昭和51年12月20日	社会体育の振興	紫波郡紫波町桜町字下川原100
26	(財)岩手県学校安全互助会	昭和52年4月1日	学校事故被災者救済	盛岡市中央通1-4-7
27	(財)三陸教育施設運営会	昭和52年4月18日	教育施設の管理	大船渡市三陸町越喜来字前田23
28	(財)岩手教育文化センター	昭和54年8月20日	教育文化の向上	盛岡市上田3-18-33（国立大学法人岩大教育学部内）
29	(社)奥州市体育協会	昭和54年10月22日	体育・スポーツの振興	奥州市水沢区秋葉町24-3
30	(財)滝沢村体育協会	昭和56年3月23日	体育・スポーツの振興	岩手郡滝沢村大字鶴飼字御庭田1-1
31	(社)一関市体育協会	昭和56年3月23日	体育・スポーツの振興	一関市狐禅寺字石ノ瀬25-3

参考資料

6 県教育委員会が所管する特例民法法人・公益信託

番号	名称	許可年月日	目的・事業	所在地
32	(社)岩手囲碁センター	昭和56年3月23日	囲碁の普及	盛岡市大通1-1-16
33	(財)岩手町体育協会	昭和57年3月29日	体育・スポーツの振興	岩手郡岩手町大字子抱4-12
34	(財)紫波町体育協会	昭和58年3月23日	体育・スポーツの振興	紫波郡紫波町桜町字下川原100
35	(財)雫石町体育協会	昭和58年4月30日	体育・スポーツの振興	岩手郡雫石町第1地割字高前田104
36	(財)伊藤育英会	昭和58年9月19日	育英奨学	花巻市大通り1-12-14
37	(財)岩手県教育振興基金	昭和61年9月25日	教育研究団体等への助成	盛岡市菜園1-11-15
38	(財)小林奨学育英会	昭和62年12月21日	育英奨学	奥州市水沢区中町127 (株式会社マツヤ内)
39	(社)久慈市体育協会	平成元年1月23日	体育・スポーツの振興	久慈市新中の橋4-13-3
40	(財)宮古市体育協会	平成元年5月22日	体育・スポーツの振興	宮古市小山田2-1-1
41	(財)日本ボーイスカウト岩手連盟維持財団	平成元年7月17日	ボーイスカウト運動の援助・普及啓蒙	盛岡市みたけ3-38-20 (岩手県青少年会館内)
42	(社)八幡平市体育協会	平成2年2月19日	体育・スポーツの振興	八幡平市大更37-105-12
43	(社)岩手県ピアノ音楽協会	平成3年3月20日	芸術文化の振興	盛岡市緑が丘2-2-11 カーサ・ヴェルデ102
44	(財)北上教育文化振興会	平成3年3月29日	社会教育・文化・スポーツの振興	北上市相去町小糠沢19
45	(財)奥州市文化振興財団	平成4年4月20日	文化の振興	奥州市水沢区佐倉河字石橋41
46	(財)金ヶ崎町生涯スポーツ事業団	平成5年11月22日	生涯スポーツの振興	胆沢郡金ヶ崎町西根森山31-2
47	(財)花巻市体育協会	平成6年3月22日	スポーツの振興	花巻市城内1-43
48	(財)北上市体育協会	平成7年3月17日	スポーツの振興	北上市相去町高前壇27-36
49	(社)深澤紅子野の花美術館	平成8年3月21日	画家深澤紅子の業績の公開展示	盛岡市紺屋町4-8
50	(財)盛岡市文化振興事業団	平成9年10月15日	文化の振興	盛岡市盛岡駅西通2-9-1
51	(社)岩手県PTA連合会	平成12年7月17日	PTA活動の振興	盛岡市みたけ3-38-20 (岩手県青少年会館内)
52	(財)北上市文化創造	平成15年2月13日	文化の振興	北上市さくら通り2-1-1
53	(社)岩手県サッカー協会	平成17年4月1日	サッカーの振興	盛岡市青山4-13-30

【公益信託（平成25年3月31日現在）】

名称	許可年月日	目的・事業	受託者	受託者
公益信託田村清蔵記念奨学基金	昭和57年8月25日	育英奨学	田村 清蔵	三菱UFJ信託銀行株式会社

参考資料

7 県教育関係諸団体

7 県教育関係諸団体（平成25年5月1日現在）

No.	団体名	事務局所在地	事務局電話番号	代表者
1	岩手県小学校長会	盛岡市紺屋町2-9 盛岡市勤労福祉会館内	019-623-8955	陣ヶ丘 安 雄
2	岩手県中学校長会	盛岡市紺屋町2-9 盛岡市勤労福祉会館内	019-622-0572	中 村 雅 英
3	岩手県高等学校長協会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-623-4491	高 橋 和 雄
4	岩手県小中学校副校長会	盛岡市馬場町1-1 下橋中学校内	019-651-2858	大 森 正 章
5	岩手県高等学校副校長協議会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-623-4491	安 藤 泰 彦
6	岩手県小学校教育研究会	盛岡市本町通2-18-1 仁王小学校内	019-623-4214	多 田 英 史
7	岩手県中学校教育研究会	盛岡市上田2-1-1 上田中学校内	019-623-4237	佐 藤 嘉 彦
8	岩手県高等学校教育研究会	盛岡市上ノ橋町7-57 盛岡第二高等学校内	019-622-5101	千 葉 仁
9	岩手県小規模・複式学校教育研究連盟	岩手町川口41-145-2 北山形小学校内	0195-62-9152	佐々木 則 子
10	岩手県高等学校定時制通信制教育協会	盛岡市上田2-3-1 杜陵高等学校内	019-652-1813	清 水 輝 男
11	岩手県学校保健研究会	紫波町稲藤字牡丹野5-1 紫波第三中学校内	019-673-7305	西 川 勝 夫
12	岩手県学校給食研究会	盛岡市長田町16-1 河北小学校内	019-622-6256	稲 垣 キツ子
13	岩手県公立小中学校事務職員研究協議会	盛岡市玉山区下田字下田106 洪民中学校内	019-683-2150	高 橋 広 道
14	岩手県公立学校事務長会	盛岡市上ノ橋町7-57 盛岡第二高等学校内	019-622-5102	栗 生 行 三
15	岩手県公立高等学校事務職員協会	遠野市六日町3-17 遠野高等学校内	0198-62-2823	菊 池 薫
16	岩手県特別支援学校連絡協議会	盛岡市北山1-10-1 盛岡視聴覚支援学校内	019-624-2986	高 橋 勉
17	岩手県特別支援教育研究会	盛岡市本町通2-18-1盛岡仁王小学校内	019-623-4214	多 田 英 史
18	岩手県公立幼稚園協議会	北上市和賀町長沼6-6-3 藤根幼稚園内	0197-46-2322	佐 藤 拓 美
19	一般社団法人岩手県私立幼稚園連合会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-654-1434	坂 本 洋
20	一般社団法人岩手県私学協会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-626-7627	小田島 順 造
21	岩手県市町村教育委員会協議会	盛岡市津志田14-37-2 盛岡市教育委員会総務課内	019-651-4111	八 卷 恒 雄
22	一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-626-7627	龍 澤 正 美
23	(社)岩手県PTA連合会	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-6444	金 谷 茂
24	岩手県高等学校PTA連合会	盛岡市上田3-2-1 盛岡第一高等学校内	019-625-6386	松 尾 正 弘
25	岩手県特別支援学校PTA連合会	盛岡市手代森6-10-14 盛岡とらん支援学校内	019-623-3907	石 川 聡
26	岩手県公立幼稚園PTA連絡協議会	一関市滝沢字水口103-2 一関市立真滝幼稚園内	0191-21-2156	登 嶋 高 志
27	岩手県私立幼稚園PTA連合会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-654-1434	淋 代 美 徳
28	岩手県私立小中高等学校保護者会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-626-7627	澤 口 寿
29	岩手県子ども会育成会連絡協議会	矢巾町又兵衛新田7-214-7	019-697-4957	三 浦 保 治
30	岩手県生涯学習振興協会	花巻市北湯口2-82-13 生涯学習推進センター内	0198-27-4555	高 橋 寛
31	岩手県図書館協会	盛岡市盛岡駅西通1-7-1 県立図書館内	019-606-1730	酒 井 久 美子
32	岩手県青年団体協議会	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-6412	高 橋 蔵
33	(特活)岩手県地域婦人団体協議会	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-648-6620	及 川 公 子
34	岩手県ユネスコ協会連盟	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局生涯学習文化課内	019-629-6176	三田地 宣 子
35	岩手県社会教育連絡協議会	盛岡市津志田14-37-2 盛岡市教育委員会生涯学習スポーツ課内	019-651-4111	大 橋 清 司
36	岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局生涯学習文化課内	019-629-6176	千 葉 仁 一
37	ボーイスカウト岩手県連盟	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-1995	末 永 正 志
38	ガールスカウト日本連盟岩手県支部	盛岡市みたけ3-38-20 県青少年会館内	019-641-1153	平 井 ふみ子
39	(社)岩手県文化財愛護協会	盛岡市上田字松屋敷34 県立博物館内	019-661-9688	佐 藤 宏
40	岩手県読書推進運動協議会	盛岡市盛岡駅西通1-7-1 県立図書館内	019-606-1730	酒 井 久 美子
41	岩手県中学校文化連盟	盛岡市馬場町1-1 下橋中学校内	019-604-0126	熊 谷 雅 英
42	岩手県高等学校文化連盟	盛岡市津志田26-17-1 盛岡第四高等学校内	019-635-1068	須 貝 竹 志
43	岩手県中学校体育連盟	盛岡市愛宕町1-1 下小路中学校内	019-651-1942	作 山 雅 宏
44	岩手県高等学校体育連盟	盛岡市高松4-17-16 盛岡第三高等学校内	019-661-8115	佐々木 修 一
45	公益財団法人岩手県体育協会	盛岡市青山4-13-30	019-648-0400	達 増 拓 也
46	岩手県生涯スポーツ推進協議会	盛岡市みたけ1-10-1 (公財)岩手県スポーツ振興事業団内	019-641-1127	大 矢 正 昭
47	岩手県学校保健会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局スポーツ健康課内	019-629-6193	石 川 育 成
48	一般財団法人岩手県学校安全互助会	盛岡市本町通2-1-36	019-654-3027	菅 野 洋 樹
49	公益財団法人岩手県学校給食会	盛岡市流通センター北1-12-1	019-638-9429	盛 川 通 正
50	公立学校共済組合岩手支部	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局教職員課内	019-629-6126	菅 野 洋 樹
51	一般財団法人岩手県教職員互助会	盛岡市大通1-1-16 岩手教育会館内	019-622-7762	菅 野 洋 樹
52	(財)岩手育英奨学会	盛岡市内丸10-1 県教育委員会事務局教育企画室内	019-623-2050	原 久 雄
53	公益財団法人岩手県文化振興事業団	盛岡市内丸13-1 県民会館内	019-654-2235	池 田 克 典
54	(社)岩手県芸術文化協会	盛岡市内丸13-1 県民会館内	019-626-1202	柴 田 和 子
55	公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団	盛岡市みたけ1-10-1	019-641-1127	大 矢 正 昭
56	(社)岩手県私学振興会	盛岡市菜園1-3-6 農林会館内	019-652-0960	龍 澤 正 美
57	岩手県産業教育振興会	盛岡市羽場18-11-1 盛岡工業高等学校内	019-639-7250	阿 部 正 樹

岩手県教育年報 平成24年度版

発行 岩手県教育委員会

編集 岩手県教育委員会事務局教育企画室

所在地 岩手県盛岡市内丸10番1号 岩手県庁10階

電話番号 019-629-6106

ファクシミリ番号 019-629-6119

電子メールアドレス DB0001@pref.iwate.jp